

飼い主のいない猫対策等に関する
アンケート調査
《 報 告 書 》

令和4年1月
八王子市保健所

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査設計	1
3.	調査項目	1
4.	回収結果	1
5.	地域区分	2
6.	報告書の見方	3
7.	標本誤差	4
8.	回答者の属性	5
	(1) 年齢	5
	(2) 居住地域	5
	(3) 世帯構成	6
	(4) 居住期間	6
	(5) 住居形態	7
	(6) 集合住宅で猫の飼育は許可されているか	8
	(7) 猫の好き嫌い	8
II	調査の結果	9
1.	飼い主のいない猫について	9
	(1) 飼い主のいない猫を見かけるか	9
	(2) 飼い主のいない猫の数の推移	11
	(3) 飼い主のいない猫を見かけたときどのように思うか	13
	(4) 飼い主のいない猫が家の周りで子猫を産んだことがあるか	15
	(5) 飼い主のいない猫で被害を受けたことがあるか	17
	(6) 被害内容	19
	(7) 被害防止策の有無	21
	(8) 被害防止策	23
	(9) 被害防止策の効果	25
	(10) 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか ①餌やりを見かけるか	27
	(11) 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか ②餌やりをしているか	29
	(12) 餌やりを見かけたときどのように思うか	31
2.	地域猫活動について	33

(1) 地域猫活動を知っているか	33
(2) 地域猫活動に対する考え	36
(3) 不妊去勢手術費用の一部助成について	39
(4) 不妊去勢手術実施済み猫の耳カットの認知	42
(5) 耳カットしてある猫を見かけるか	44
(6) 飼い主のいない猫対策に関し、重点的に取り組んだほうが良いと思う対策	46
(7) 飼い主のいない猫対策についての要望や意見	48
3. 動物愛護週間について	50
(1) 動物愛護週間の認知状況	50
(2) 広報はちおうじ「動物愛護週間特集号」の閲読の有無	52
4. 同行避難について	54
(1) 同行避難の認知	54
5. 動物飼育について	56
(1) 動物飼育経験の有無	56
(2) 飼育経験がある動物の詳細	58
(3) 入手方法	60
(4) 飼育場所	62
(5) トイレの場所	64
(6) メス猫の不妊手術の有無	67
(7) オス猫の去勢手術の有無	69
(8) 身元表示方法	71
(9) 飼いきれなくなったときの対策	74
(10) 災害時における猫への対処	76
(11) 災害時に備えた準備内容	78
III 調査票	80
IV 自由意見一覧	90
1. 調査の結果	90
(1) 飼い主のいない猫を見かけたときどのように思うか	90
(2) 被害内容	92
(3) 被害防止策	93
(4) 被害防止策の効果	94
(5) 餌やりを見かけたときどのように思うか	94
(6) 地域猫活動に対する考え	96
(7) 飼い主のいない猫対策に関し、重点的に取り組んだほうが良いと思う対策	98
(8) 飼い主のいない猫対策についての要望や意見	99

(9) 飼育経験がある動物の詳細	119
(10) 入手方法	123
(11) 身元表示方法	124
(12) 飼いきれなくなったときの対策	125
(13) 災害時における猫への対処	126
(14) 災害時に備えた準備内容	127

I 調査概要

1. 調査の目的

本市では、人と猫との調和のとれたまちを目指して、飼い主のいない猫対策事業を実施しています。

飼い主のいない猫対策事業の効果や課題などを把握し、今後の取組の改善等に活用するため本調査を実施しました。

2. 調査設計

- ①調査地域：八王子市内全域
- ②調査対象：市内在住の満 18 歳以上の男女個人
- ③対象者数：3,000 人
- ④調査方法：郵送配布／郵送回収
- ⑤調査期間：令和 3 年 10 月 21 日から令和 3 年 11 月 5 日
- ⑥抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ⑦調査機関：株式会社 47 ブランディング

3. 調査項目

本調査は、以下の項目で実施しました。

- ①回答者の属性
- ②飼い主のいない猫について
- ③地域猫活動について
- ④動物愛護週間について
- ⑤同行避難について
- ⑥動物飼育について

4. 回収結果

対象者数	3,000 人(うち 45 票が宛先不明で戻り)
回収数	1,218(うち 1 票が白紙)
有効回収数／率	1,217／41.2%

5. 地域区分



地域区分	町名(五十音順)
中央地域	暁町・旭町・東町・上野町・追分町・大横町・大和田町・小門町・清川町・子安町・新町・千人町・台町・田町・寺町・天神町・中町・中野上町・中野山王・中野町・八幡町・日吉町・平岡町・富士見町・本郷町・本町・三崎町・緑町・南新町・南町・明神町・元本郷町・元横山町・八木町・八日町・横山町・万町
北部地域	石川町・宇津木町・梅坪町・大谷町・尾崎町・加住町・久保山町・小宮町・左入町・平町・高倉町・高月町・滝山町・丹木町・戸吹町・丸山町・みつい台・宮下町・谷野町
西部地域	泉町・犬目町・小津町・叶谷町・上壺分方町・上恩方町・上川町・川口町・川町・下恩方町・諏訪町・大楽寺町・檜原町・西寺方町・式分方町・美山町・元八王子町・横川町・四谷町
西南部地域	裏高尾町・大船町・櫛田町・散田町・城山手・高尾町・館町・寺田町・廿里町・長房町・並木町・西浅川町・狭間町・初沢町・東浅川町・南浅川町・めじろ台・山田町
東南部地域	打越町・宇津貫町・片倉町・北野台・北野町・絹ヶ丘・小比企町・長沼町・七国・西片倉・兵衛・みなみ野
東部地域	大塚・鹿島・上柚木・越野・下柚木・中山・南陽台・東中野・別所・堀之内・松が谷・松木・南大沢・鎌水

6. 報告書の見方

- ①回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点第 2 位を四捨五入していますが、SA (単一回答) の場合は数値の合計が 100.0%になるよう調整をしている場合があります。また、MA (複数回答) の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- ②本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ③基数となるべき実数は、n (回答者数) として表示しています。比率は、n (回答者数) を 100.0%として算出しています。
- ④クロス集計による分析では、年齢などの分析項目の質問に無回答である回答者の集計結果は図表中に表示していませんが、これらの回答結果は図表中の「全体」には含まれます。したがって、図表中に示した分析項目すべての n (回答者数) を合計しても、全体の n (回答者数) と一致しない場合があります。

また、クロス集計の分析軸とした項目は以下のとおりです。

設問	分析軸名称
問 1 あなたの年齢をお知らせください。	年齢
問 2 あなたのお住まいはどちらですか。	居住地域
問 5 お住まいの形態をお知らせください。	住居形態
問 6 お住まいのマンション・アパート・団地などでは、猫の飼育は許可されていますか。	猫飼育許可
問 12 近年 (ここ 5 年以内で) 飼い主のいない猫で被害を受けたことはありますか。	猫被害有無
問 30 飼っている (もしくは飼っていた) 動物とその頭数を教えてください。	動物飼育経験
問 32 飼育している場所はどこですか。	飼育場所
問 38 災害が発生した場合、飼っている猫をどうしようと思えますか。	災害時における猫への対処

- ⑤調査結果の分析においては、n (回答者数) が 30 件を下回る場合は、参考値とみなし、該当属性に対するコメントを控えている場合があります。
- ⑥MA (複数回答) の設問のクロス集計結果の一部を、集計表で示しています。特徴的な数値が判別しやすいよう、全体と比べて 10 ポイント以上高いものは濃い網掛け、10 ポイント以上低いものは薄い網掛けをしています。また、年齢のように傾向が表れやすい属性については、クロス集計結果を横棒集合グラフで示し、特徴を把握しやすいようにしています。

⑦自由意見は、回答者を尊重して可能な限り原文のまま掲載をしていますが、特定の地域名などのプライバシーに関わる内容については、一部文言を修正している箇所があります。

⑧割合の表現については、以下の表記を基本とします。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

また、質問における選択肢を統合し、《 》を用いて記述している場合があります。なお、この場合の比率は、個々の選択肢の比率の合計となっています。

<例>

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を統合して《そう思う》

7. 標本誤差

本調査は、悉皆調査（すべての調査対象者を対象にした調査）ではなく、調査対象となる母集団から一部を抽出した標本調査となっています。一部の対象者の回答は、必ずしも母集団全体の回答と一致せず、誤差が生じることがあります。

標本誤差は次の式で求められます。

$$\text{標本誤差} = \pm \lambda \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

λ = 信頼係数
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数
 P = 回答の比率

回答比率 (P) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,217	±1.7%	±2.2%	±2.6%	±2.7%	±2.8%
900	±2.0%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.3%
600	±2.4%	±3.2%	±3.7%	±3.9%	±4.0%
300	±3.4%	±4.5%	±5.2%	±5.5%	±5.7%

①表はλ ÷ 2として算出しました。

②表はN - 1 / N - n ÷ 1として算出しました。

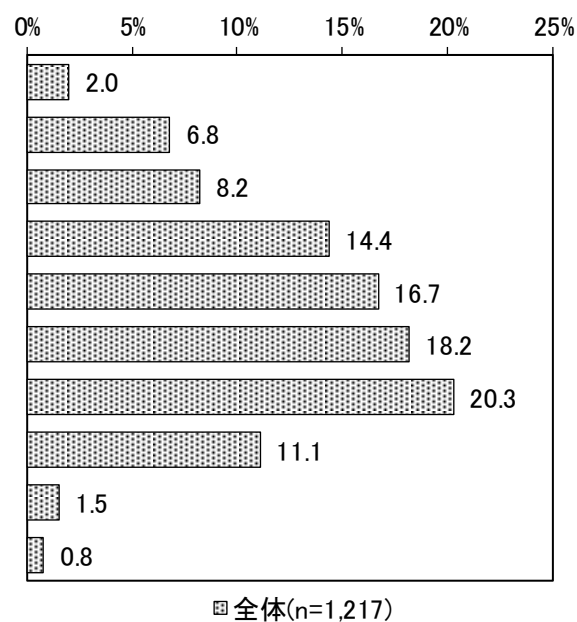
③この表の見方は次のとおりです。

ある設問の回答者が1,217人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.6%の範囲内(67.4%～72.6%)となっています。

8. 回答者の属性

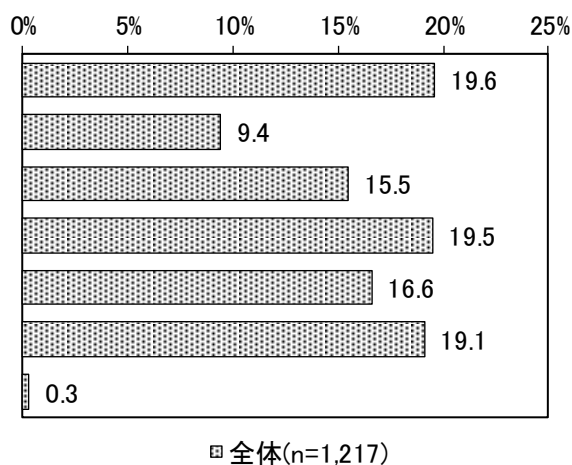
(1) 年齢

項目	基数(n)	構成比(%)
10代	24	2.0
20代	83	6.8
30代	100	8.2
40代	175	14.4
50代	203	16.7
60代	221	18.2
70代	248	20.3
80代	135	11.1
90代以上	18	1.5
無回答	10	0.8
合計	1,217	100.0



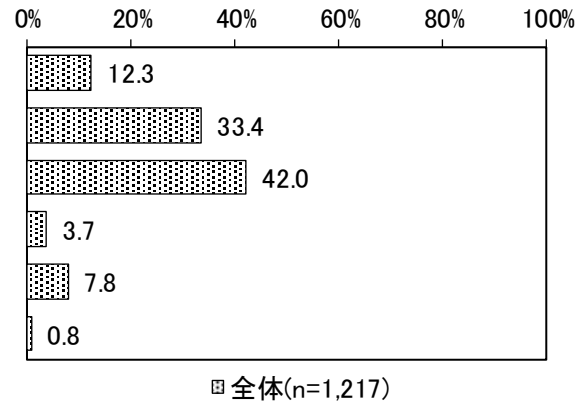
(2) 居住地域

項目	基数(n)	構成比(%)
中央	238	19.6
北部	114	9.4
西部	189	15.5
西南部	237	19.5
東南部	202	16.6
東部	233	19.1
無回答	4	0.3
合計	1,217	100.0



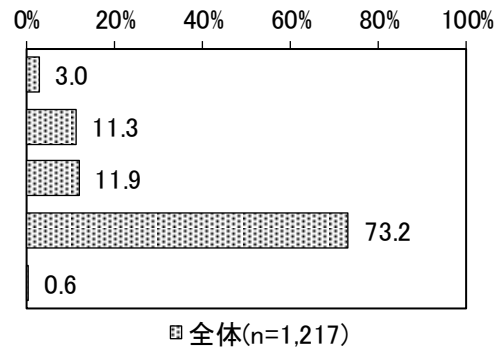
(3) 世帯構成

項目	基数(n)	構成比(%)
単独世帯(一人暮らし)	150	12.3
夫婦のみ世帯	406	33.4
二世帯世帯	511	42.0
三世帯世帯	45	3.7
その他	95	7.8
無回答	10	0.8
合計	1,217	100.0



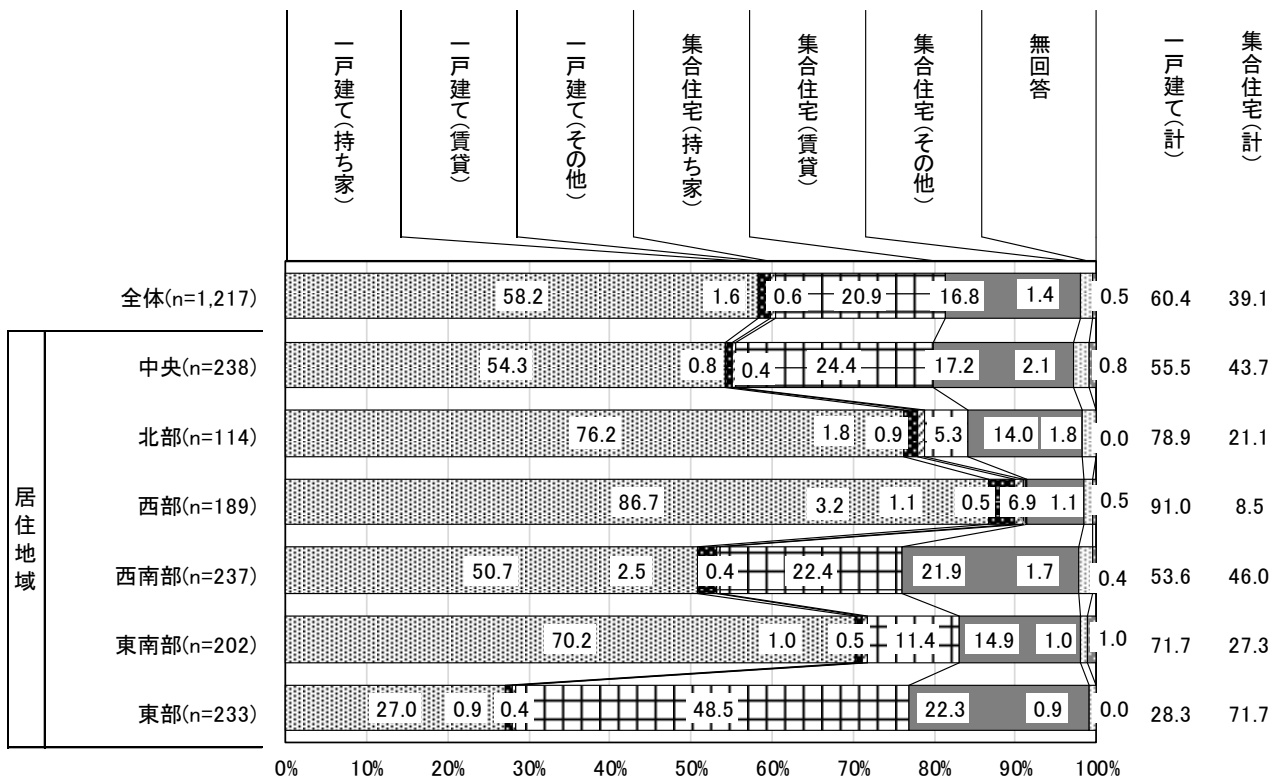
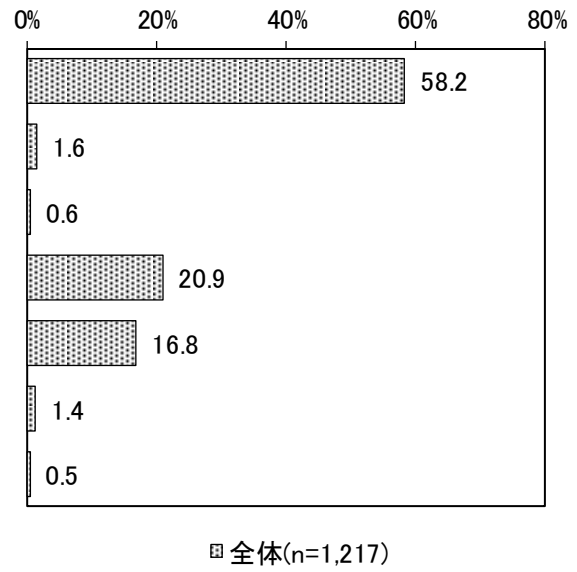
(4) 居住期間

項目	基数(n)	構成比(%)
1年未満	36	3.0
1~4年	137	11.3
5~9年	145	11.9
10年以上	892	73.2
無回答	7	0.6
合計	1,217	100.0



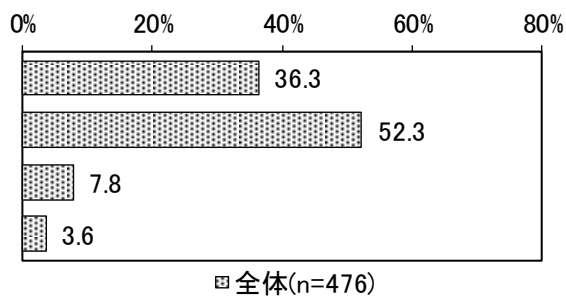
(5) 住居形態

項目	基数(n)	構成比(%)
一戸建て(持ち家)	708	58.2
一戸建て(賃貸)	20	1.6
一戸建て(その他—社宅、寮、住み込み等)	7	0.6
集合住宅(持ち家)	254	20.9
集合住宅(賃貸)	205	16.8
集合住宅(その他—社宅、寮、住み込み等)	17	1.4
無回答	6	0.5
合計	1,217	100.0



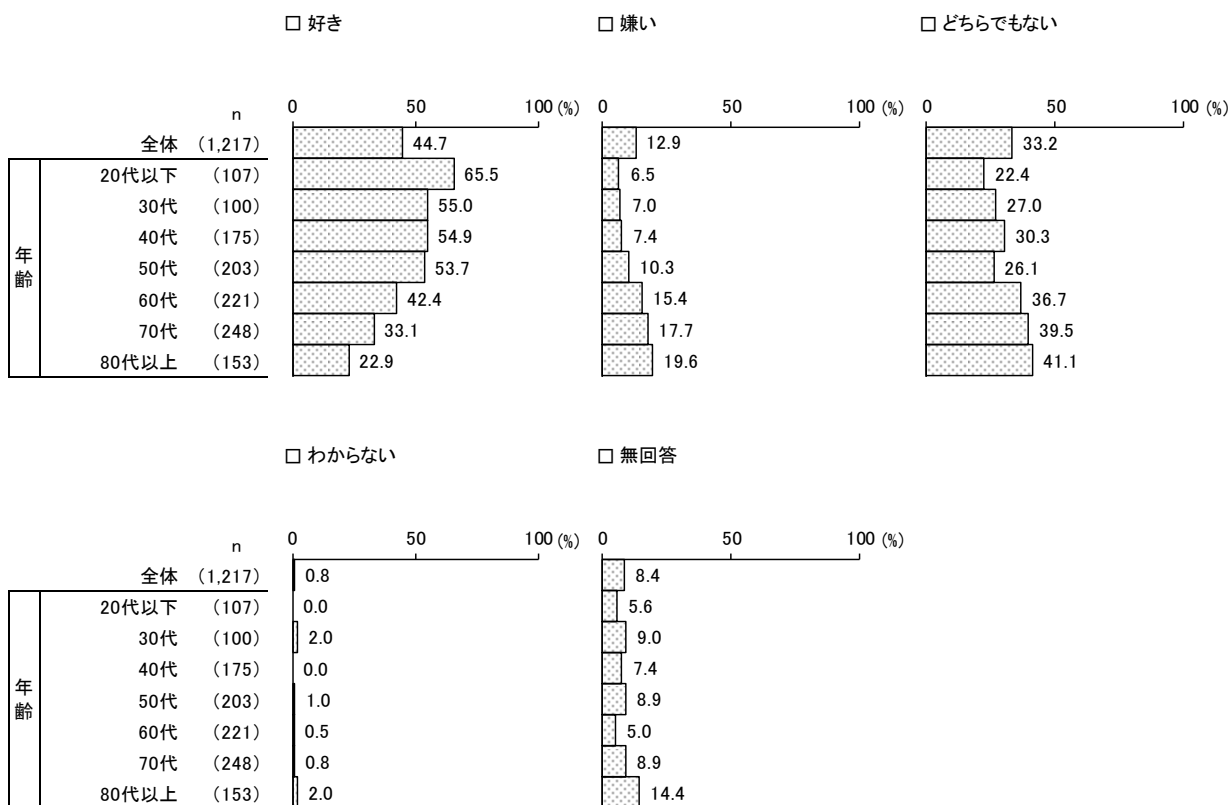
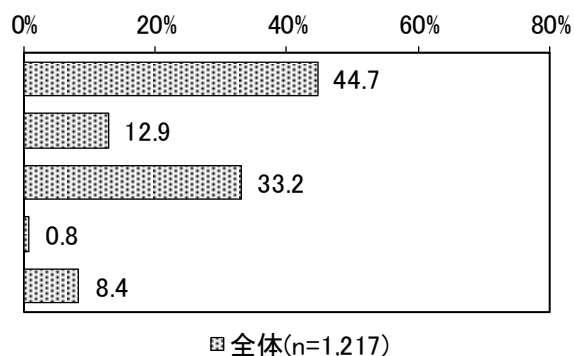
(6) 集合住宅で猫の飼育は許可されているか

項目	基数(n)	構成比(%)
許可されている	173	36.3
許可されていない	249	52.3
わからない	37	7.8
無回答	17	3.6
合計	476	100.0



(7) 猫の好き嫌い

項目	基数(n)	構成比(%)
好き	544	44.7
嫌い	157	12.9
どちらでもない	404	33.2
わからない	10	0.8
無回答	102	8.4
合計	1,217	100.0



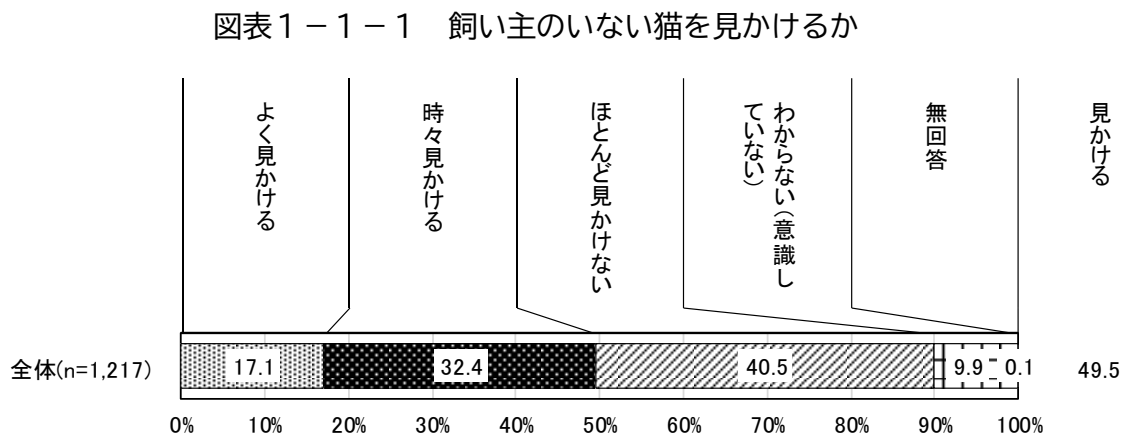
II 調査の結果

1. 飼い主のいない猫について

(1) 飼い主のいない猫を見かけるか

■「見かける」は5割弱と約半数

問8 現在、あなたの家の周りで、飼い主のいない猫を見かけますか。(ひとつだけに○)



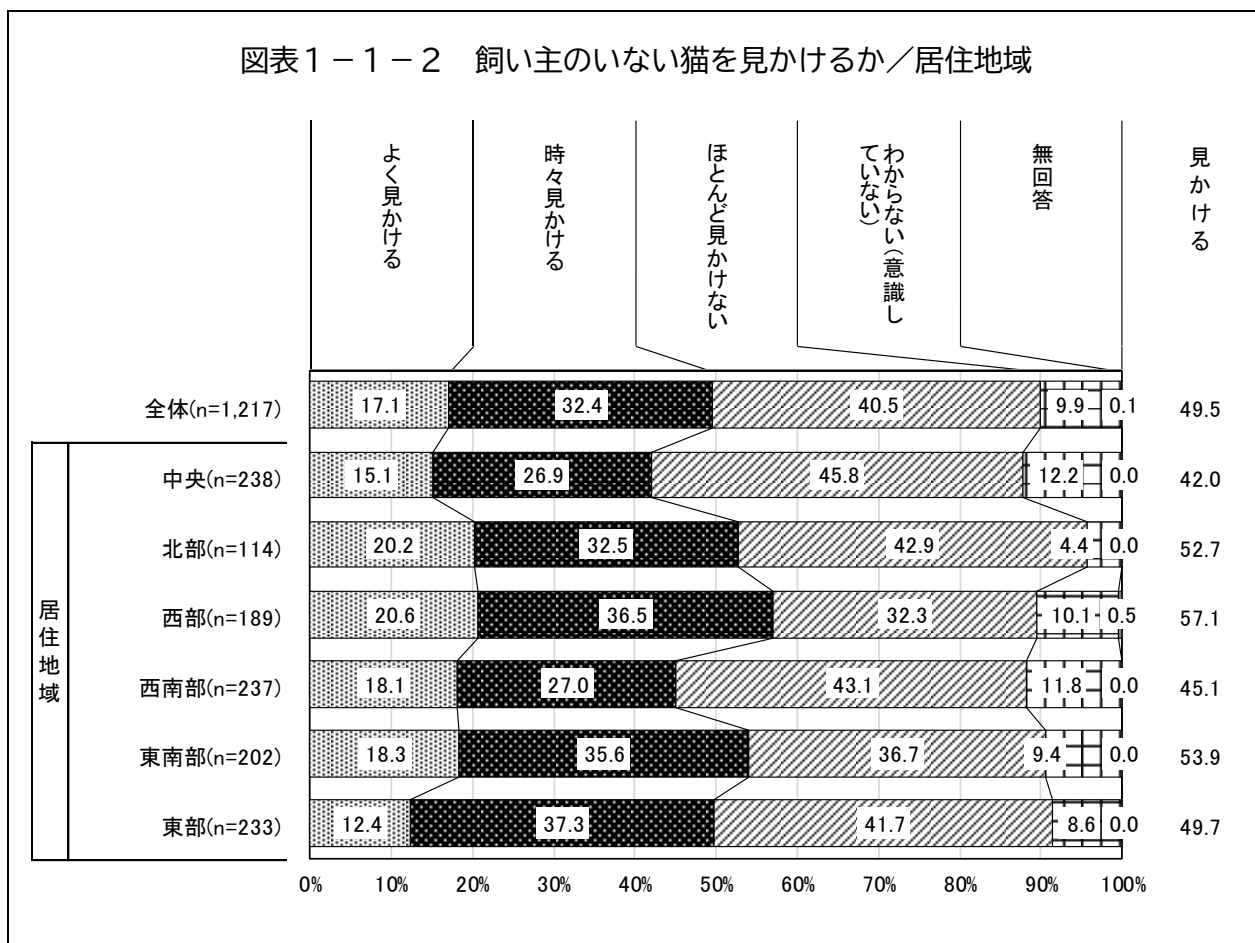
「よく見かける」・「時々見かける」と回答した方の頭数

最大値	10.0 匹位
最小値	1.0 匹位
平均値	3.3 匹位
中央値	3.0 匹位

飼い主のいない猫を見かけるかについて聞いたところ、「ほとんど見かけない」(40.5%)が約4割と最も高く、次いで、「時々見かける」(32.4%)、「よく見かける」(17.1%)となっています。一方で、「わからない(意識していない)」(9.9%)は1割弱となっています。

また、「よく見かける」(17.1%)と「時々見かける」(32.4%)を合計した「見かける」(49.5%)が5割弱となっています。

図表1-1-2 飼い主のいない猫を見かけるか／居住地



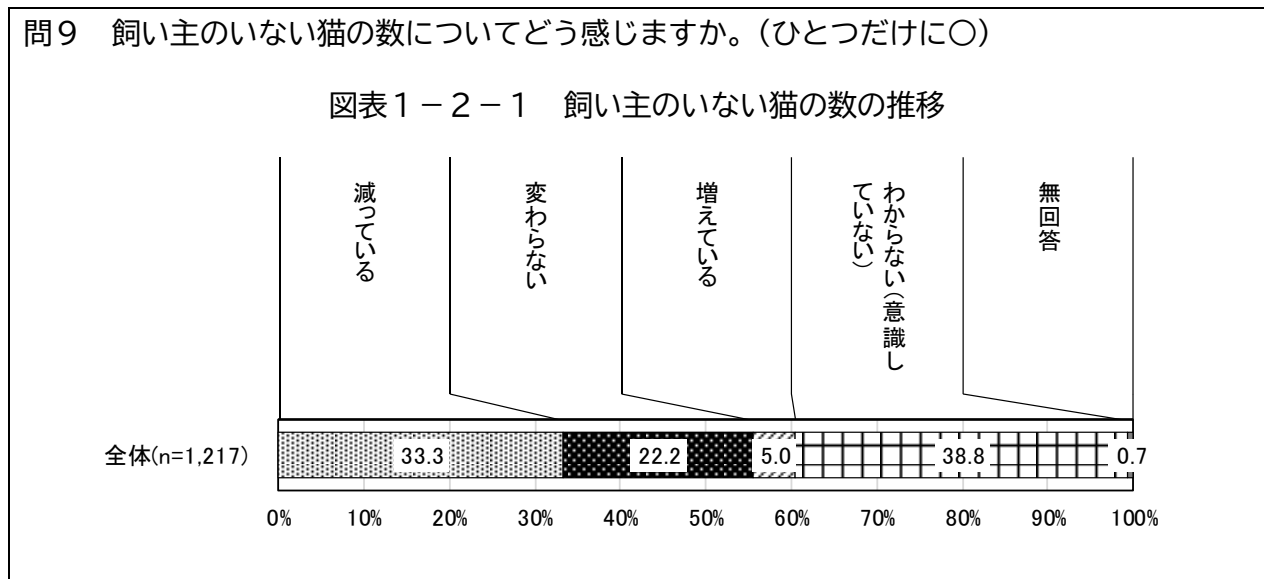
居住地で見ると、「よく見かける」「時々見かける」を合計した「見かける」は西部（57.1%）が最も高く6割近くとなっています。また、東南部（53.9%）、北部（52.7%）も5割台と高くなっています。

一方で、中央（42.0%）は4割強と最も低く、西南部（45.1%）、東部（49.7%）も4割台と低くなっています。

(2) 飼い主のいない猫の数の推移

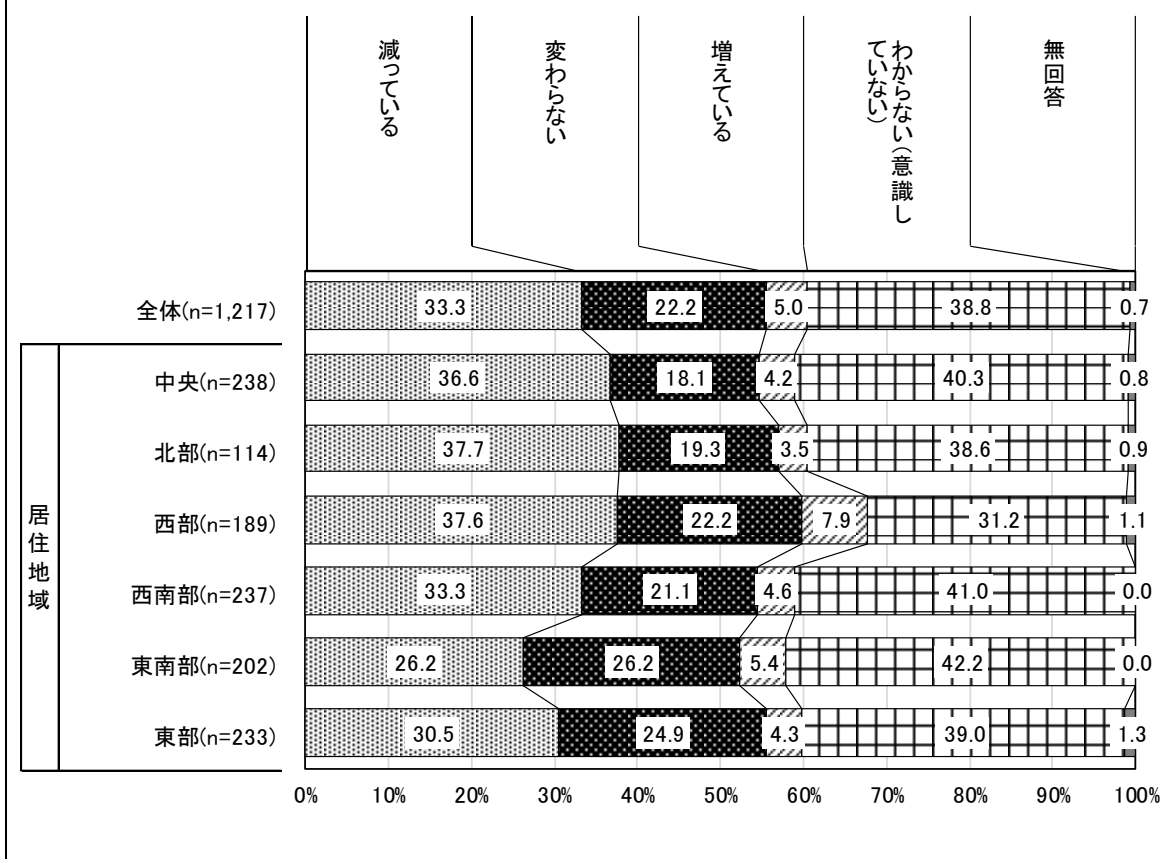
■「わからない(意識していない)」が4割近くを占める

問9 飼い主のいない猫の数についてどう感じますか。(ひとつだけに○)



飼い主のいない猫の数の推移について聞いたところ、「わからない(意識していない)」(38.8%)が4割近くと最も高く、次いで、「減っている」(33.3%)、「変わらない」(22.2%)となっています。一方で、「増えている」(5.0%)もわずかに見られます。

図表1-2-2 飼い主のいない猫の数の推移／居住地域



居住地域で見ると、西部のみ「減っている」の割合が選択肢の中で最も高くなっており、その他の地域では「わからない（意識していない）」が最も高くなっています。

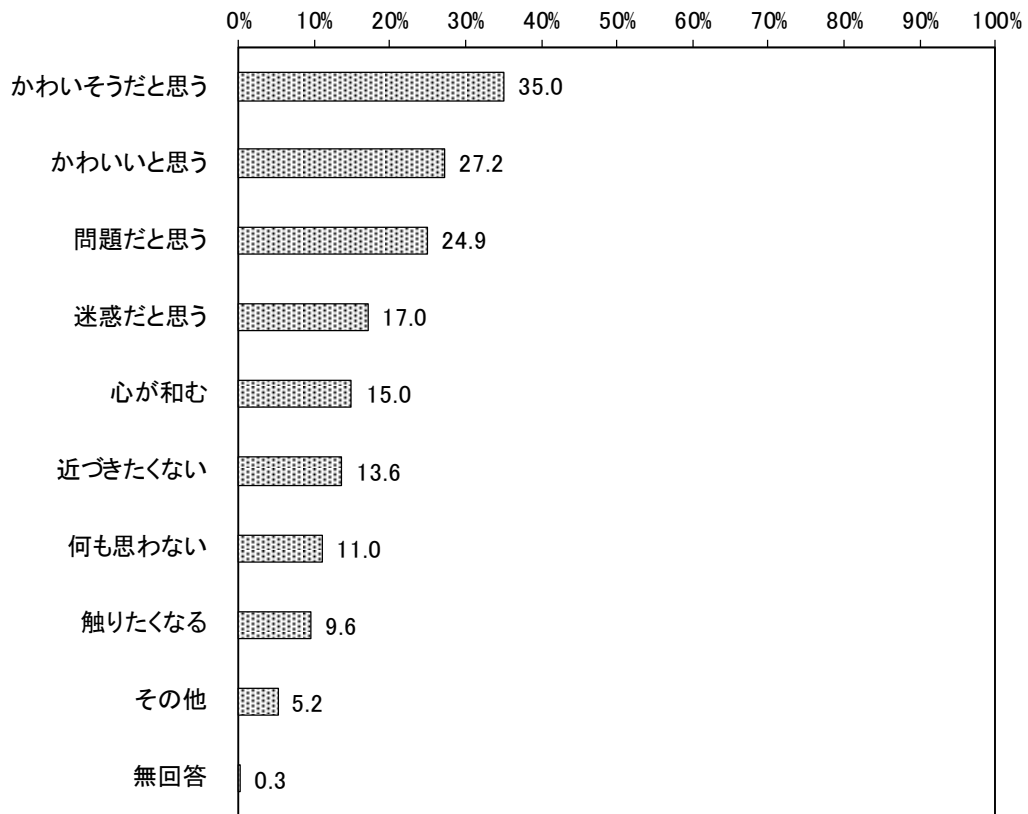
また、「増えている」は西部（7.9%）が最も高くなっています。

(3) 飼い主のいない猫を見かけたときどのように思うか

■「かわいそうだと思う」が3割台半ばと最も高い

問 10 飼い主のいない猫を見かけたとき、どのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)

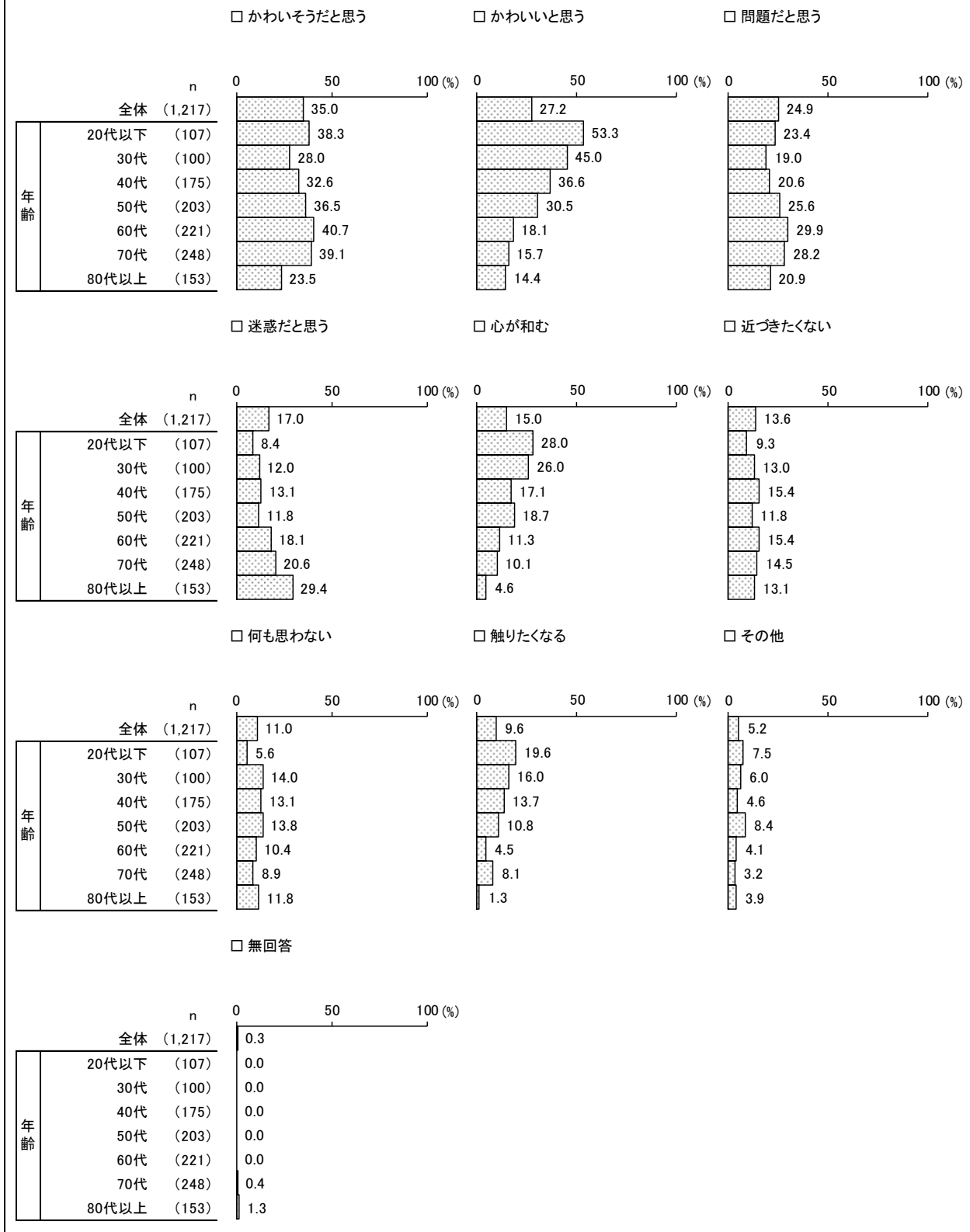
図表1-3-1 飼い主のいない猫を見かけたときどのように思うか



全体(n=1,217)

飼い主のいない猫を見かけたときどのように思うかについて聞いたところ、「かわいそうだと思う」(35.0%)が3割台半ばと最も高く、次いで、「かわいいと思う」(27.2%)、「問題だと思う」(24.9%)が2割台と高くなっています。

図表1-3-2 /飼い主のいない猫を見かけたときどのように思うか/年齢



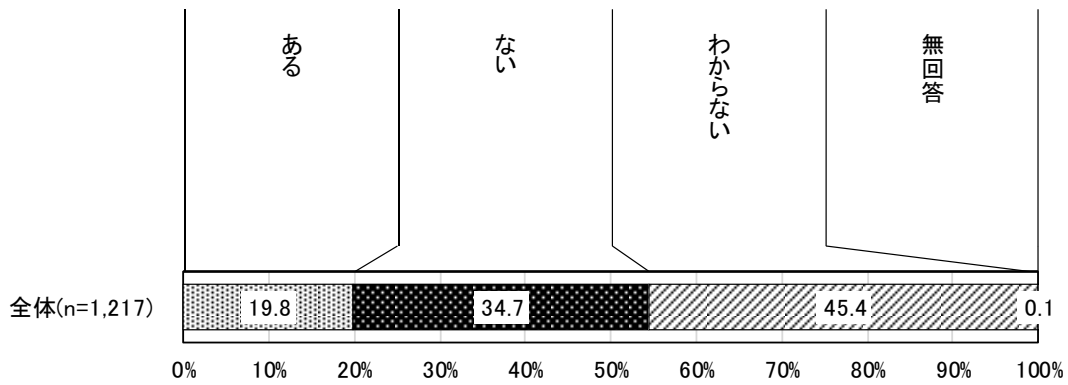
年齢で見ると、「かわいいと思う」・「心が和む」・「触りたくなる」はおおむね年齢が低くなるにつれて増加する傾向があります。一方で、「迷惑だと思う」はおおむね年齢が高くなるにつれて増加する傾向があります。

(4) 飼い主のいない猫が家の周りで子猫を産んだことがあるか

■「わからない」が4割台半ばを占める

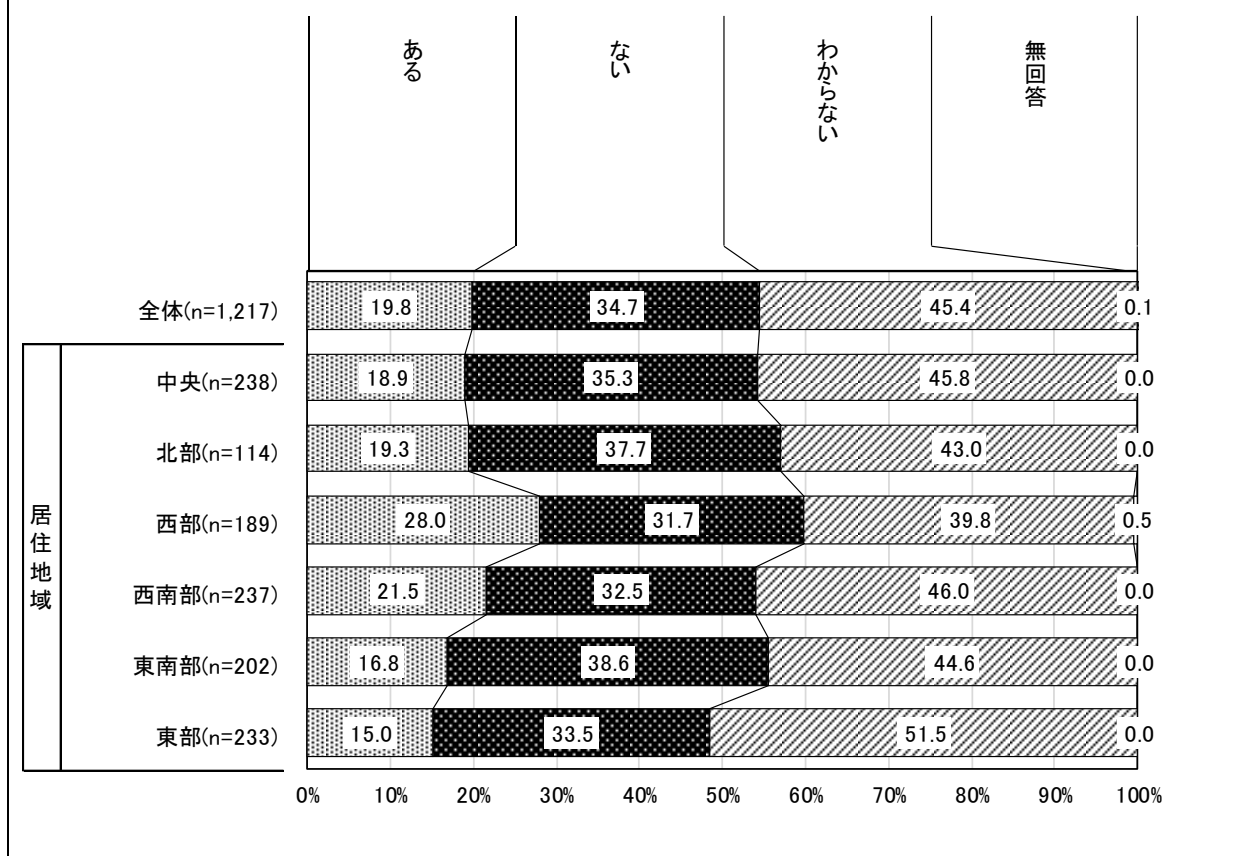
問 11 あなたの家の周りで、飼い主のいない猫が、子猫を産んだことがありますか。(ひとつだけに○)

図表1-4-1 飼い主のいない猫が家の周りで子猫を産んだことがあるか



飼い主のいない猫が家の周りで子猫を産んだことがあるかについて聞いたところ、「わからない」(45.4%)が4割台半ばと最も高く、次いで、「ない」(34.7%)、「ある」(19.8%)となっています。

図表1-4-2 飼い主のいない猫が家の周りで子猫を産んだことがあるか／居住地域



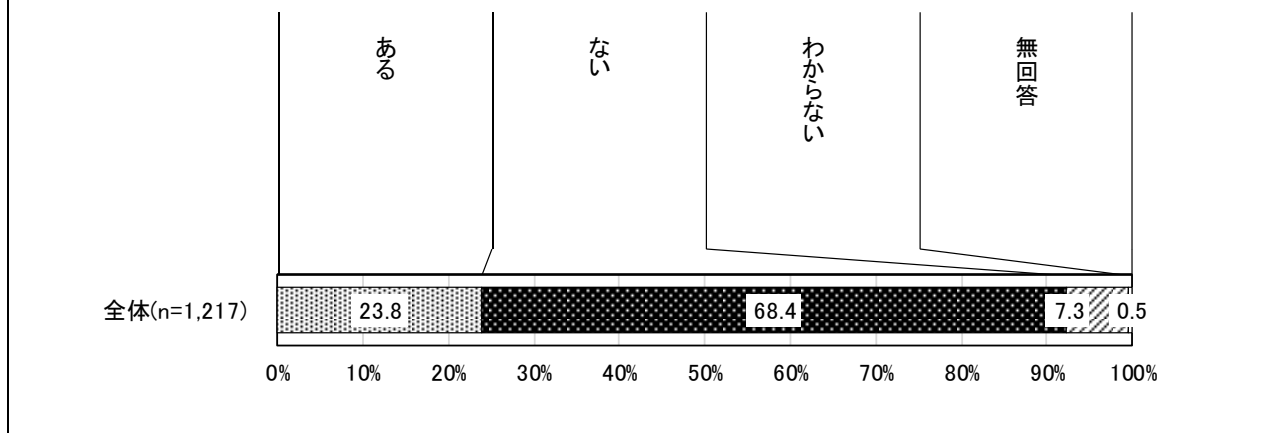
居住地域で見ると、「ある」は西部（28.0%）が最も高く3割近く、一方で、東部（15.0%）が最も低く1割台半ばとなっており、13.0ポイントの差が開いています。西南部（21.5%）も西部同様に2割台と他の地域と比べて高くなっています。

(5) 飼い主のいない猫で被害を受けたことがあるか

■「ない」が7割近くを占める

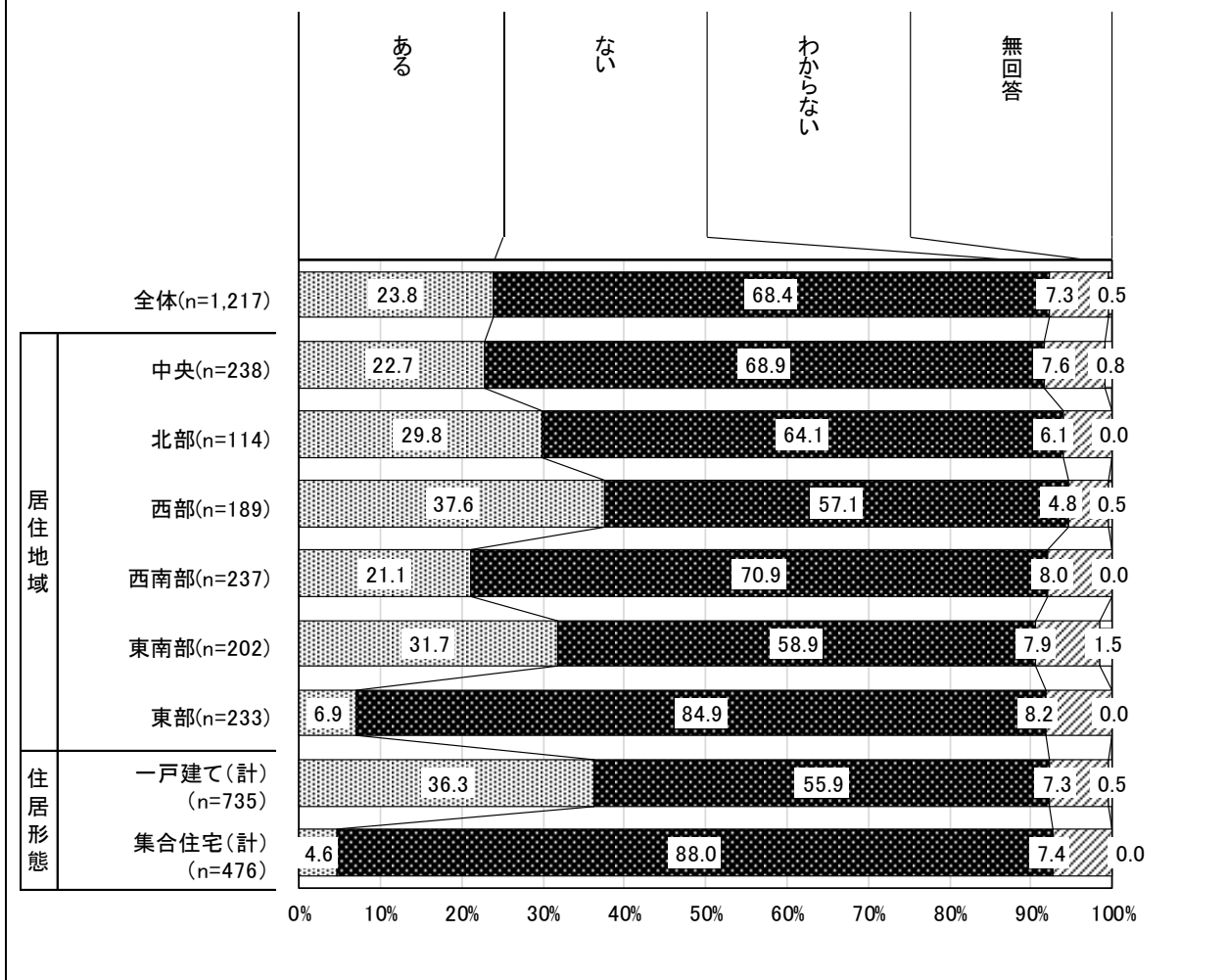
問 12 近年（ここ5年以内で）飼い主のいない猫で被害を受けたことはありますか。（ひとつだけに○）

図表1-5-1 飼い主のいない猫で被害を受けたことがあるか



飼い主のいない猫で被害を受けたことがあるかについて聞いたところ、「ない」(68.4%)が7割近くと最も高く、次いで、「ある」(23.8%)、「わからない」(7.3%)となっています。

図表1-5-2 飼い主のいない猫で被害を受けたことがあるか／居住地・住居形態



居住地で見ると、「ある」は西部(37.6%)が4割近くと最も高く、東南部(31.7%)、北部(29.8%)も次いで高くなっています。一方で、東部(6.9%)は特に低く、西部とは30.7ポイントの差が開いています。

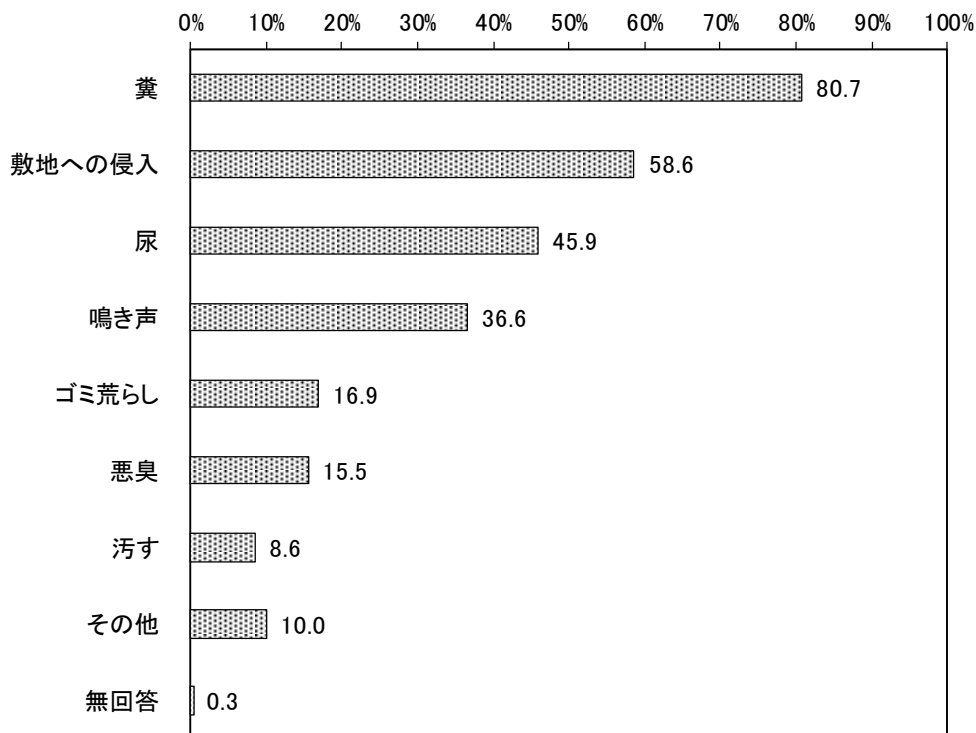
住居形態で見ると、「ある」は一戸建て(計)(36.3%)が4割近くと、集合住宅(計)(4.6%)の約8倍となっています。

(6) 被害内容

■「糞」が約8割と最も高い

問13 問12で「1. ある」を選んだ方に質問です。その内容を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

図表1-6-1 被害内容



全体(n=290)

飼い主のいない猫で被害を受けたことがあるかで「ある」を選んだ方に、被害内容について聞いたところ、「糞」(80.7%)が約8割と最も高く、次いで、「敷地への侵入」(58.6%)が6割近くと高くなっています。「尿」(45.9%)、「鳴き声」(36.6%)がこれに続いています。

一方で、「ゴミ荒らし」(16.9%)、「悪臭」(15.5%)は1割台、「汚す」(8.6%)は1割未満にとどまっています。

図表1-6-2 被害内容／居住地域・住居形態

		n (回答者数)	糞	敷地への侵入	尿	鳴き声	ゴミ荒らし	悪臭	汚す	その他	無回答
全体		290	80.7	58.6	45.9	36.6	16.9	15.5	8.6	10.0	0.3
居住地域	中央	54	85.2	61.1	48.1	44.4	24.1	25.9	9.3	7.4	0.0
	北部	34	79.4	58.8	38.2	32.4	14.7	20.6	14.7	20.6	0.0
	西部	71	77.5	62.0	45.1	29.6	18.3	16.9	7.0	12.7	1.4
	西南部	50	78.0	58.0	58.0	44.0	10.0	12.0	14.0	8.0	0.0
	東南部	64	87.5	53.1	42.2	35.9	14.1	7.8	4.7	7.8	0.0
	東部	16	62.5	56.3	31.3	31.3	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0
住居形態	一戸建て(計)	267	84.3	60.3	47.2	36.0	16.9	16.1	9.0	10.5	0.4
	集合住宅(計)	22	36.4	36.4	31.8	45.5	13.6	9.1	4.5	4.5	0.0

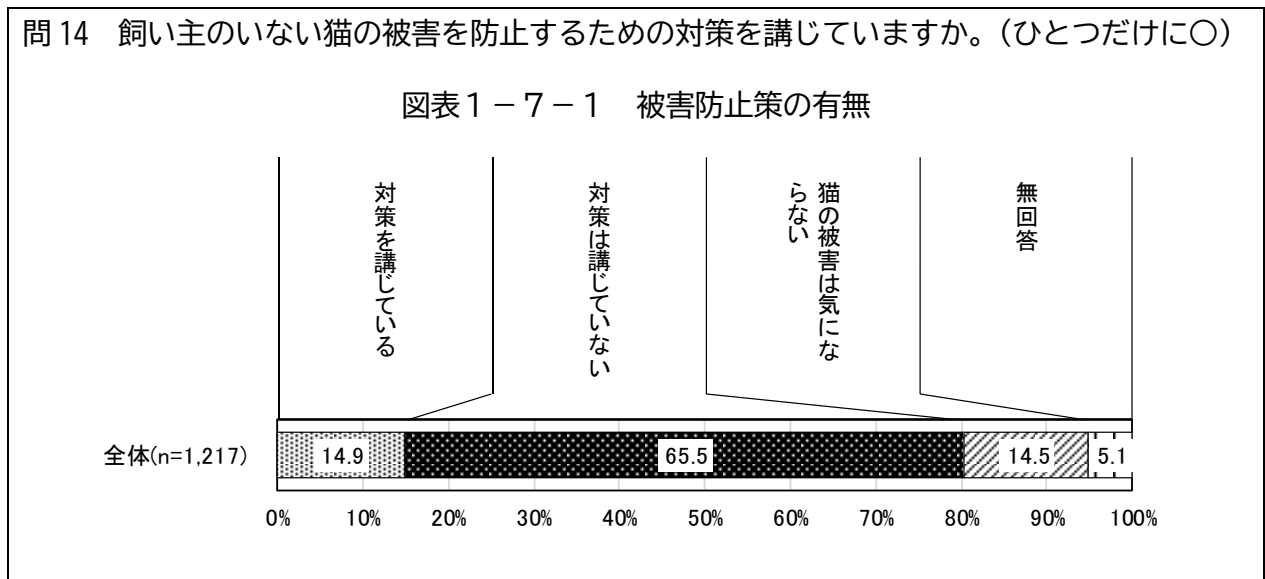
居住地域で見ると、「悪臭」は中央（25.9%）で全体（15.5%）と比べて10.4ポイント高くなっています。また、「尿」は西南部（58.0%）で全体（45.9%）と比べて12.1ポイント高くなっています。

住居形態で見ると、集合住宅（計）は「糞」（36.4%）、「敷地への侵入」（36.4%）、「尿」（31.8%）で全体を大きく下回っています。特に「糞」が低くなっており、一戸建て（計）（84.3%）との差が47.9ポイント開いています。一方で、「鳴き声」のみ集合住宅（計）（45.5%）が一戸建て（計）（36.0%）を上回っています。

(7) 被害防止策の有無

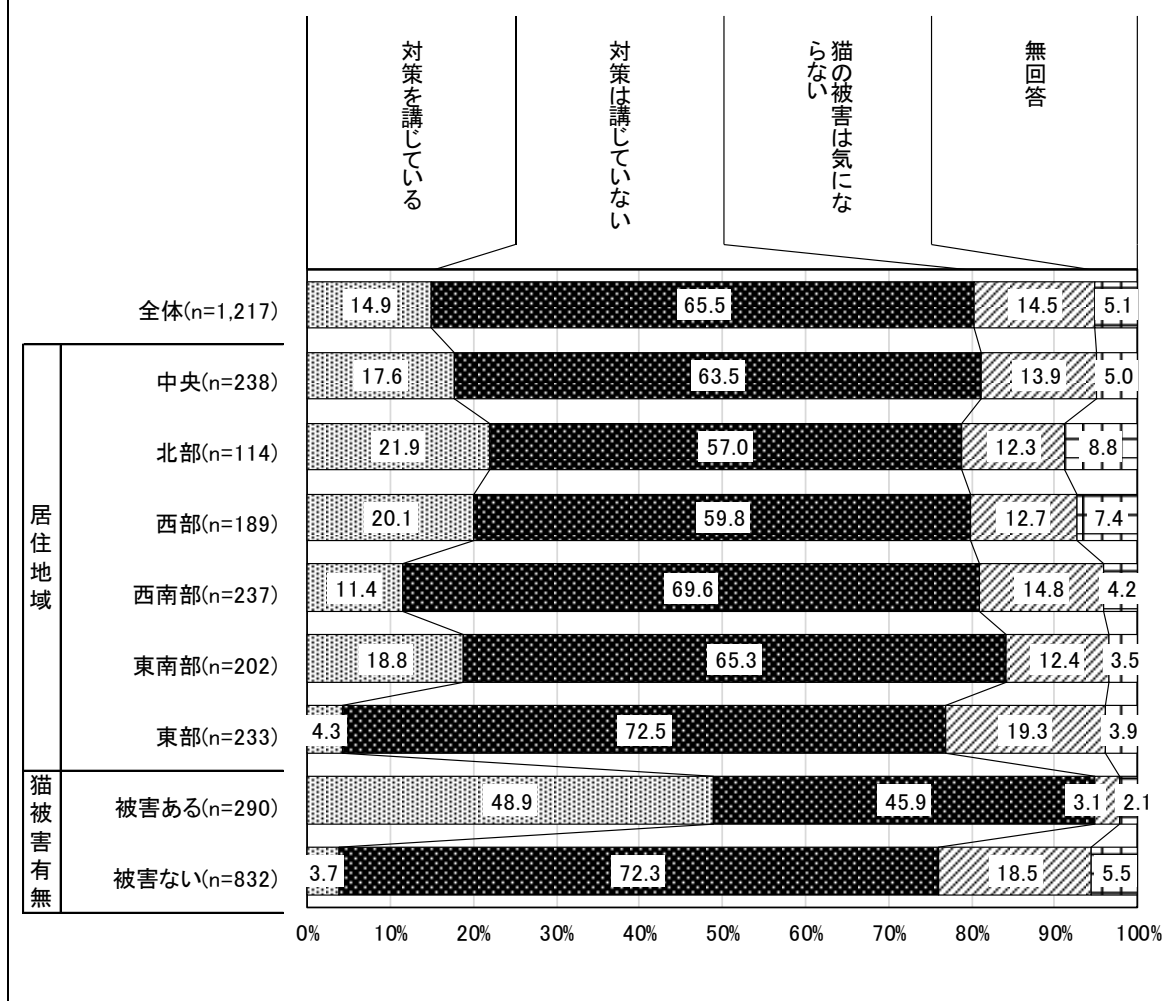
■「対策は講じていない」が6割台半ばを占める

問 14 飼い主のいない猫の被害を防止するための対策を講じていますか。(ひとつだけに○)



被害防止策の有無について聞いたところ、「対策は講じていない」(65.5%)が6割台半ばと最も高く、「対策を講じている」(14.9%)、「猫の被害は気にならない」(14.5%)はそれぞれ1割台半ばとなっています。

図表1-7-2 被害防止策の有無／居住地域・猫被害有無



居住地域で見ると、「対策を講じている」は東部（4.3%）で特に低くなっています。

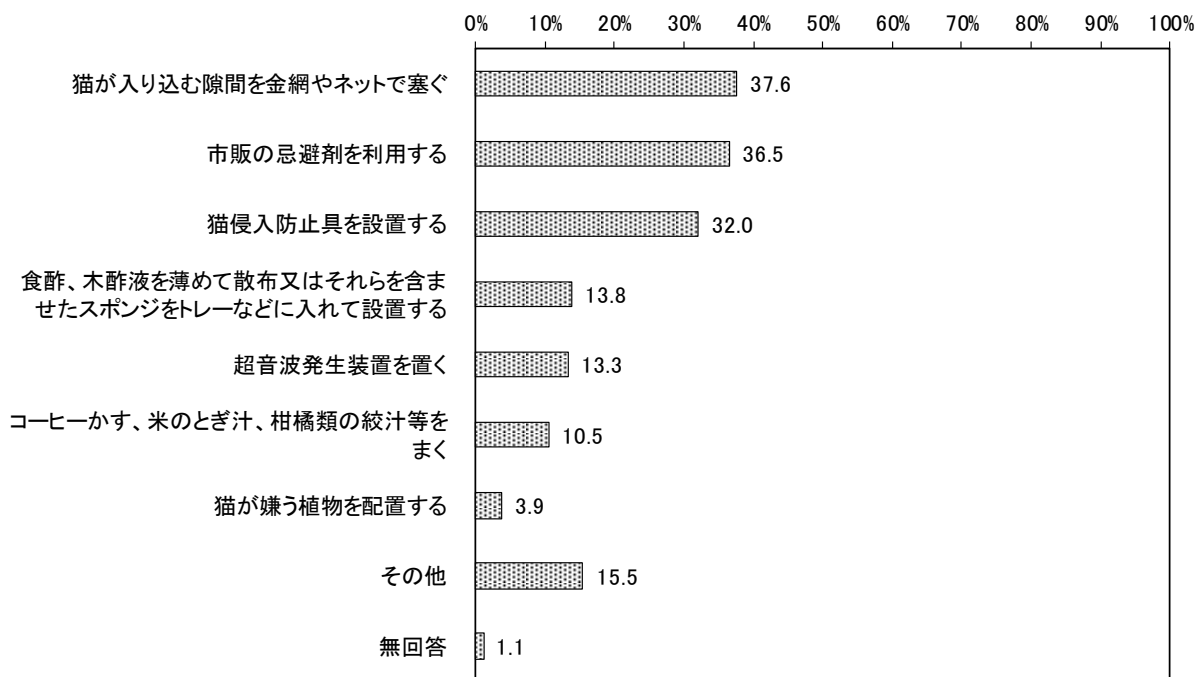
猫被害有無で見ると、「対策を講じている」は被害ある（48.9%）が5割近くと高くなっている一方で、「対策は講じていない」（45.9%）も4割台半ば見られます。

(8) 被害防止策

■「猫が入り込む隙間を金網やネットで塞ぐ」が4割近くと最も高い

問15 問14で「1. 対策を講じている」を選んだ方に質問です。どのような対策を講じていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表1-8-1 被害防止策



全体(n=181)

被害防止策の有無で「対策を講じている」を選んだ方に、被害防止策について聞いたところ、「猫が入り込む隙間を金網やネットで塞ぐ」(37.6%)が4割近くと最も高く、次いで、「市販の忌避剤を利用する」(36.5%)、「猫侵入防止具を設置する」(32.0%)が3割台と高くなっています。

一方で、「食酢、木酢液を薄めて散布又はそれらを含ませたスポンジをトレーなどに入れて設置する」(13.8%)、「超音波発生装置を置く」(13.3%)、「コーヒーかす、米のとぎ汁、柑橘類の絞汁等をまく」(10.5%)は1割台、「猫が嫌う植物を配置する」(3.9%)は1割未満となっています。

図表1-8-2 被害防止策／居住地域

		n (回答者数)	猫が入り込む隙間を金網やネットで塞ぐ	市販の忌避剤を利用する	猫侵入防止具を設置する	食酢、木酢液を薄めて散布又はそれらを含ませたスポンジをトレーなどに入れて設置する	超音波発生装置を置く	まく コーヒーかす、米のとき汁、柑橘類の絞汁等をまく	猫が嫌う植物を配置する	その他	無回答
全体		181	37.6	36.5	32.0	13.8	13.3	10.5	3.9	15.5	1.1
居住地域	中央	42	47.6	35.7	35.7	33.3	11.9	16.7	4.8	14.3	2.4
	北部	25	24.0	44.0	20.0	0.0	32.0	12.0	8.0	8.0	4.0
	西部	38	34.2	39.5	34.2	2.6	2.6	7.9	0.0	26.3	0.0
	西南部	27	37.0	40.7	37.0	11.1	11.1	11.1	7.4	18.5	0.0
	東南部	38	42.1	36.8	23.7	13.2	15.8	5.3	2.6	10.5	0.0
	東部	10	30.0	0.0	50.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0

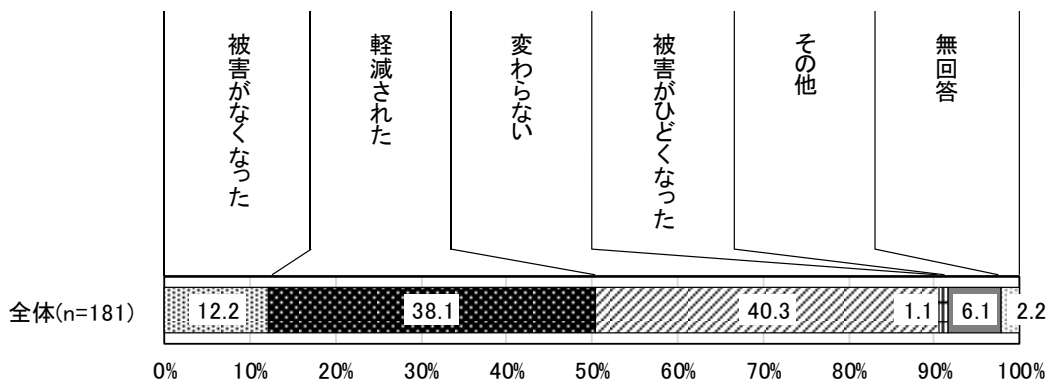
居住地域で見ると、「猫が入り込む隙間を金網やネットで塞ぐ」は中央(47.6%)が全体(37.6%)と比べて10.0ポイント高くなっています。また、「食酢、木酢液を薄めて散布又はそれらを含ませたスポンジをトレーなどに入れて設置する」は中央(33.3%)が全体(13.8%)と比べて19.5ポイント高くなっています。

(9) 被害防止策の効果

■ 「変わらない」が約4割と最も高い

問16 問14で「1. 対策を講じている」を選んだ方に質問です。対策により被害は軽減されましたか。(ひとつだけに○)

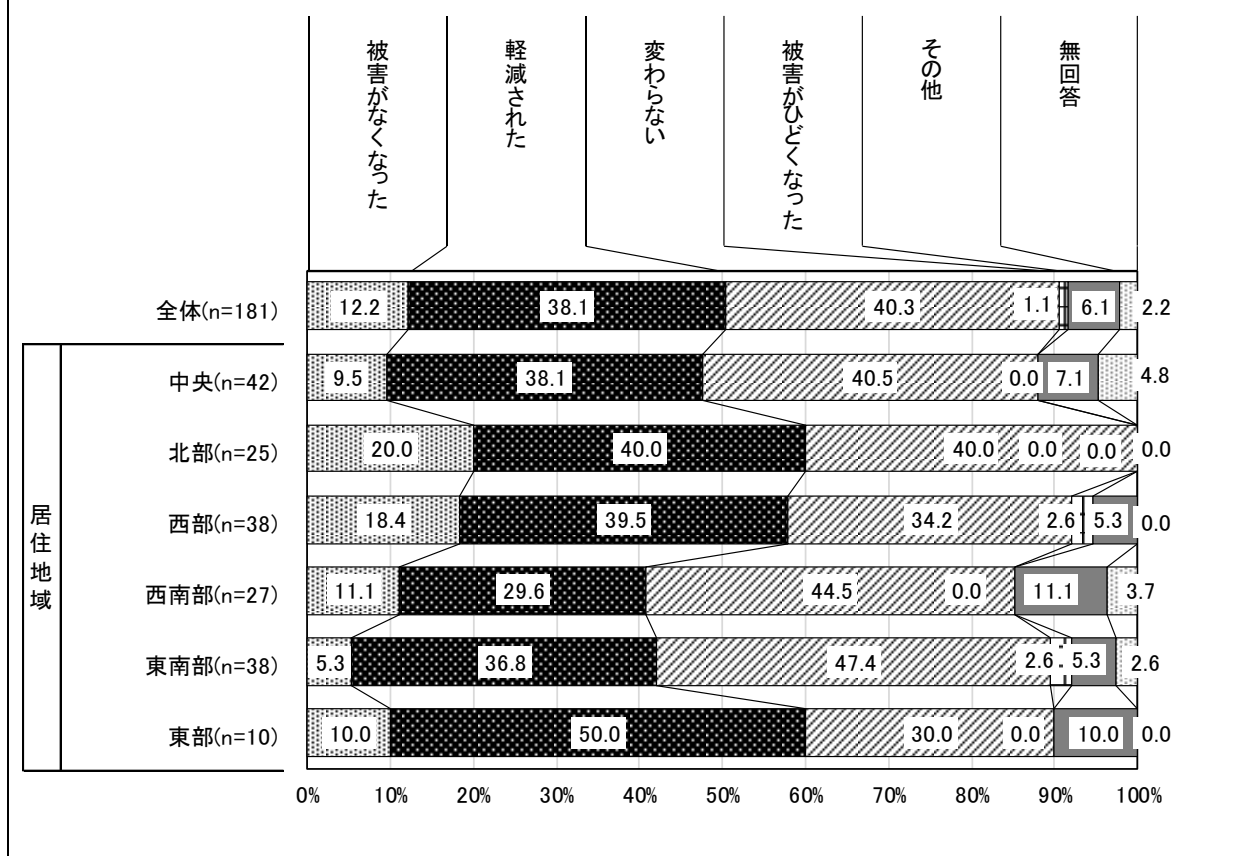
図表1-9-1 被害防止策の効果



被害防止策の有無で「対策を講じている」を選んだ方に、被害防止策の効果について聞いたところ、「変わらない」(40.3%)が約4割と最も高く、次いで、「軽減された」(38.1%)、「被害がなくなった」(12.2%)となっています。

一方で、「被害がひどくなった」(1.1%)もわずかに見られます。

図表 1-9-2 被害防止策の効果／居住地域



「図表 1-8-2 被害防止策の有無／居住地域」と合わせて見ると、「猫侵入防止具を設置する」が最も高くなっていた東部、「市販の忌避剤を利用する」が最も高くなっていた西部、北部では「軽減された」が高くなっています。（西南部も「市販の忌避剤を利用する」が高くなっていますが、同様の結果は見られませんでした）

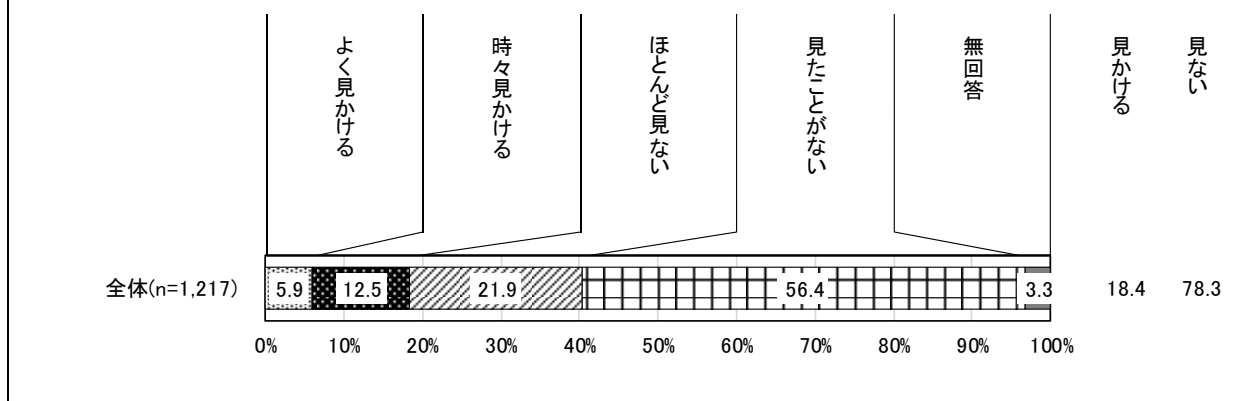
一方で、「猫が入り込む隙間を金網やネットで塞ぐ」の割合が最も高くなっていた中央、東南部では「変わらない」が高くなっています。

(10) 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか ①餌やりを見かけるか

■「見ない」が8割近くを占める

問 17 あなたの家の周りで飼い主のいない猫への餌やりを見かけますか、もしくはしていますか。(①②のそれぞれひとつだけに○)

図表1-10-1 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか ①餌やりを見かけるか

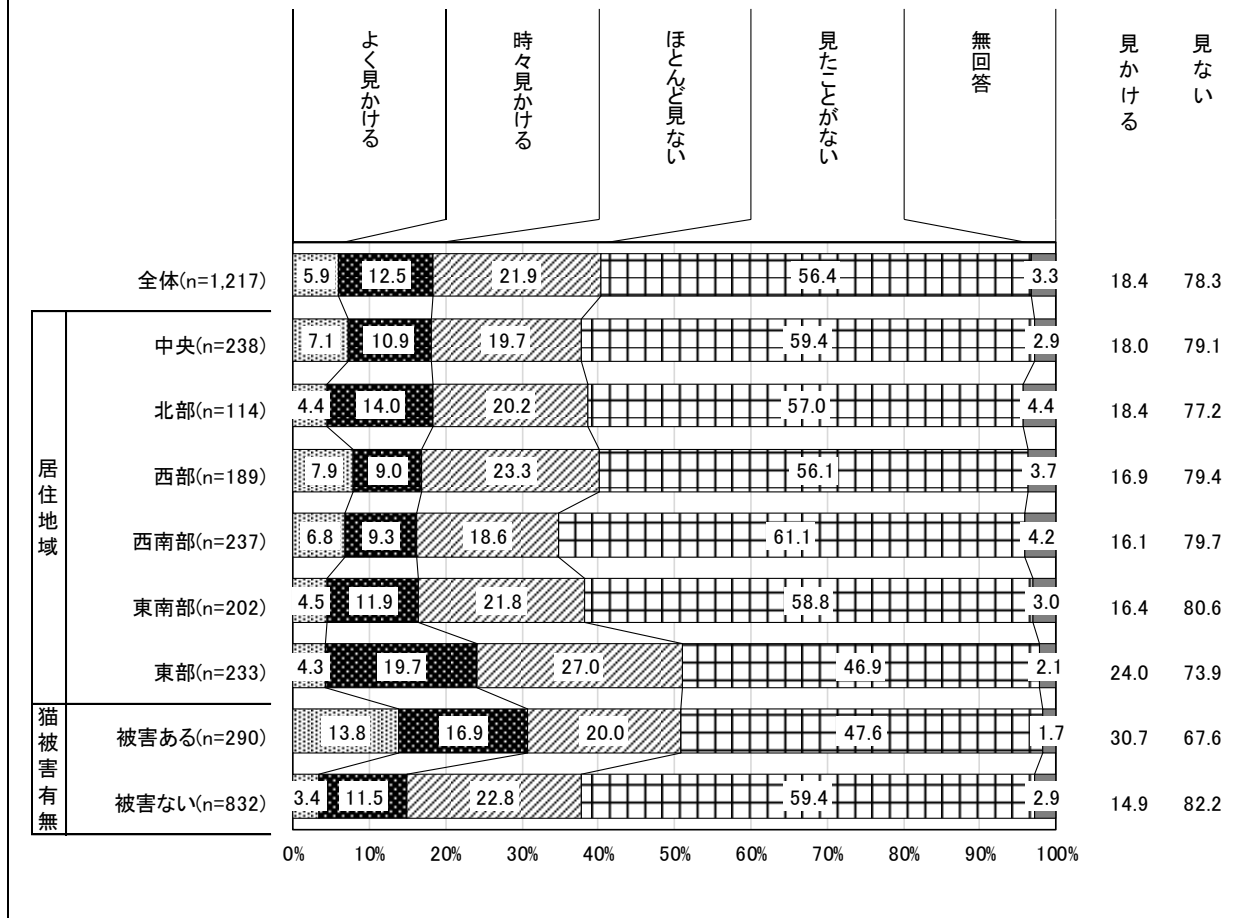


家の周りで餌やりを見かけるかについて聞いたところ、「見たことがない」(56.4%)が6割近くと最も高く、次いで、「ほとんど見ない」(21.9%)、「時々見かける」(12.5%)となっています。

また、「よく見かける」(5.9%)と「時々見かける」(12.5%)を合計した「見かける」(18.4%)が2割近く、「ほとんど見ない」(21.9%)と「見たことがない」(56.4%)を合計した「見ない」(78.3%)が8割近くとなっています。

図表1-10-2 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか

①餌やりを見かけるか／居住地・猫被害有無



居住地で見ると、「よく見かける」と「時々見かける」を合計した「見かける」は、東部(24.0%)が2割台半ばと最も高く、その他の地域は1割台となっています。

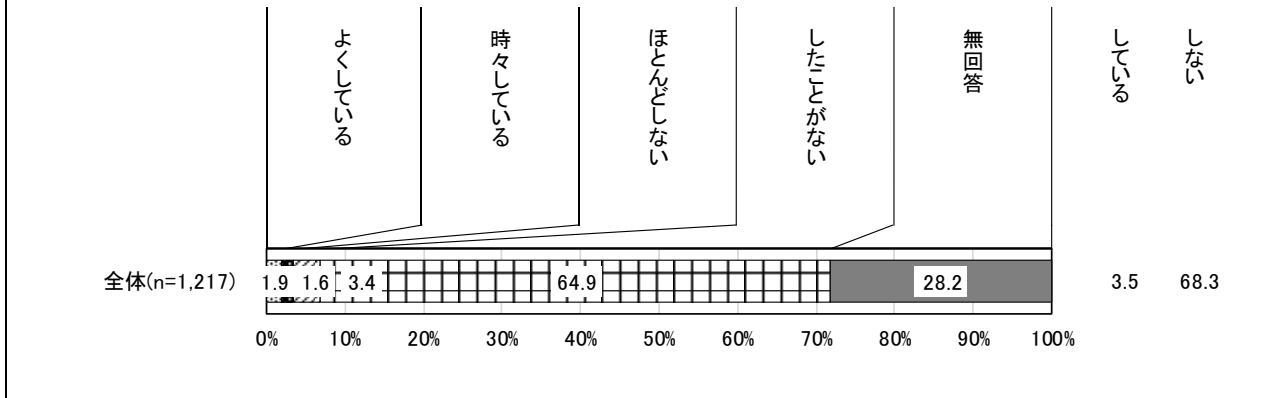
猫被害有無で見ると、「見かける」は、被害ある(30.7%)が約3割と、被害ない(14.9%)の2倍以上となっています。

(11) 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか ②餌やりをしているか

■「しない」が7割近くを占める

問 17 あなたの家の周りで飼い主のいない猫への餌やりを見かけますか、もしくはしていますか。(①②のそれぞれひとつだけに○)

図表1-11-1 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか ②餌やりをしているか

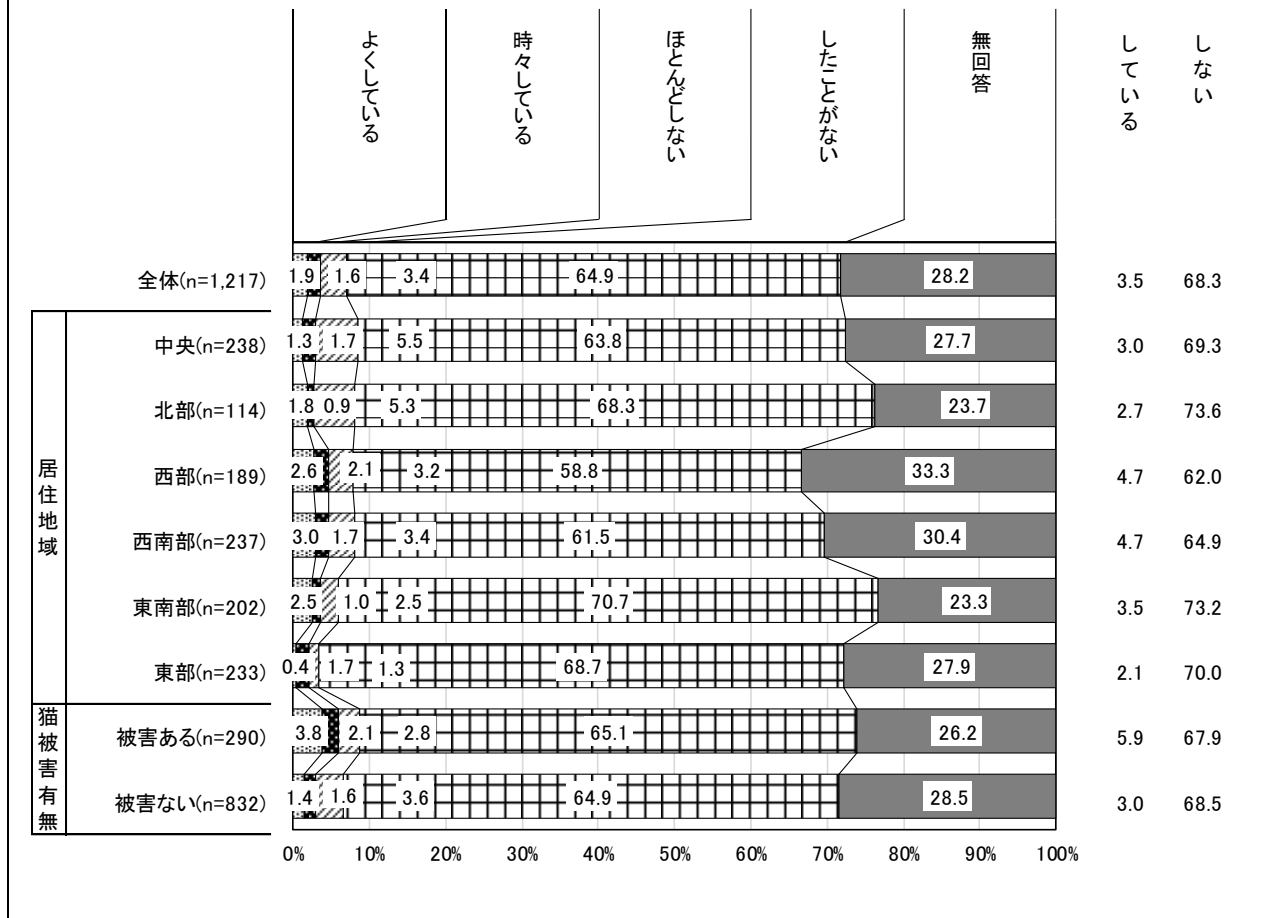


家の周りで餌やりをしているかについて聞いたところ、「したことがない」(64.9%)が6割台半ばと最も高く、「ほとんどしない」(3.4%)、「よくしている」(1.9%)、「時々している」(1.6%)はわずかに見られます。

「よくしている」(1.9%)と「時々している」(1.6%)を合計した「している」(3.5%)が1割未満、「ほとんどしない」(3.4%)と「したことがない」(64.9%)を合計した「しない」(68.3%)が7割近くとなっています。

図表1-11-2 家の周りで餌やりを見かけるか・しているか

②餌やりをしているか／居住地・猫被害有無



居住地で見ると、「よくしている」と「時々している」を合計した《している》はすべての地域で1割未満とわずかに見られます。

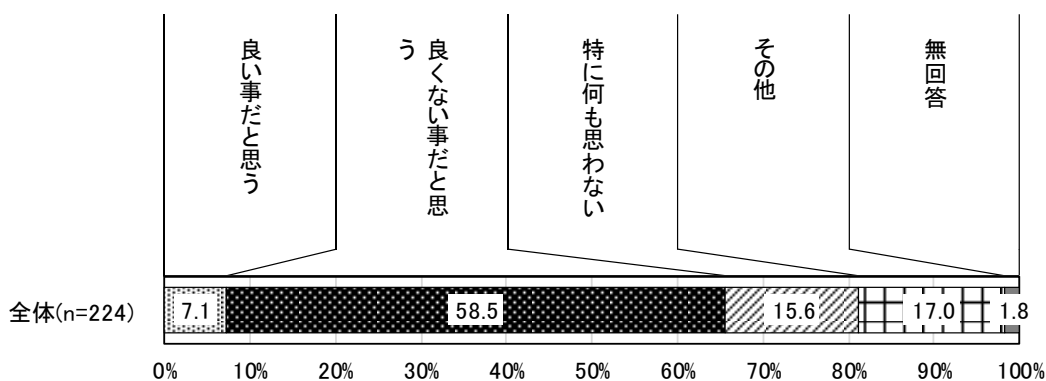
猫被害有無で見ると、《している》は被害ある（5.9%）が被害ない（3.0%）の約2倍となっています。

(12) 餌やりを見かけたときどのように思うか

■「良くない事だと思う」が6割近くを占める

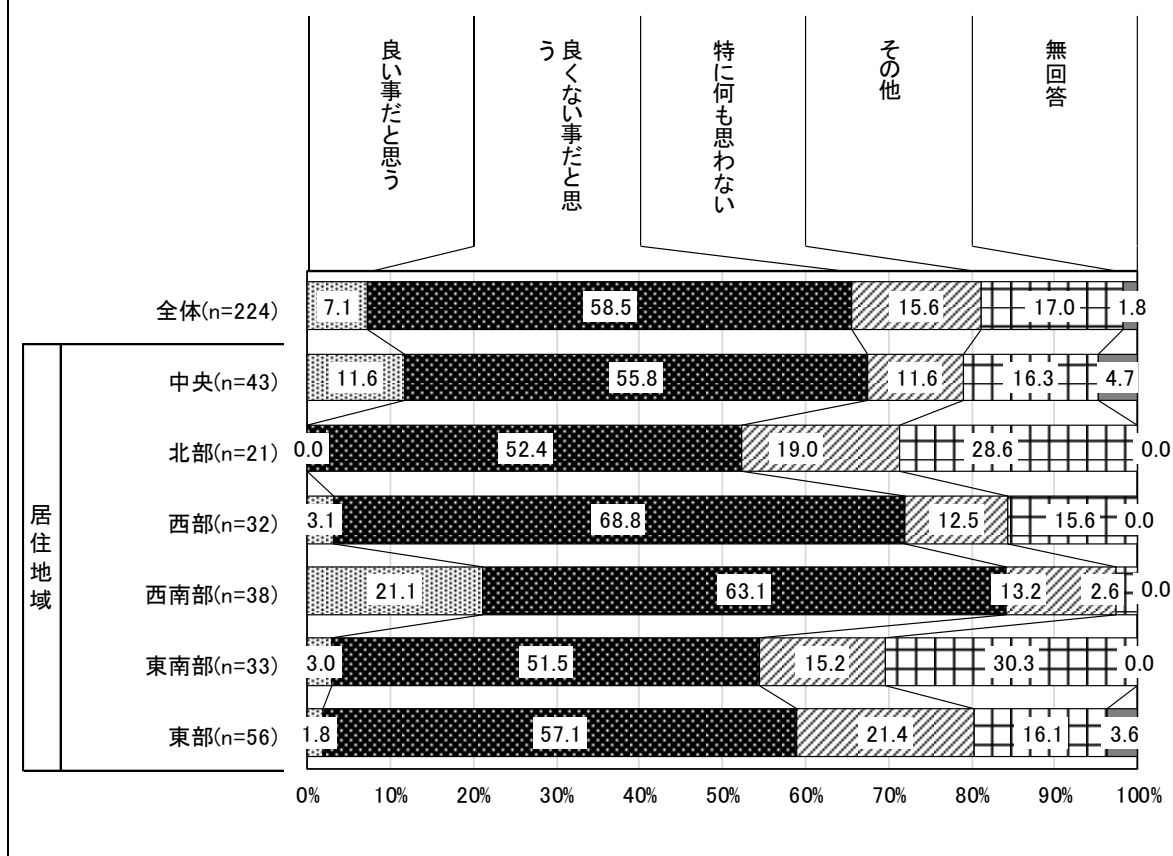
問18 問17①で「1. よく見かける」または「2. 時々見かける」を選んだ方に質問です。餌やりを見たとき、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

図表1-12-1 餌やりを見かけたときどのように思うか



家の周りで餌やりを見かけるかで「よく見かける」または「時々見かける」を選んだ方に、餌やりを見かけたときどのように思うかについて聞いたところ、「良くない事だと思う」(58.5%)が6割近くと最も高く、次いで、「その他」(17.0%)、「特に何も思わない」(15.6%)となっています。一方で、「良い事だと思う」(7.1%)もわずかに見られます。

図表1-12-2 餌やりを見かけたときどのように思うか／居住地域



居住地域で見ると、「良い事だと思う」は西南部（21.1%）と全体（7.1%）で14.0ポイントの差が開いています。

2. 地域猫活動について

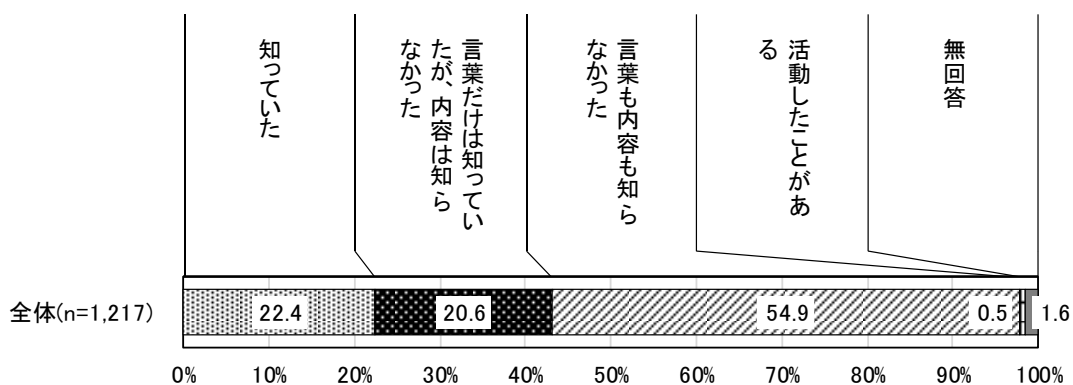
(1) 地域猫活動を知っているか

■ 「言葉も内容も知らなかった」が5割台半ばを占める

問 19 あなたは地域猫活動※を知っていましたか。(ひとつだけに○)

※地域猫活動…飼い主のいない猫による被害を地域の問題としてとらえ、時間を決めた餌やりと片付け、地域トイレの設置・清掃、不妊去勢手術を行うことにより、飼い主のいない猫をこれ以上増やさず、一代限りで見守る活動のことです。

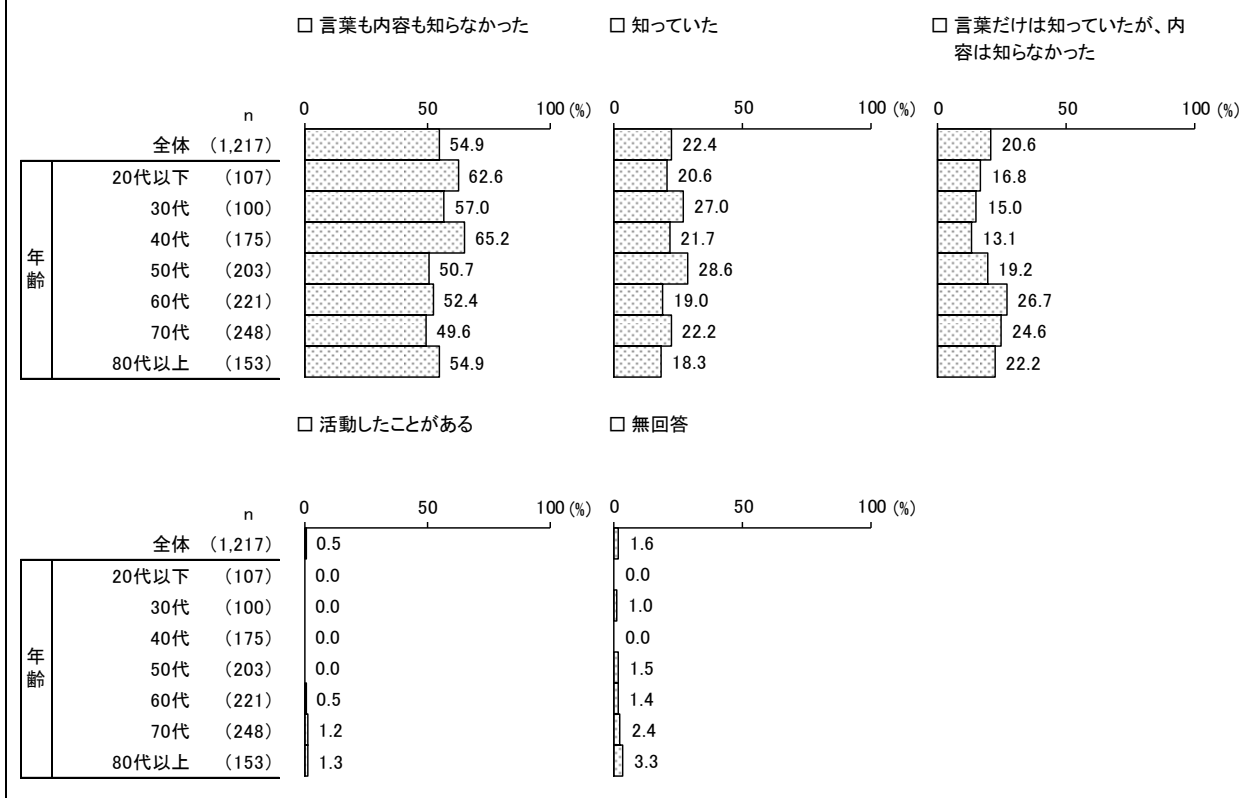
図表2-1-1 地域猫活動を知っているか



地域猫活動を知っているかについて聞いたところ、「言葉も内容も知らなかった」(54.9%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「知っていた」(22.4%)、「言葉だけは知っていたが、内容は知らなかった」(20.6%)が2割台となっています。

一方で、「活動したことがある」(0.5%)はわずかしか見られません。

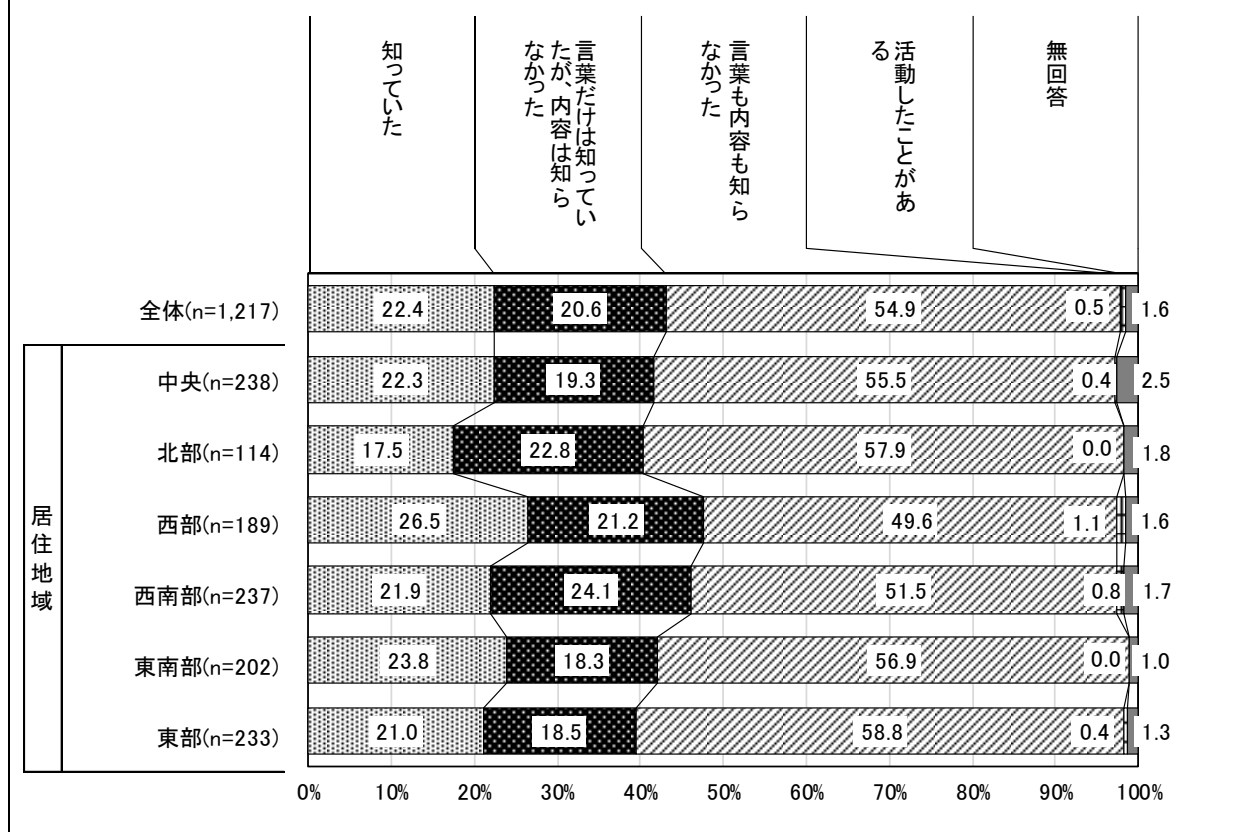
図表2-1-2 地域猫活動を知っているか／年齢



年齢で見ると、「言葉も内容も知らなかった」は40代（65.2%）で最も高く、6割台半ばとなっています。また、20代以下（62.6%）も6割強と高くなっています。

「活動したことがある」はわずかにしか見られませんが、いずれも60代から80代以上の回答となっています。

図表 2-1-3 地域猫活動を知っているか／居住地



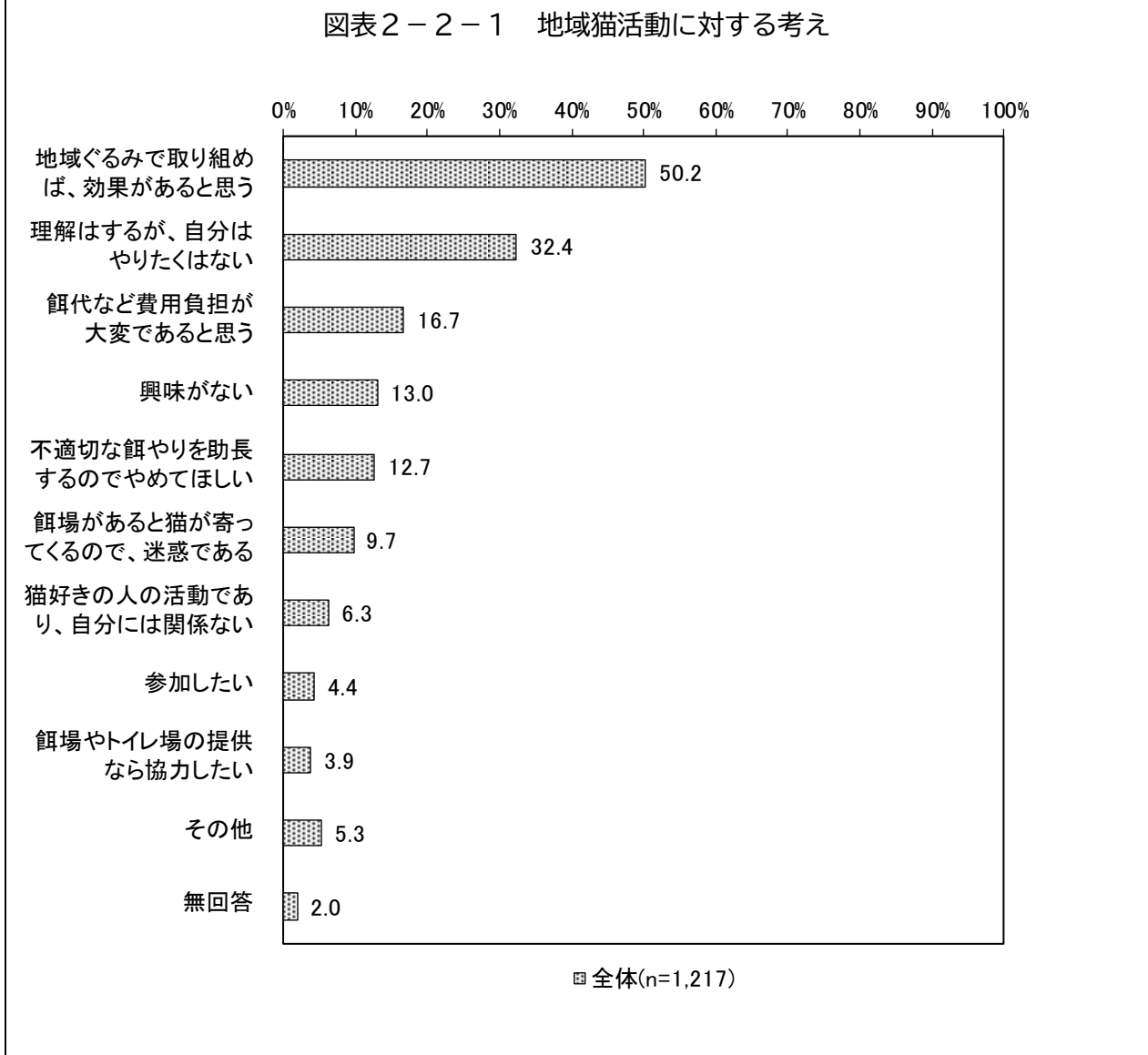
居住地で見ると、「言葉も内容も知らなかった」は東部（58.8%）で最も高く、6割近くとなっています。一方で、西部（49.6%）が最も低く、全体を5.3ポイント下回っています。

「活動したことがある」は北部・東南部が共に0.0%となっています。

(2) 地域猫活動に対する考え

■「地域ぐるみで取り組めば、効果があると思う」が約5割と最も高い

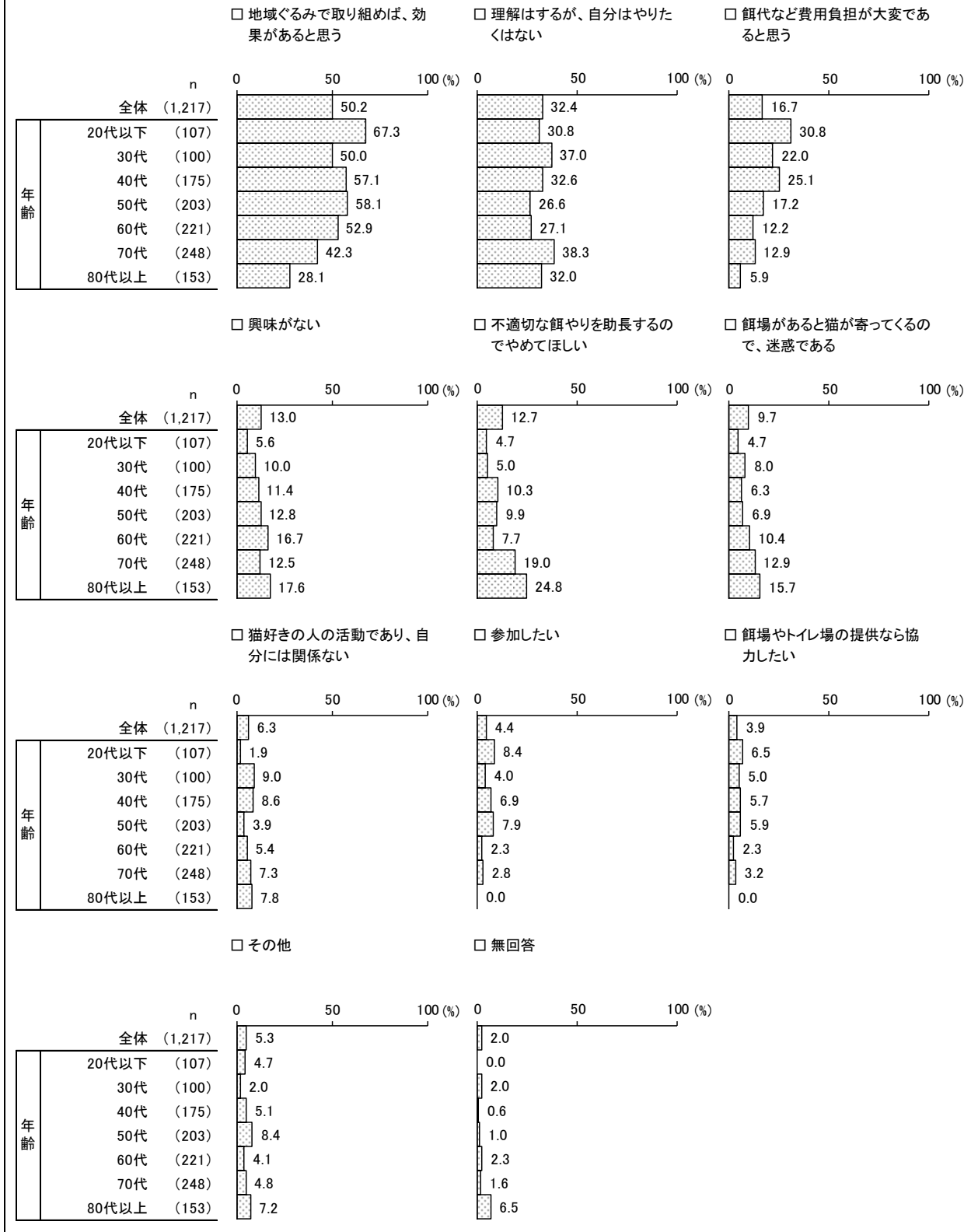
問 20 地域猫活動についてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)



地域猫活動に対する考えについて聞いたところ、「地域ぐるみで取り組めば、効果があると思う」(50.2%)が約5割と最も高く、次いで、「理解はするが、自分はやりたくはない」(32.4%)が3割強と高くなっています。

「参加したい」(4.4%)、「餌場やトイレ場の提供なら協力したい」(3.9%)もわずかに見られます。

図表2-2-2 地域猫活動に対する考え/年齢



年齢で見ると、「不適切な餌やりを助長するのでやめてほしい」は40代、70代、80代以上で1割を超えています。また、「餌場があると猫が寄ってくるので、迷惑である」は60代、70代、80代以上で1割を超えています。70代・80代以上で地域猫活動に対する批判的な意見が多く見られます。

図表2-2-3 地域猫活動に対する考え（上位10項目）／猫被害有無

		コ （回答者数）	地域ぐるみで取り組みれば、効果があると思う	理解はするが、自分はやりたくはない	餌代など費用負担が大変であると思う	興味がない	不適切な餌やりを助長するのでやめてほしい	餌場があると猫が寄ってくるので、迷惑である	猫好きの人の活動であり、自分には関係ない	参加したい	餌場やトイレ場の提供なら協力したい	その他	無回答
	全体	1,217	50.2	32.4	16.7	13.0	12.7	9.7	6.3	4.4	3.9	5.3	2.0
猫被害有無	被害ある	290	39.7	42.4	12.4	11.0	25.2	22.1	8.6	2.8	1.7	6.6	1.0
	被害ない	832	56.0	28.0	18.9	12.7	8.4	4.9	5.2	5.4	4.8	4.6	2.2

猫被害有無で見ると、「地域ぐるみで取り組みれば、効果があると思う」は被害ある（39.7%）が全体（50.2%）を10.5ポイント下回っています。

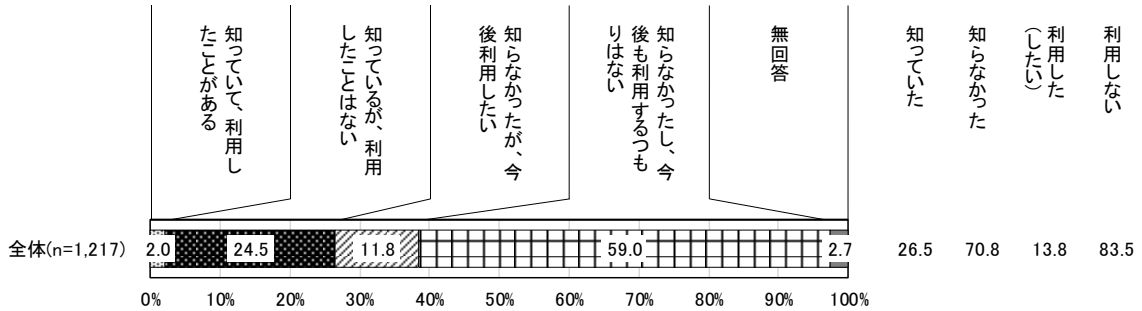
また、「理解はするが、自分はやりたくはない」、「不適切な餌やりを助長するのでやめてほしい」、「餌場があると猫が寄ってくるので、迷惑である」は、被害あるが全体よりも高く、被害あるで地域猫活動に対する批判的な意見が多く見られます。

(3) 不妊去勢手術費用の一部助成について

■「知らなかった」が約7割、「利用しない」が8割強をそれぞれ占める

問 21 市では飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部（メス1頭につき上限7千円、オス1頭につき上限4千円）を助成しています。このことについて、認知状況と利用状況をお答えください。（ひとつだけに○）

図表 2-3-1 不妊去勢手術費用の一部助成について

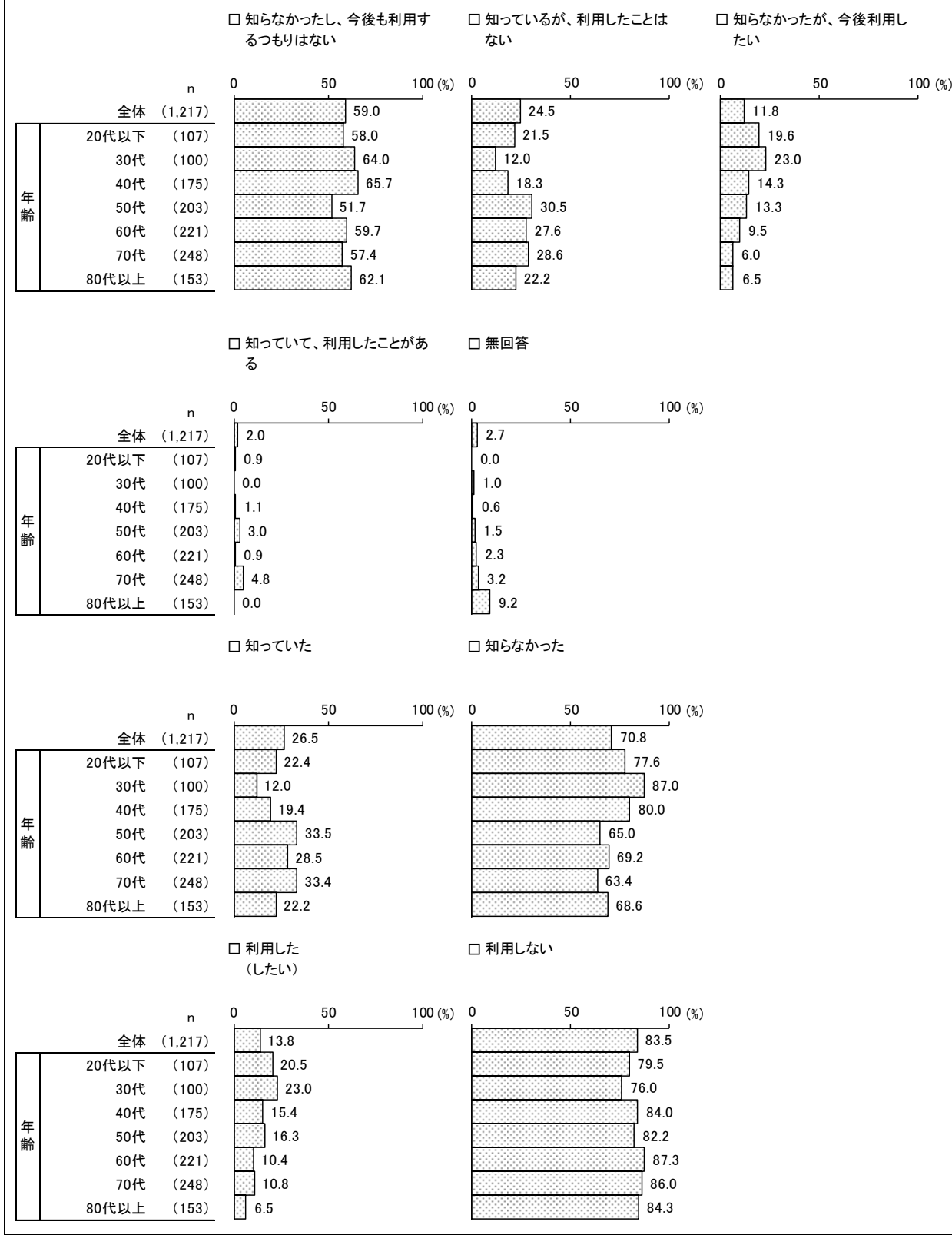


不妊去勢手術費用の一部助成について聞いたところ、「知らなかったし、今後も利用するつもりはない」(59.0%)が6割弱と最も高く、次いで、「知っているが、利用したことはない」(24.5%)、「知らなかったが、今後利用したい」(11.8%)となっています。「知っているが、利用したことがある」(2.0%)もわずかに見られます。

認知状況は、「知っているが、利用したことがある」(2.0%)と「知っているが、利用したことはない」(24.5%)を合計した「知っていた」(26.5%)が3割近く、「知らなかったが、今後利用したい」(11.8%)と「知らなかったし、今後も利用するつもりはない」(59.0%)を合計した「知らなかった」(70.8%)が約7割となっています。

利用意向は、「知っているが、利用したことがある」(2.0%)と「知らなかったが、今後利用したい」(11.8%)を合計した「利用した(したい)」(13.8%)が1割強、「知っているが、利用したことはない」(24.5%)と「知らなかったし、今後も利用するつもりはない」(59.0%)を合計した「利用しない」(83.5%)が8割強となっています。

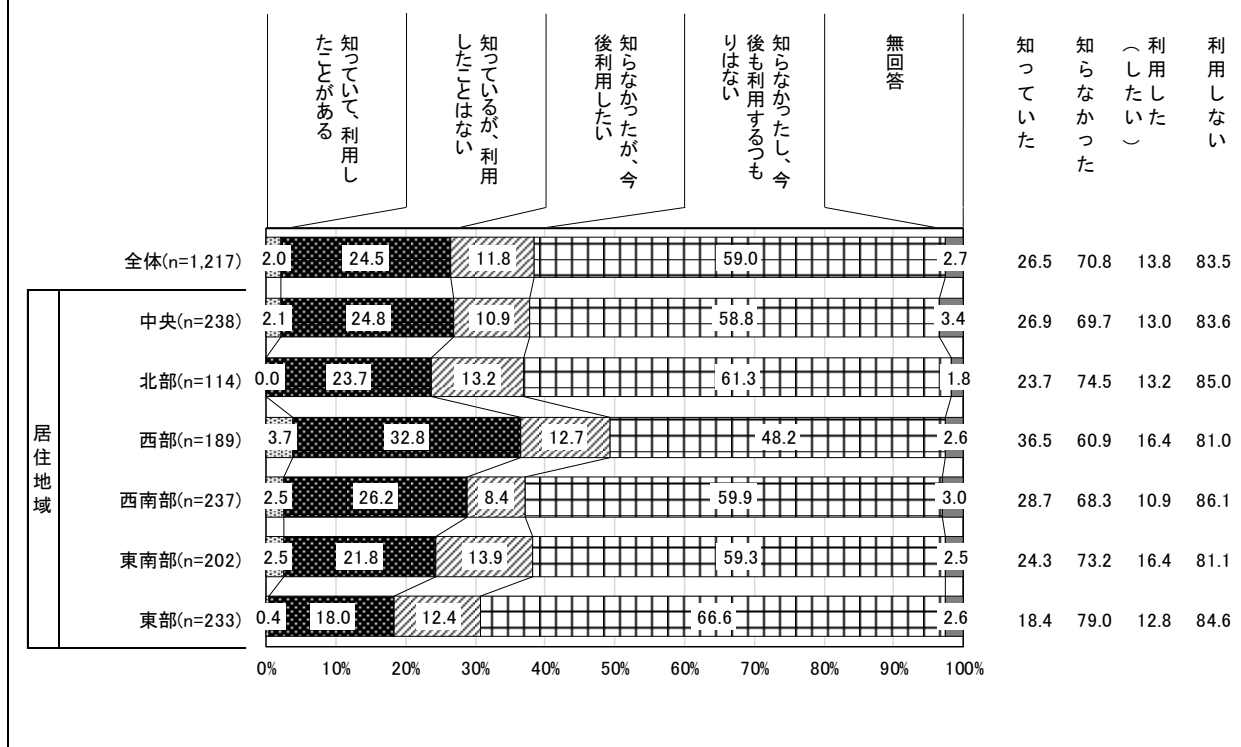
図表2-3-2 不妊去勢手術費用の一部助成について／年齢



年齢で見ると、「知らなかったが、今後利用したい」は、30代(23.0%)のみが2割台と高く、20代(19.6%)も2割弱と高くなっています。

「知っているが、利用したことがある」と「知らなかったが、今後利用したい」を合計した「利用した(したい)」は、80代以上(6.5%)のみが1割未満と特に低くなっています。

図表2-3-3 不妊去勢手術費用の一部助成について／居住地域



居住地域で見ると、「知っている、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合計した「知っていた」は、西部（36.5%）のみが3割台と高く、一方で、東部（18.4%）のみが1割台と低くなっています。

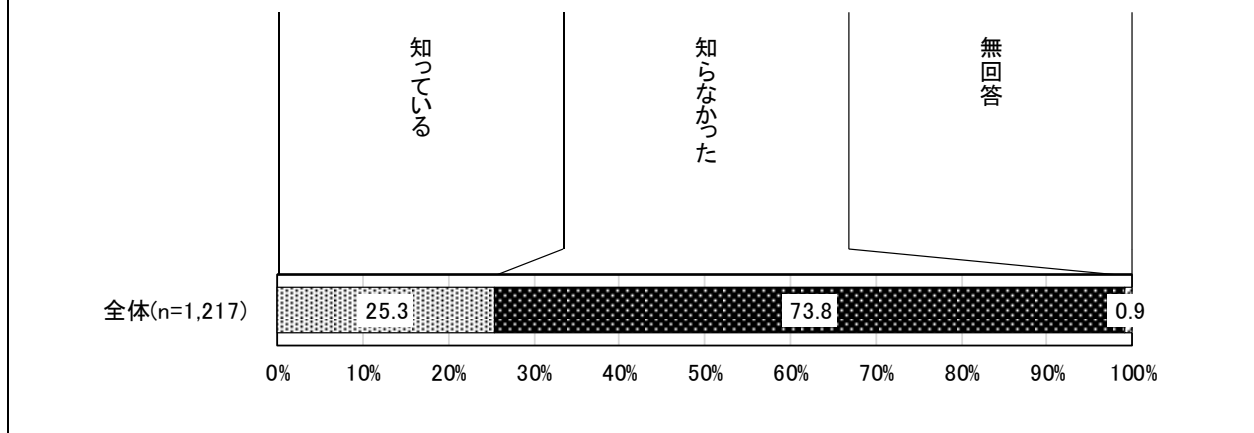
「知っている、利用したことがある」と「知らなかったが、今後利用したい」を合計した「利用した(したい)」は、いずれの地域でも1割台となっています。

(4) 不妊去勢手術実施済み猫の耳カットの認知

■「知らなかった」が7割強を占める

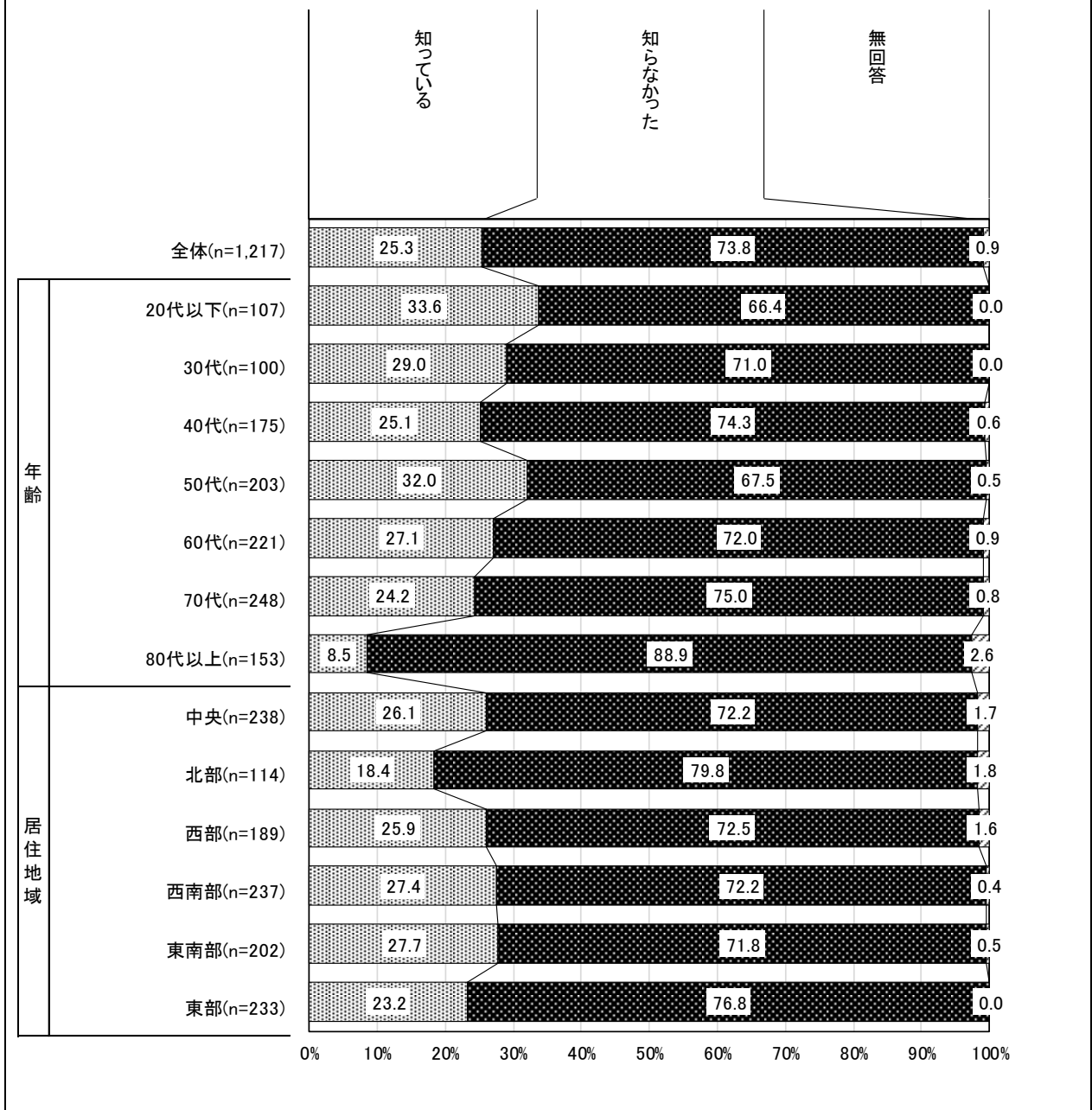
問 22 地域猫活動で不妊去勢手術をした猫は、目印のため、猫の耳上部を水平またはV字にカットしています。このことについて、知っていましたか。(ひとつだけに○)

図表 2-4-1 不妊去勢手術実施済み猫の耳カットの認知



不妊去勢手術実施済み猫の耳カットの認知について聞いたところ、「知らなかった」(73.8%)が7割強、「知っている」(25.3%)が2割台半ばとなっています。

図表 2-4-2 不妊去勢手術実施済み猫の耳カットの認知／年齢・居住地域



年齢で見ると、「知っている」は50代以降で減少しており、80代以上（8.5%）は1割未満と特に低くなっています。最も高い20代以下（33.6%）と比較すると25.1ポイントの差が開いています。

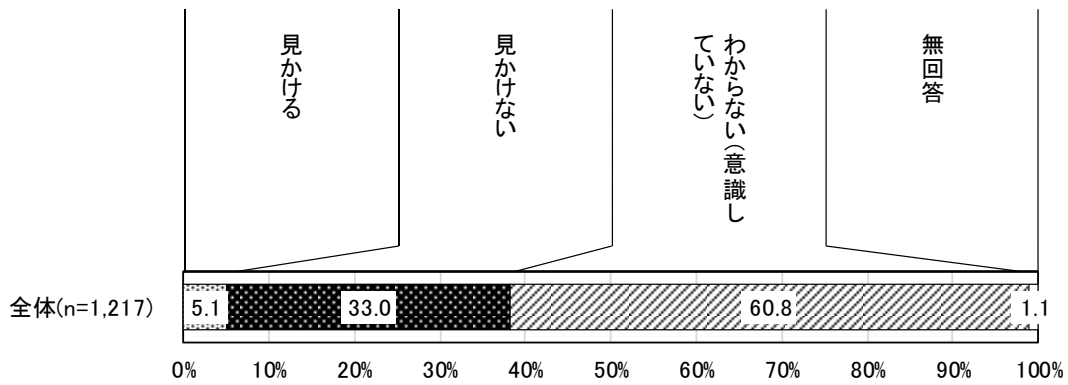
居住地域で見ると、「知っている」は北部（18.4%）のみが1割台と低くなっています。

(5) 耳カットしてある猫を見かけるか

■「わからない（意識していない）」が約6割を占める

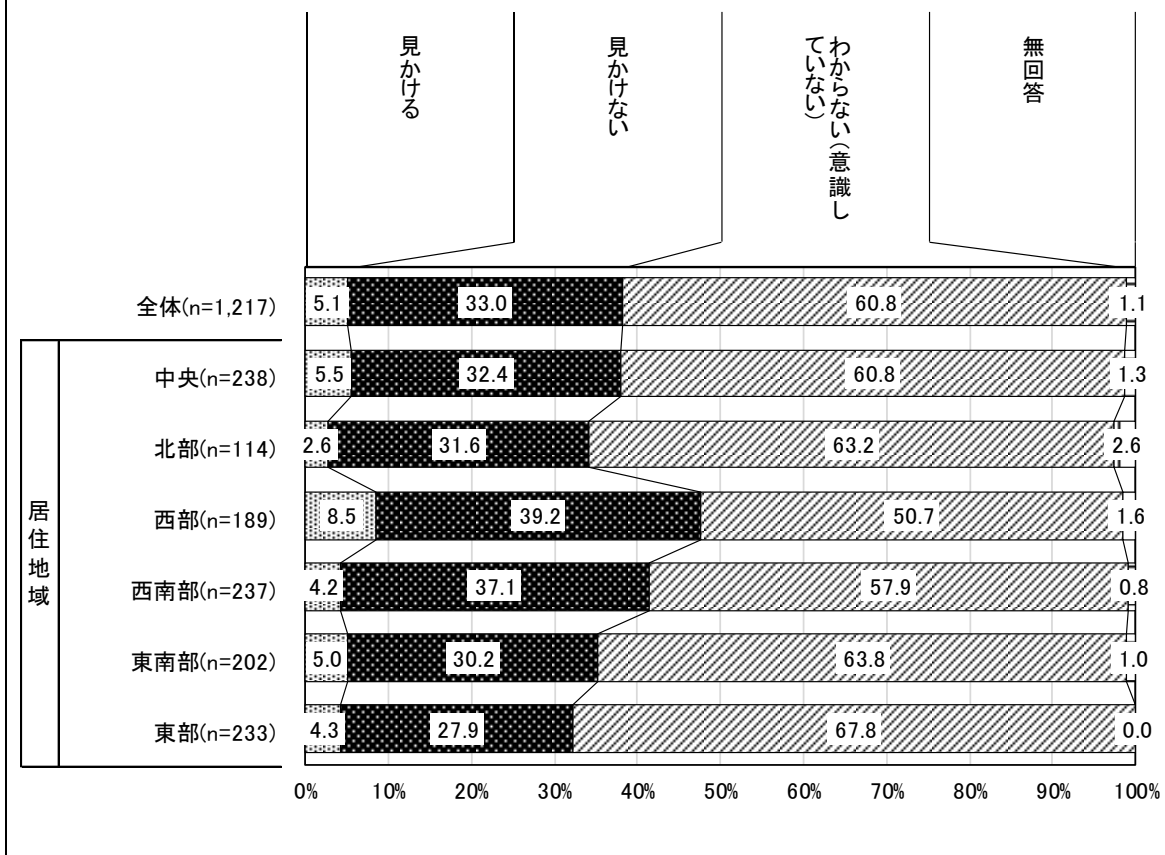
問 23 あなたの家の周りで、猫の耳上部を水平又はV字にカットしてある猫を見かけますか。
(ひとつだけに○)

図表2-5-1 耳カットしてある猫を見かけるか



耳カットしてある猫を見かけるかについて聞いたところ、「わからない（意識していない）」（60.8%）が約6割と最も高く、次いで、「見かけない」（33.0%）、「見かける」（5.1%）となっています。

図表2-5-2 耳カットしてある猫を見かけるか／居住地域



居住地域で見ると、「見かける」はすべての地域で1割未満となっていますが、西部（8.5%）は他の地域よりもわずかに高くなっています。

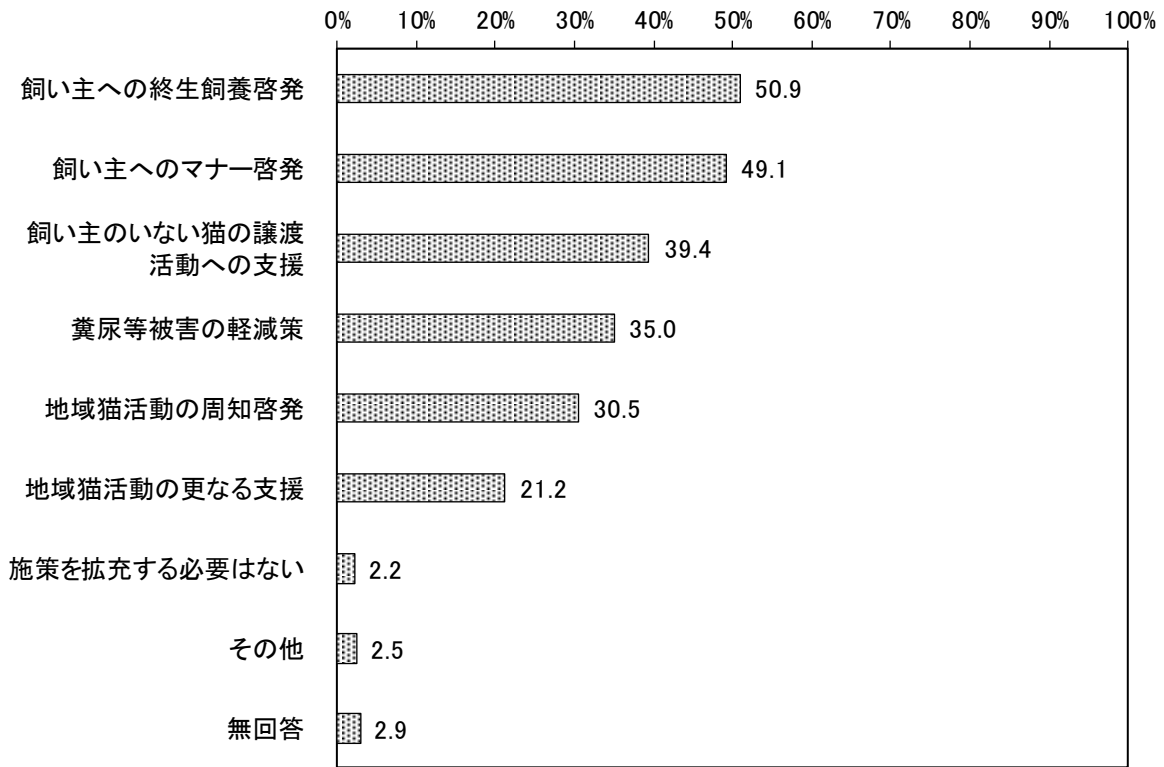
「わからない(意識していない)」は西部(50.7%)が最も低くなっており、最も高い東部(67.8%)とは17.1ポイントの差が開いています。

(6) 飼い主のいない猫対策に関し、重点的に取り組んだほうが良いと思う対策

■「飼い主への終生飼養啓発」が約5割と最も高い

問 24 飼い主のいない猫も愛護動物ですから、処分を目的として捕獲することはできません。市では、飼い主のいない猫のトラブルを軽減するため、地域猫活動の支援に取り組んでいます。今後、重点的に取り組んだ方が良いと思う施策を選択してください。(あてはまるもの3つまでに○)

図表2-6-1 飼い主のいない猫対策に関し、重点的に取り組んだほうが良いと思う対策



全体(n=1,217)

飼い主のいない猫対策に関し、重点的に取り組んだほうが良いと思う対策について聞いたところ、「飼い主への終生飼養啓発」(50.9%)が約5割と最も高く、次いで、「飼い主へのマナー啓発」(49.1%)が5割弱と高くなっています。

「施策を拡充する必要はない」(2.2%)はわずかにしか見られません。

図表2-6-2 飼い主のいない猫対策に関し、重点的に取り組んだほうが良いと思う対策
／居住地・猫被害有無

		n (回答者数)	飼い主への終生飼養啓発	飼い主へのマナー啓発	飼い主のいない猫の譲渡活動への支援	糞尿等被害の軽減策	地域猫活動の周知啓発	地域猫活動の更なる支援	施策を拡充する必要はない	その他	無回答
全体		1,217	50.9	49.1	39.4	35.0	30.5	21.2	2.2	2.5	2.9
居住地	中央	238	54.6	47.9	38.7	37.0	30.3	21.0	2.1	2.5	2.5
	北部	114	51.8	52.6	42.1	40.4	28.1	14.0	1.8	1.8	3.5
	西部	189	46.6	47.6	40.2	39.2	25.9	23.3	1.6	2.1	3.7
	西南部	237	51.1	49.8	38.8	32.5	31.2	21.1	2.5	1.7	3.8
	東南部	202	52.0	49.5	39.6	39.6	30.7	21.3	1.0	3.0	1.5
	東部	233	48.9	49.4	39.1	25.3	34.8	23.6	3.9	3.4	2.1
猫被害有無	被害ある	290	53.4	56.2	31.7	56.2	24.1	11.0	2.4	3.8	1.4
	被害ない	832	50.6	45.9	44.1	27.2	33.4	25.5	2.2	1.8	3.2

※本集計表は、各属性の最も回答割合が高い項目に網掛けをしています。

居住地で見ると、中央、西南部、東南部では「飼い主への終生飼養啓発」が最も高くなっています。一方で、東部、西部、北部では「飼い主へのマナー啓発」が最も高くなっており、地域によって最も高い項目が二分していますが、飼い主への啓発という点ではすべての地域で共通しています。

猫被害有無で見ると、被害あるでは「糞尿等被害の軽減策」(56.2%)が全体(35.0%)を21.2ポイント上回っています。一方で、被害ないでは「飼い主のいない猫の譲渡活動への支援」(44.1%)が全体(39.4%)を4.7ポイント上回っています。

(7) 飼い主のいない猫対策についての要望や意見

■「今後の取組に対する提言」、「地域猫活動に関する意見」、「飼育者に関する提言」が50件以上

問 25 飼い主のいない猫対策についての要望や、意見などがございましたらご記入ください。

図表2-7-1 飼い主のいない猫対策についての要望や意見の概要

自由意見の分類	件数
今後の取組に対する提言	54
地域猫活動に関する意見	52
飼育者に関する提言	50
糞尿に関する事(迷惑)	30
エサやりに関する事(迷惑)	29
相談窓口・情報提供について	25
騒音・その他被害(迷惑)	17
殺処分	17
去勢・不妊に関する支援	16
猫以外の動物について	15
猫の身元表示について	10
団体の活動への支援	9
支援・助成金について	7
その他	33

記入いただいた自由意見を14のカテゴリーに分類しました。

「今後の取組に対する提言」(54件)、「地域猫活動に関する意見」(52件)、「飼育者に関する提言」(50件)は50件を超えて多くなっています。

また、飼い主のいない猫に関する迷惑として、「糞尿に関する事(迷惑)」(30件)、「エサやりに関する事(迷惑)」(29件)が多くあがっています。

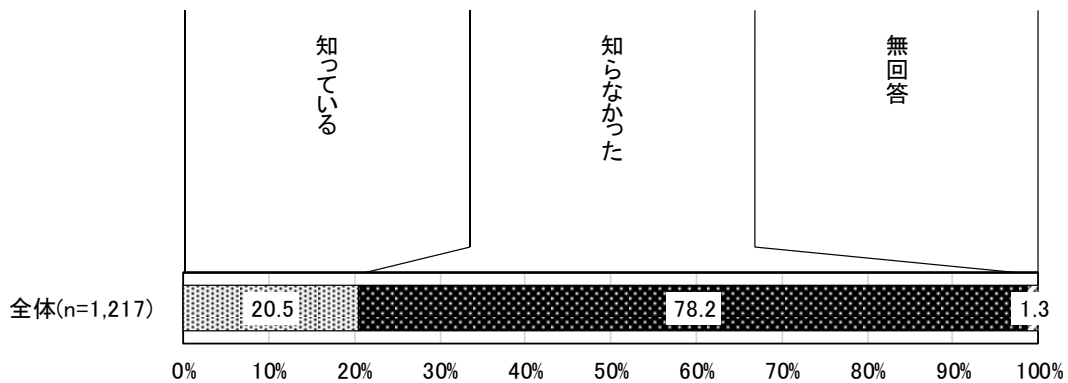
3. 動物愛護週間について

(1) 動物愛護週間の認知状況

■「知らなかった」が8割近くを占める

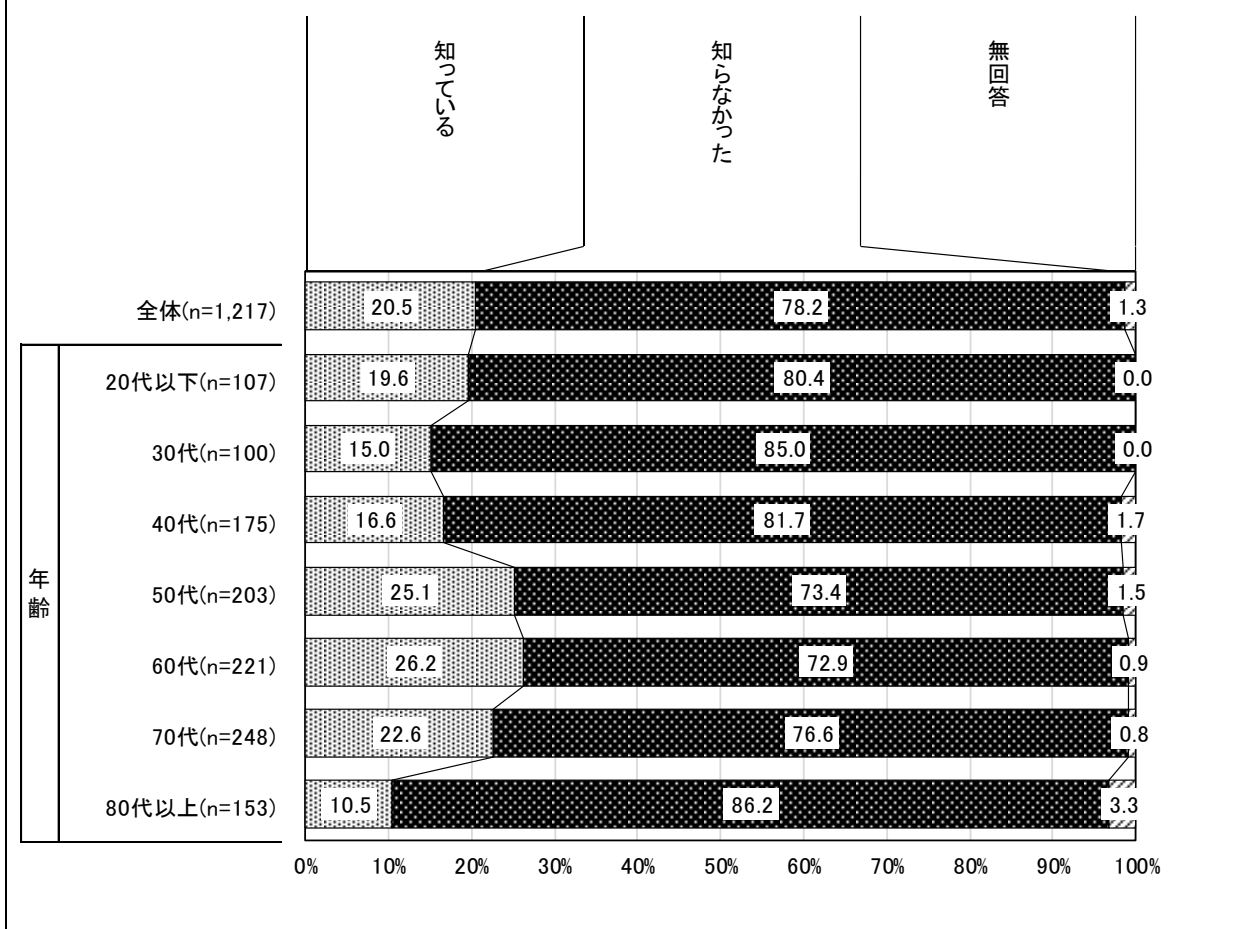
問 26 「動物の愛護及び管理に関する法律」で、9月20日から9月26日までを動物愛護週間と定めていることを知っていますか。(ひとつだけに○)

図表3-1-1 動物愛護週間の認知状況



動物愛護週間の認知状況について聞いたところ、「知らなかった」(78.2%)が8割近く、「知っている」(20.5%)が約2割となっています。

図表3-1-2 動物愛護週間の認知状況／年齢



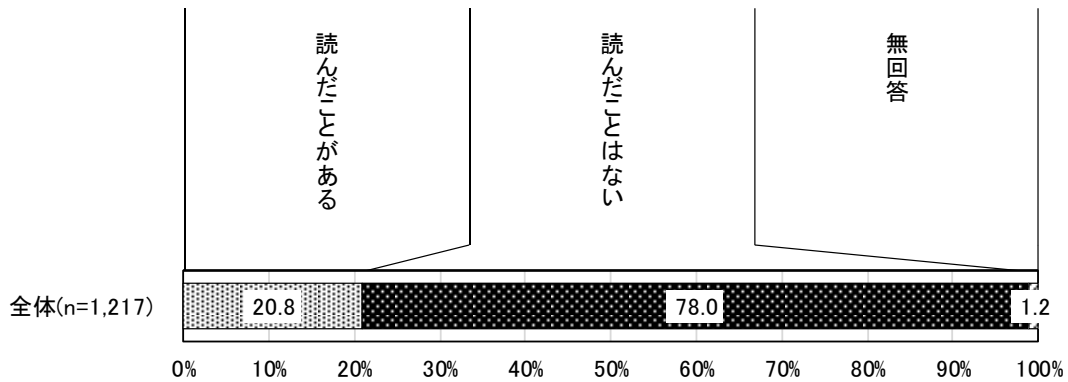
年齢で見ると、「知っている」は50代から70代にかけて2割台と高くなっていますが、80代以上（10.5%）で約1割と最も低くなっています。

(2) 広報はちおうじ「動物愛護週間特集号」の閲読の有無

■「読んだことはない」が8割近くを占める

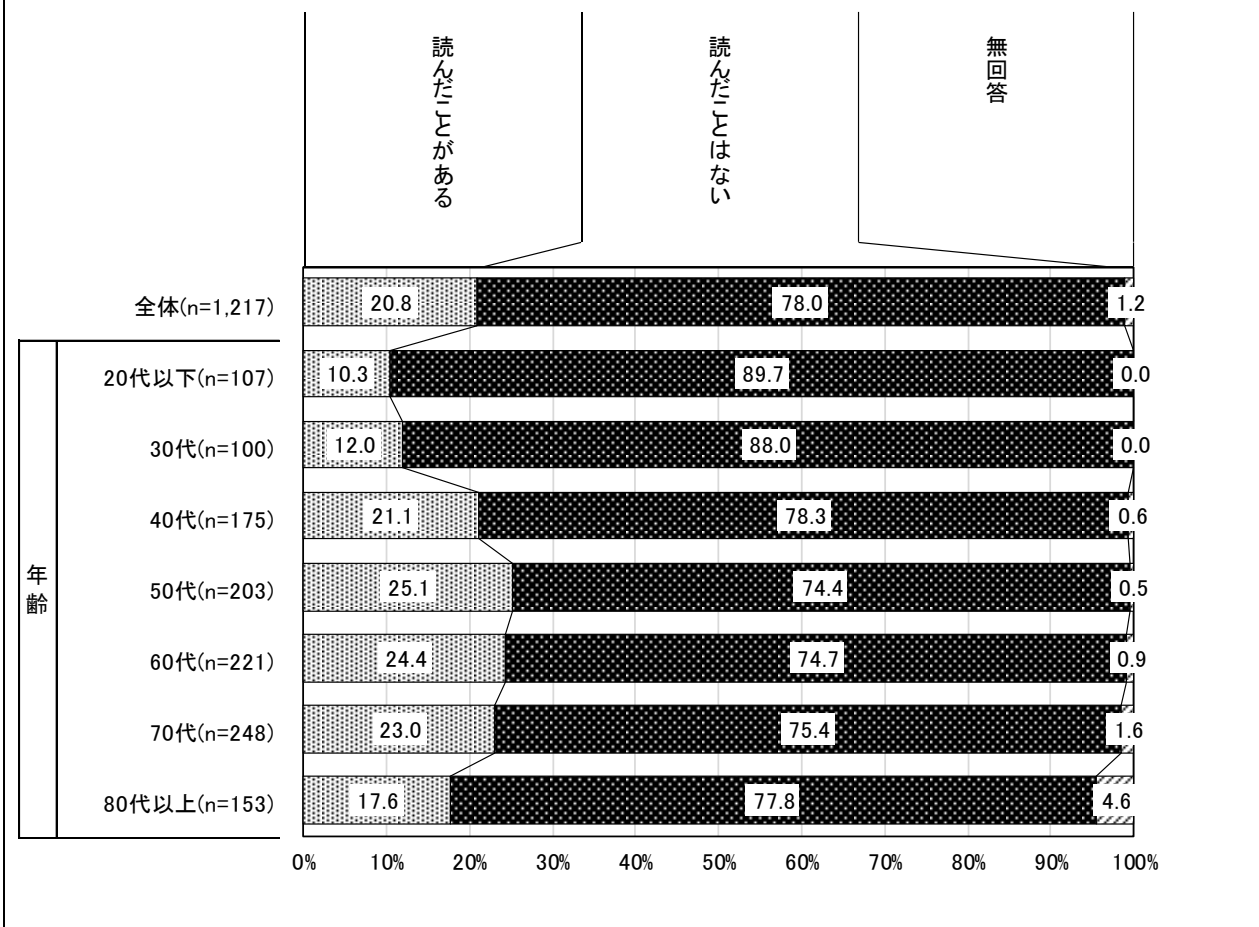
問 27 広報はちおうじ「動物愛護週間特集号」を読んだことはありますか。(ひとつだけに○)

図表3-2-1 広報はちおうじ「動物愛護週間特集号」の閲読の有無



広報はちおうじ「動物愛護週間特集号」の閲読の有無について聞いたところ、「読んだことはない」(78.0%)が8割近く、「読んだことがある」(20.8%)が約2割となっています。

図表3-2-2 広報はちおうじ「動物愛護週間特集号」の読者の有無／年齢



年齢で見ると、「読んだことはない」は20代以下から30代で8割台と高くなっています。50代（74.4%）が7割台半ばと最も低くなっていますが、60代以降増加し、80代以上（77.8%）では8割近くとなっています。

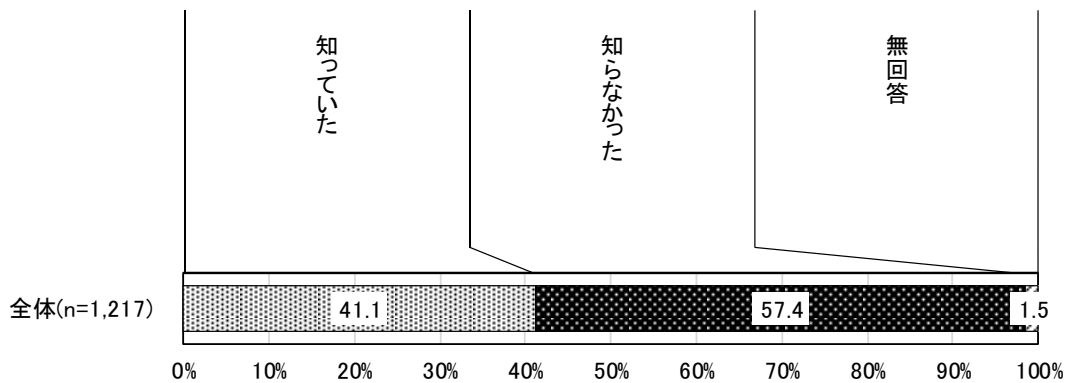
4. 同行避難について

(1) 同行避難の認知

■「知らなかった」が6割近くを占める

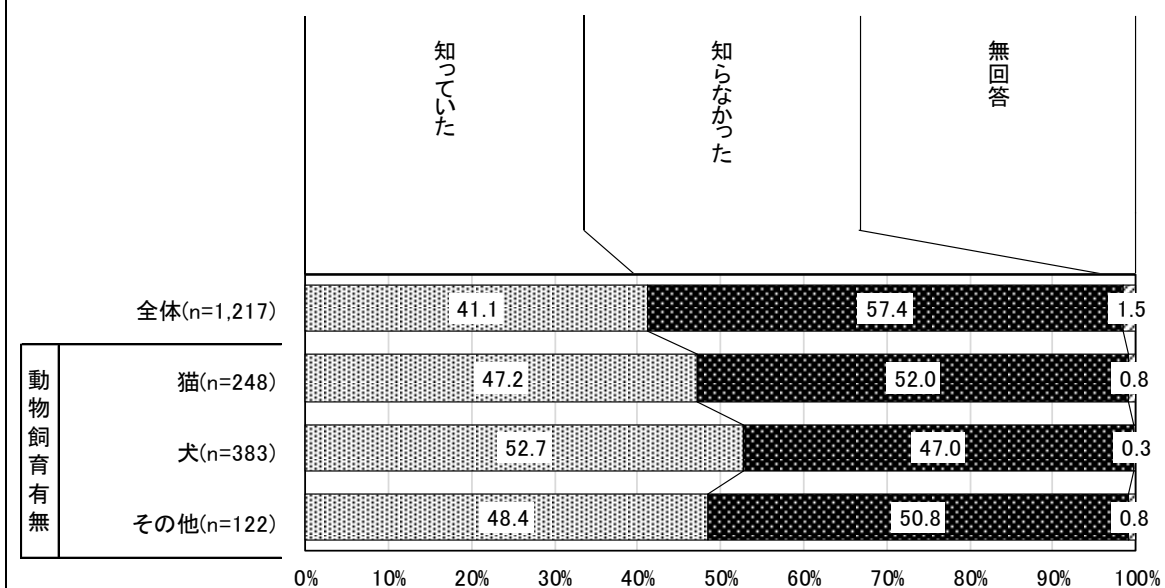
問 28 災害時にペットと一緒に避難することを同行避難と言います。同行避難の意味を知っていましたか。(ひとつだけに○)

図表4-1-1 同行避難の認知



同行避難の認知について聞いたところ、「知らなかった」(57.4%)が6割近く、「知っていた」(41.1%)が4割強となっています。

図表4-1-2 同行避難の認知／猫飼育有無



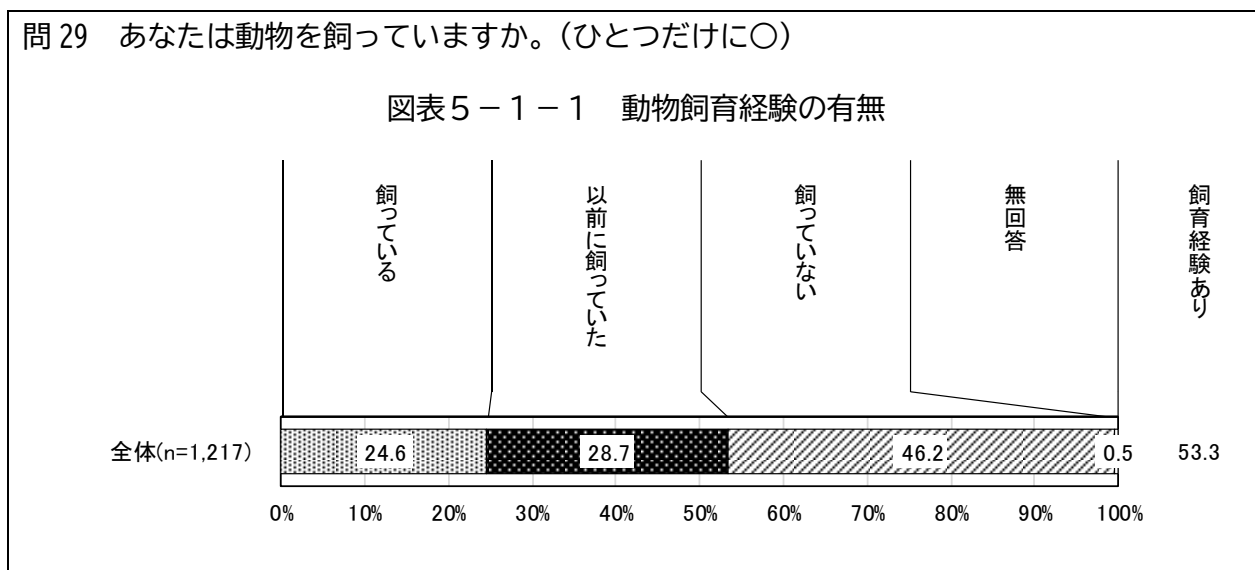
動物飼育有無で見ると、「知っていた」は犬（52.7%）で5割強と、猫（47.2%）を5.5ポイント上回っています。その他（48.4%）についても、猫をわずかに1.2ポイント上回っています。

5. 動物飼育について

(1) 動物飼育経験の有無

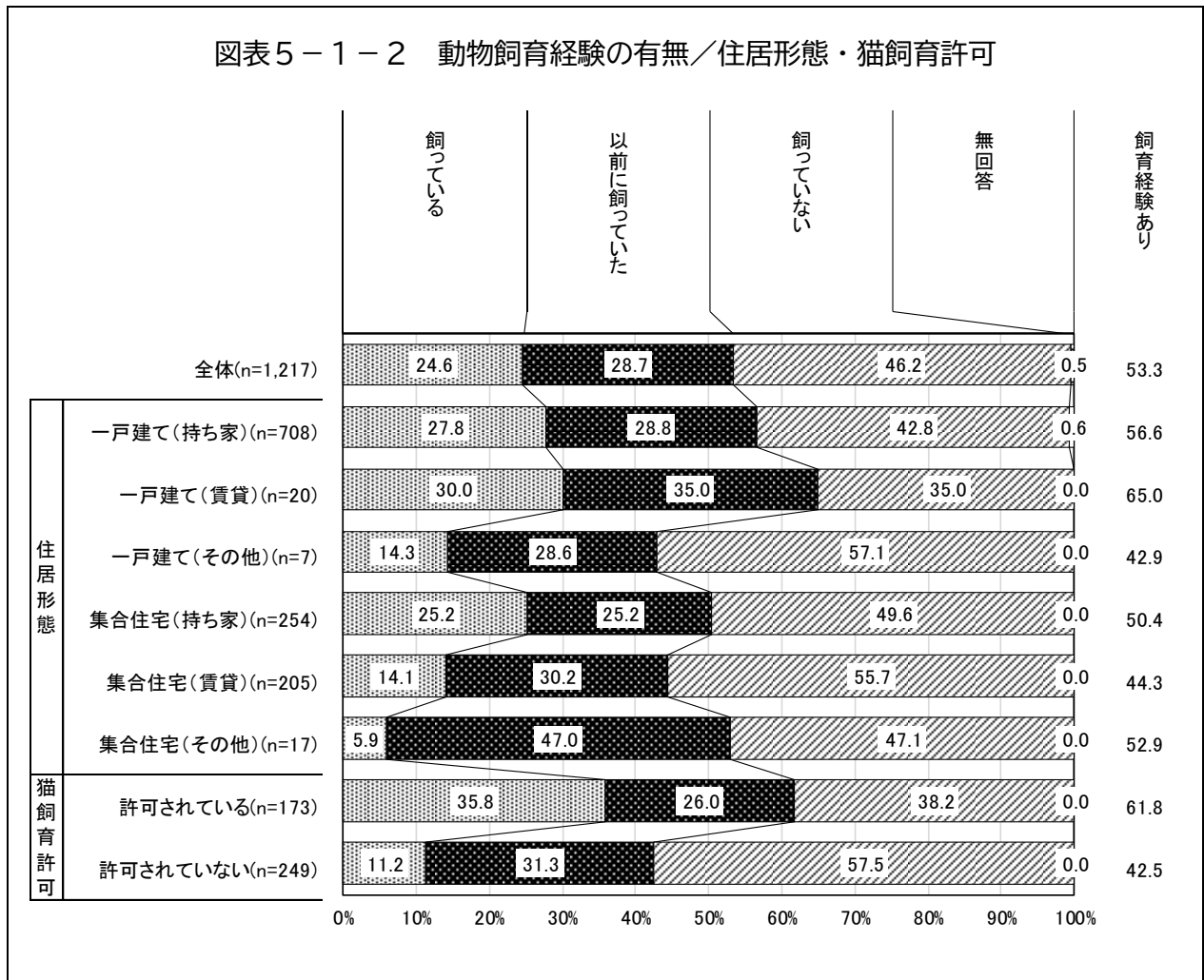
■「飼育経験あり」が5割強を占める

問 29 あなたは動物を飼っていますか。(ひとつだけに○)



動物飼育経験の有無について聞いたところ、「飼っている」(24.6%)と「以前に飼っていた」(28.7%)を合計した「飼育経験あり」(53.3%)が5割強を占め、次いで「飼っていない」(46.2%)となっています。

図表5-1-2 動物飼育経験の有無／住居形態・猫飼育許可



住居形態で見ると、「飼っていない」は一戸建て（賃貸）（35.0%）のみが3割台と低くなっています。一方で、集合住宅（賃貸）（55.7%）は5割台半ばと高くなっています。

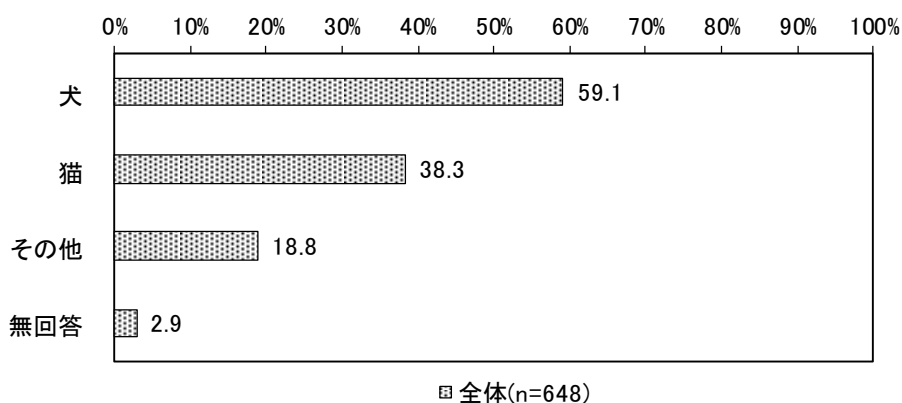
猫飼育許可で見ると、「飼っている」は許可されている（35.8%）で3割台半ばと高くなっていますが、許可されていない（11.2%）でも1割強見られます。「飼っている」と「以前に飼っていた」を合計した「飼育経験あり」は、許可されている（61.8%）が許可されていない（42.5%）を19.3ポイント上回っています。

(2) 飼育経験がある動物の詳細

■「犬」が6割弱と最も高い

問30 問29で「1. 飼っている」「2. 以前に飼っていた」を選んだ方に質問です。飼っている（もしくは飼っていた）動物とその頭数を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

図表5-2-1 飼育経験がある動物の詳細



	猫	犬
最大値	23.0 匹位	8.0 匹位
最小値	1.0 匹位	1.0 匹位
平均値	2.3 匹位	1.4 匹位
中央値	1.0 匹位	1.0 匹位

飼育経験がある動物の詳細について聞いたところ、「犬」(59.1%)が6割弱と最も高く、次いで、「猫」(38.3%)、「その他」(18.8%)となっています。

図表5-2-2 飼育経験がある動物の詳細／住居形態・猫飼育許可

		n (回答者数)	犬	猫	その他	無回答
全体		648	59.1	38.3	18.8	2.9
住居形態	一戸建て(持ち家)	401	63.3	35.7	15.7	2.5
	一戸建て(賃貸)	13	38.5	30.8	23.1	15.4
	一戸建て(その他)	3	33.3	33.3	0.0	66.7
	集合住宅(持ち家)	128	53.1	39.1	25.0	1.6
	集合住宅(賃貸)	91	53.8	47.3	25.3	2.2
	集合住宅(その他)	9	44.4	66.7	11.1	11.1
猫飼育許可	許可されている	107	57.0	41.1	20.6	1.9
	許可されていない	106	45.3	48.1	32.1	1.9

住居形態で見ると、一戸建て(持ち家)では「犬」が「猫」を27.6ポイント上回っているのに対し、集合住宅(持ち家)では14.0ポイント、集合住宅(賃貸)では6.5ポイントと差が小さくなっています。

猫飼育許可で見ると、「犬」は許可されていない(45.3%)が全体(59.1%)を13.8ポイント下回っています。一方で、「その他」は許可されていない(32.1%)が全体(18.8%)を13.3ポイント上回っています。

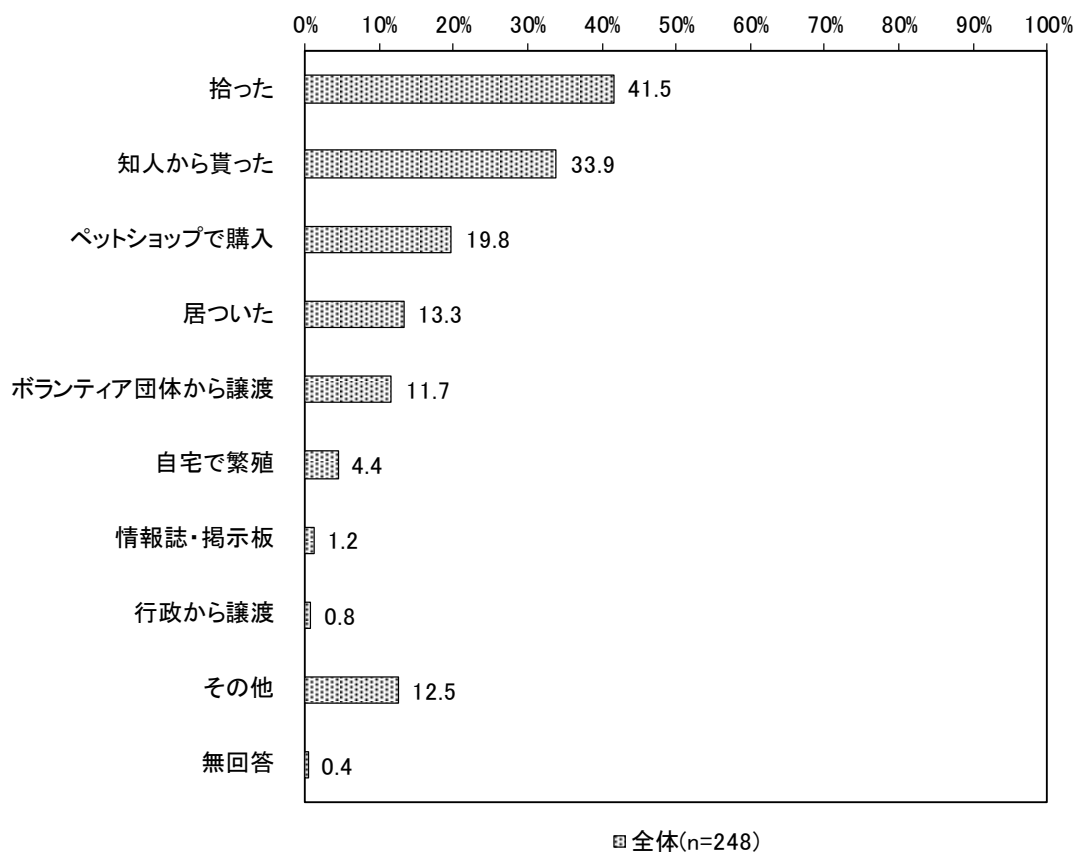
(3) 入手方法

■ 「拾った」が4割強と最も高い

以下は「現在までに猫を飼った経験がある方」のみがお答えください

問31 どのようにして、入手しましたか。(あてはまるものすべてに○)

図表5-3-1 入手方法



現在までに猫を飼った経験がある方に、入手方法について聞いたところ、「拾った」(41.5%)が4割強と最も高く、次いで、「知人から貰った」(33.9%)が3割強と高くなっています。

また、「ペットショップで購入」(19.8%)、「居ついた」(13.3%)、「ボランティア団体から譲渡」(11.7%)が1割台となっています。

図表5-3-2 入手方法／居住地域

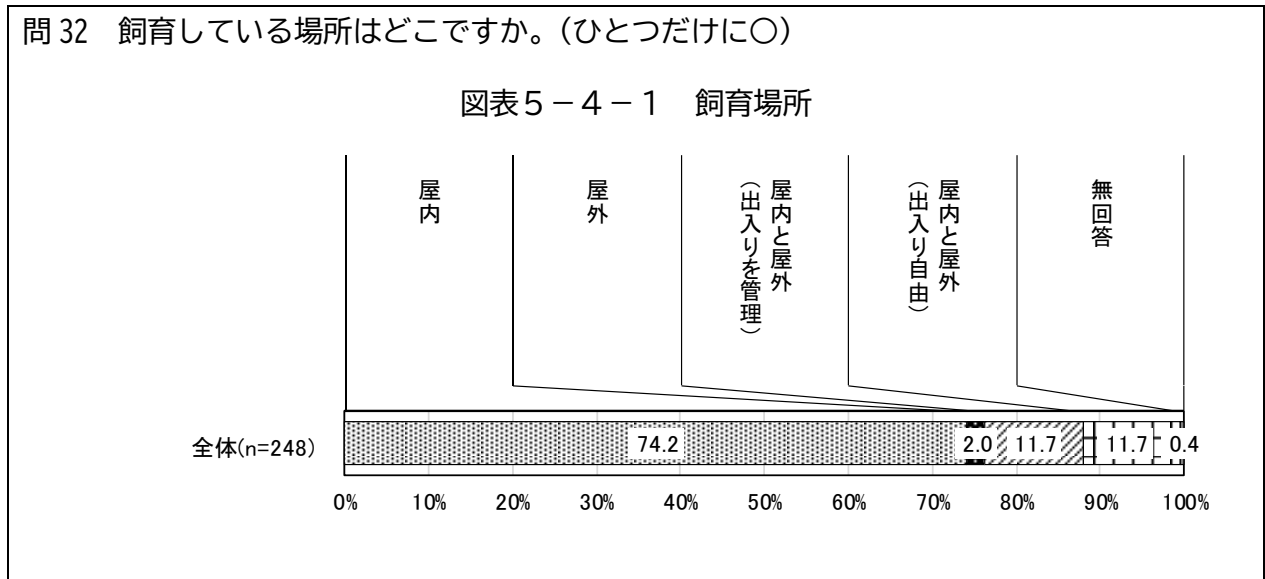
		n (回答者数)	拾った	知人から貰った	ペットショップで購入	居ついた	ボランティア団体から譲渡	自宅で繁殖	情報誌・掲示板	行政から譲渡	その他	無回答
全体		248	41.5	33.9	19.8	13.3	11.7	4.4	1.2	0.8	12.5	0.4
居住地域	中央	42	40.5	38.1	16.7	7.1	11.9	2.4	0.0	0.0	16.7	2.4
	北部	22	40.9	40.9	27.3	13.6	9.1	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0
	西部	42	47.6	28.6	21.4	19.0	11.9	2.4	2.4	0.0	19.0	0.0
	西南部	46	50.0	26.1	17.4	17.4	17.4	6.5	2.2	2.2	10.9	0.0
	東南部	46	37.0	30.4	17.4	15.2	17.4	10.9	0.0	0.0	6.5	0.0
	東部	50	34.0	42.0	22.0	8.0	2.0	0.0	2.0	2.0	14.0	0.0

居住地域で見ると、中央、西南部、西部、北部（同率）、東南部では「拾った」が最も高くなっています。一方で、東部、北部（同率）では「知人から貰った」が最も高くなっており、地域によって最も高い項目が二分しています。

(4) 飼育場所

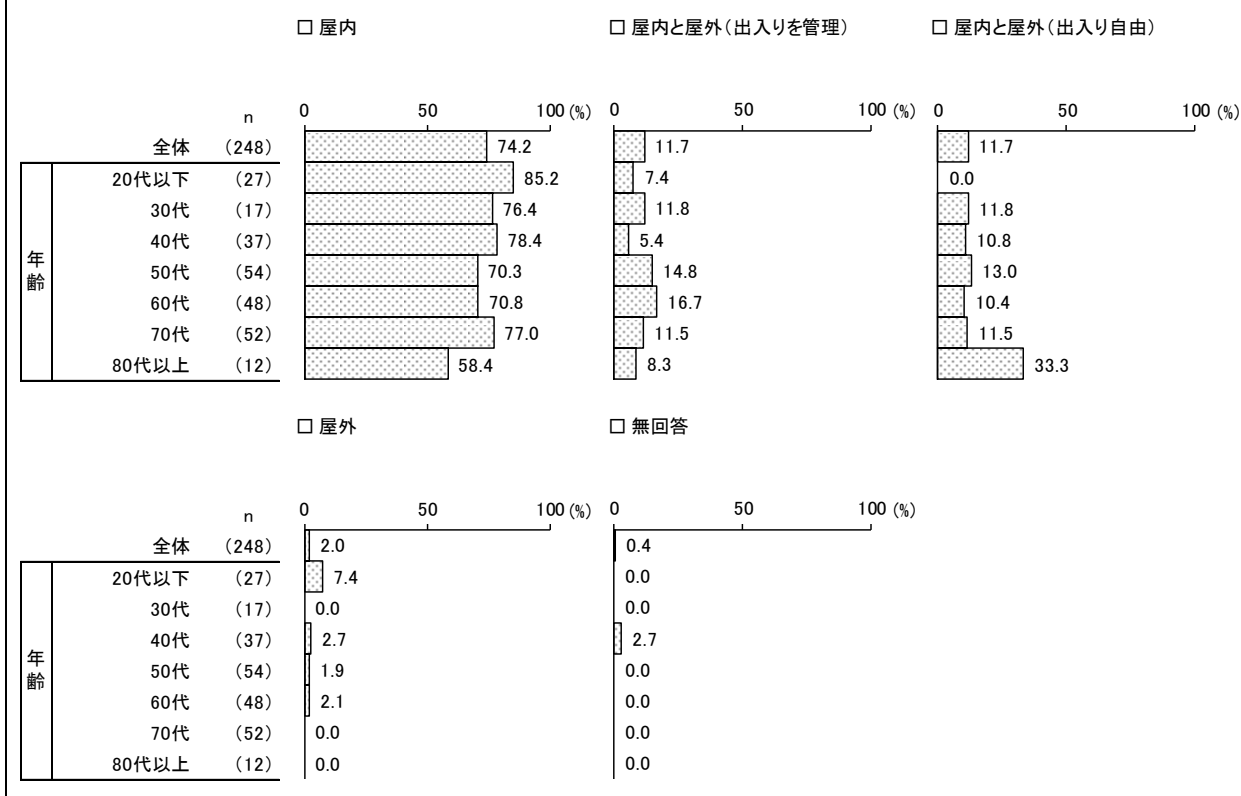
■「屋内」が7割台半ばと最も高い

問 32 飼育している場所はどこですか。(ひとつだけに○)



現在までに猫を飼った経験がある方に、飼育場所について聞いたところ、「屋内」(74.2%)が7割台半ばと特に高く、次いで、「屋内と屋外(出入りを管理)」(11.7%)、「屋内と屋外(出入り自由)」(11.7%)は共に1割強となっています。「屋外」(2.0%)はわずかに見られます。

図表5-4-2 飼育場所／年齢

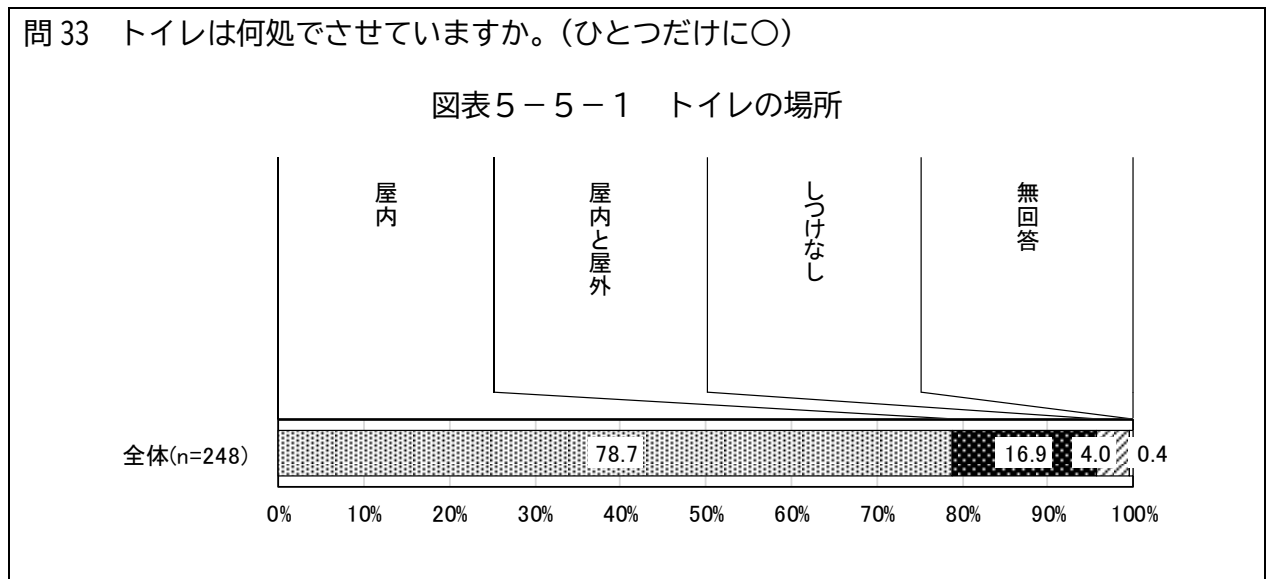


年齢で見ると、「屋内」は20代以下（85.2%）が8割台半ばと最も高く、80代以上（58.4%）が5割台と最も低くなっています。また、「屋内と屋外（出入り自由）」は80代以上（33.3%）が3割強と特に高くなっています。

(5) トイレの場所

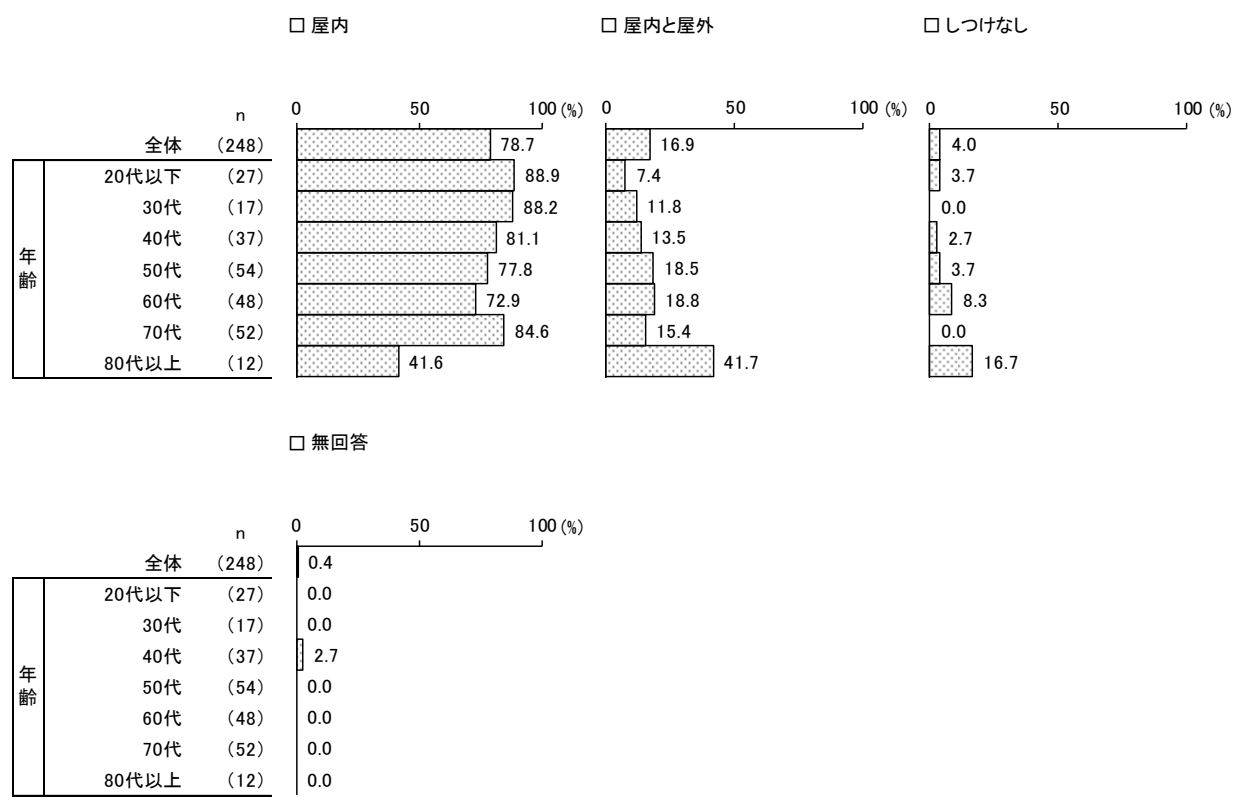
■「屋内」が8割近くを占める

問 33 トイレは何処でさせていますか。(ひとつだけに○)



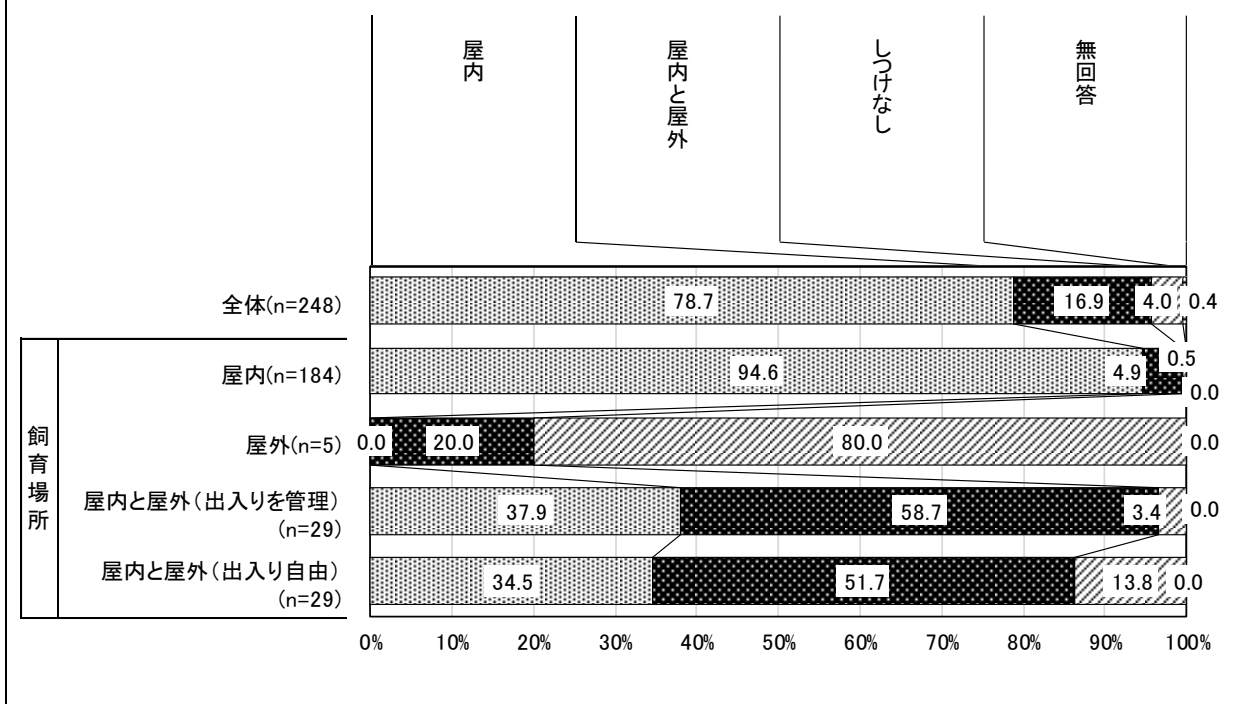
現在までに猫を飼った経験がある方に、トイレの場所について聞いたところ、「屋内」(78.7%)が8割近くと最も高く、次いで、「屋内と屋外」(16.9%)、「しつけなし」(4.0%)となっています。

図表5-5-2 トイレの場所／年齢



年齢で見ると、「屋内」は、80代以上（41.6%）のみが4割台と特に低くなっています。一方で、「屋内と屋外」は、80代以上（41.7%）が4割強で他の年代の2倍以上、「しつげなし」が2割近くで2倍以上となっています。

図表5-5-3 トイレの場所／飼育場所

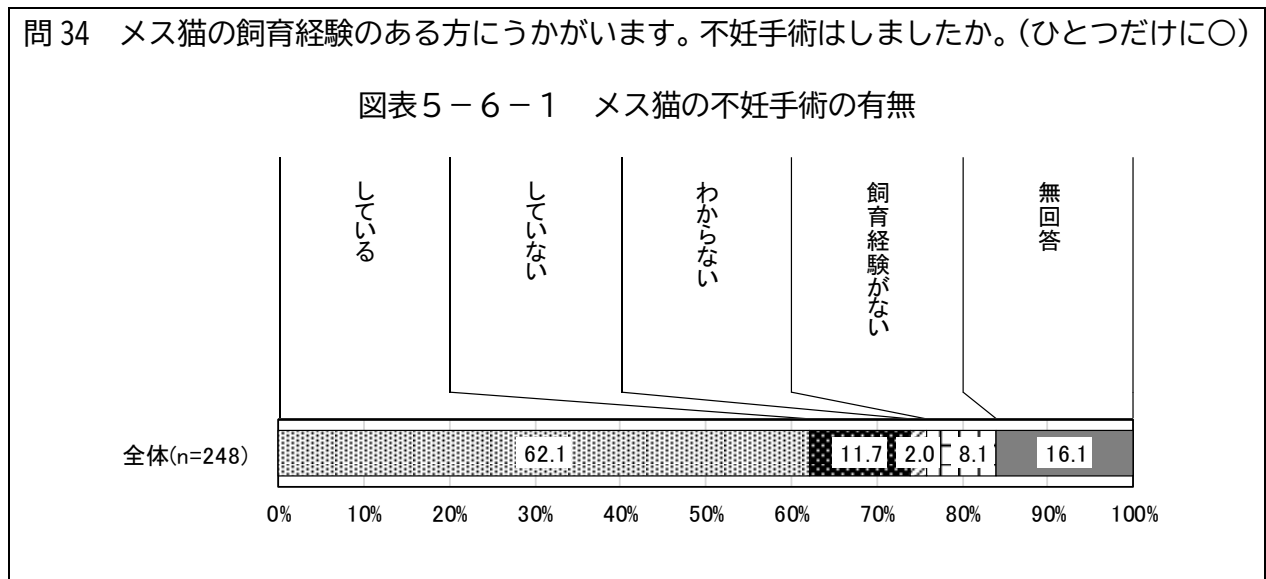


飼育場所で見ると、「しつけなし」は屋外（80.0%）が8割と特に高くなっています。

(6) メス猫の不妊手術の有無

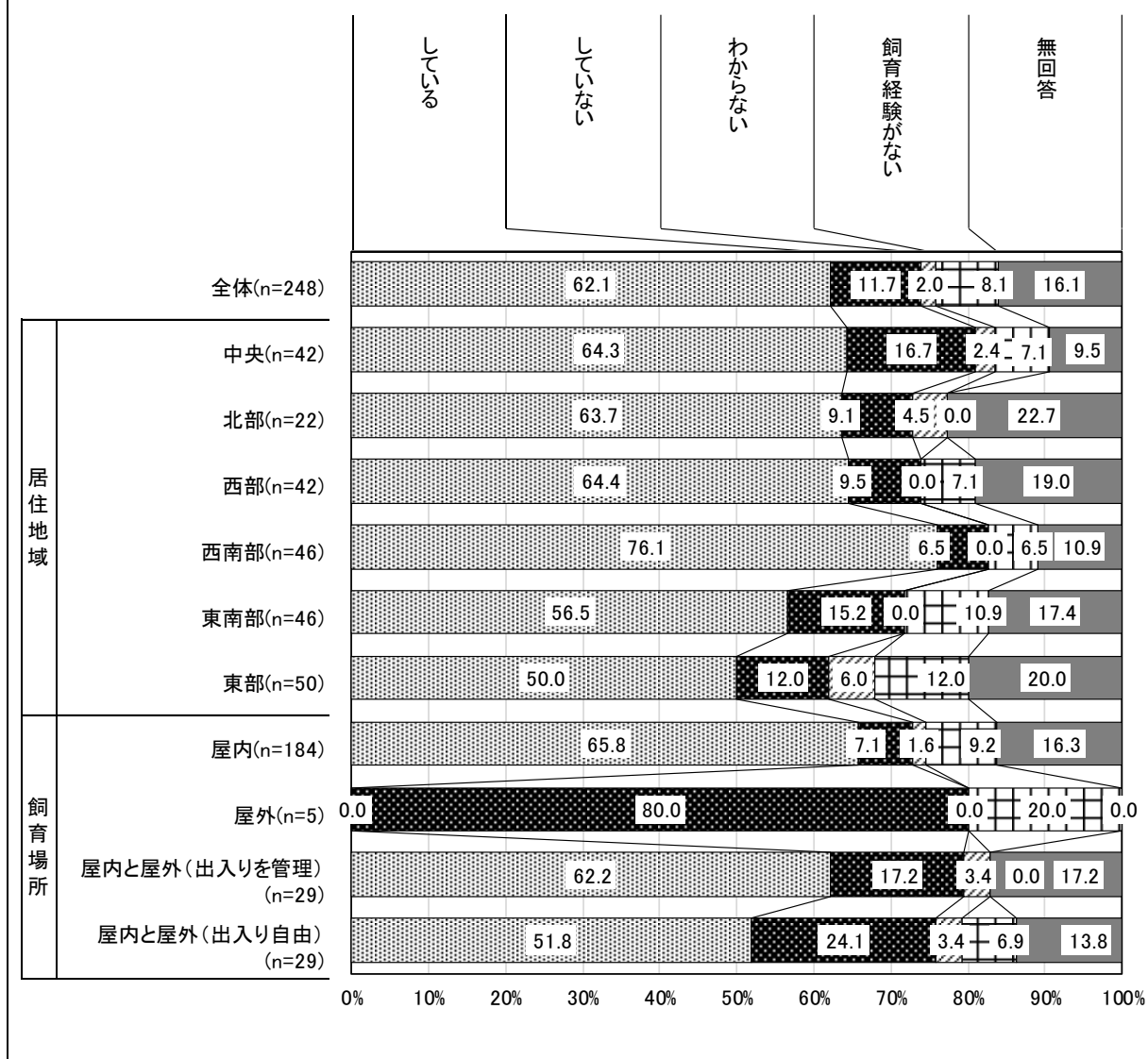
■「している」が6割強を占める

問 34 メス猫の飼育経験のある方にうかがいます。不妊手術はしましたか。(ひとつだけに○)



現在までに猫を飼った経験がある方に、メス猫の不妊手術の有無について聞いたところ、「している」(62.1%)が6割強と最も高く、次いで、「していない」(11.7%)が1割強と高くなっています。

図表5-6-2 メス猫の不妊手術の有無／居住地域・飼育場所



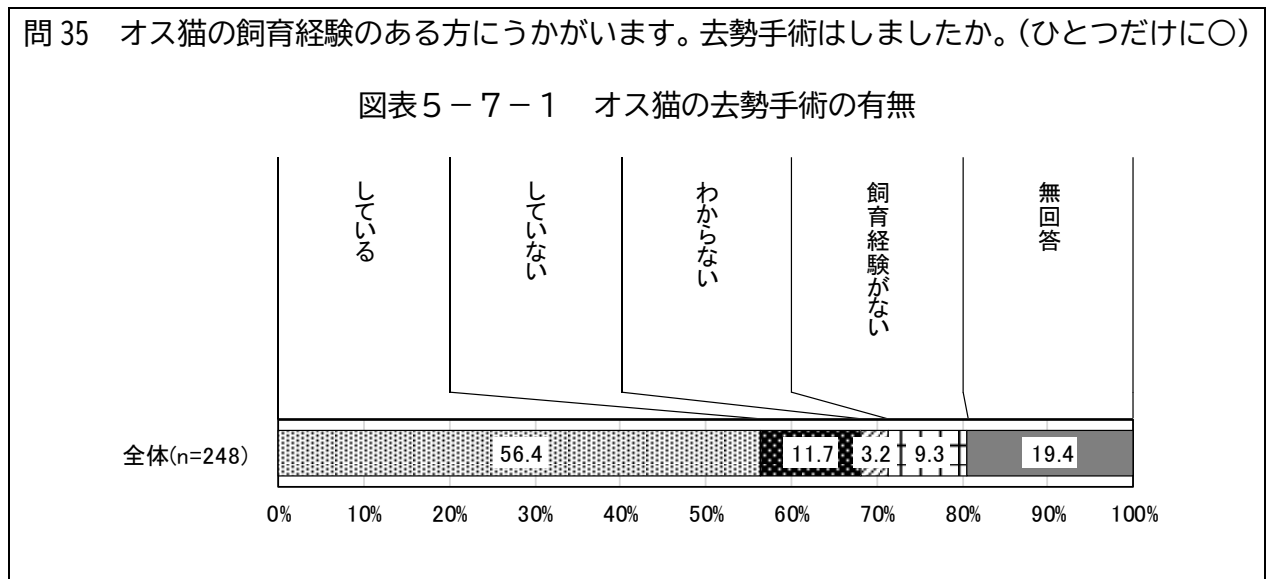
居住地域で見ると、「している」は西南部（76.1%）のみが7割台と高く、東部（50.0%）、東南部（56.5%）が5割台と低くなっています。

飼育場所で見ると、「している」は屋内（65.8%）が6割台半ばと最も高くなっています。

(7) オス猫の去勢手術の有無

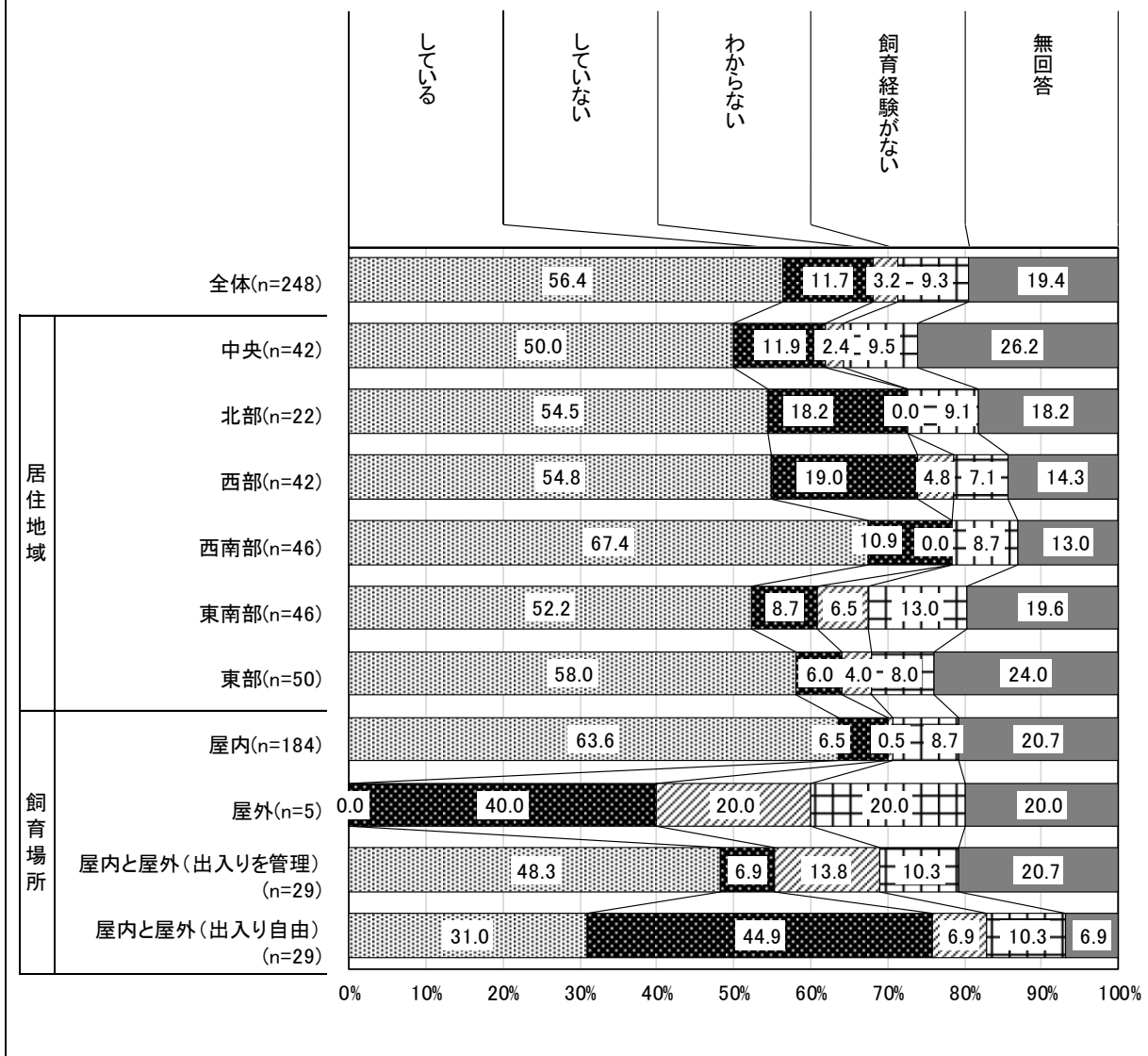
■「している」が6割近くを占める

問 35 オス猫の飼育経験のある方にうかがいます。去勢手術はしましたか。(ひとつだけに○)



現在までに猫を飼った経験がある方に、オス猫の去勢手術の有無について聞いたところ、「している」(56.4%)が6割近くと最も高く、次いで、「していない」(11.7%)が1割強と高くなっています。

図表5-7-2 オス猫の去勢手術の有無／居住地域・飼育場所



居住地域で見ると、「している」は西南部（67.4%）のみが6割台と高く、その他の地域は5割台となっています。

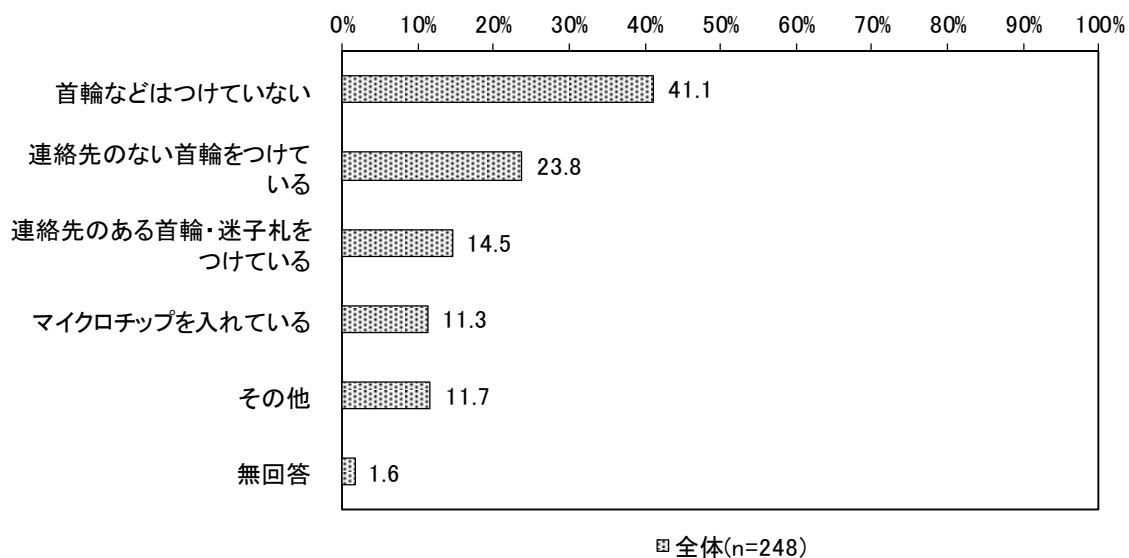
飼育場所で見ると、「している」は屋内（63.6%）が6割強と最も高くなっています。

(8) 身元表示方法

■「首輪などはつけていない」が4割強と最も高い

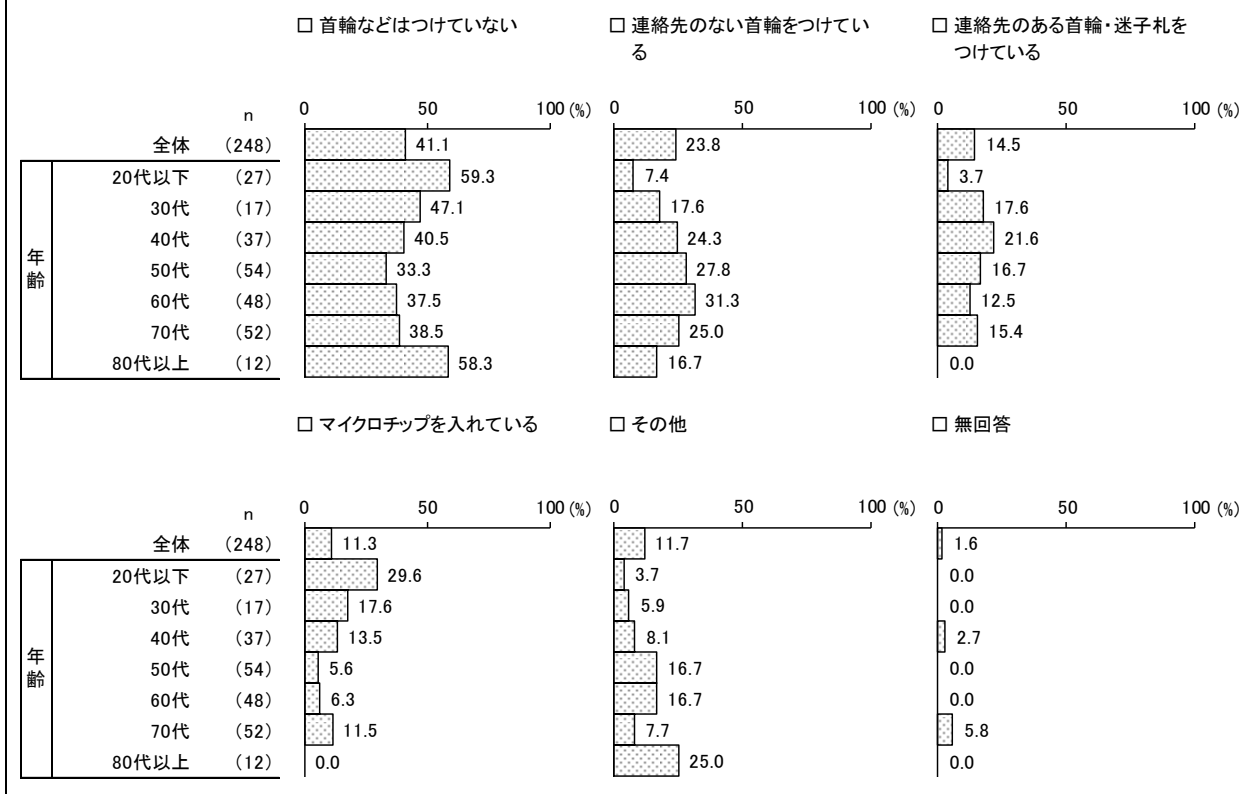
問36 猫の身元表示はどのようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表5-8-1 身元表示方法



現在までに猫を飼った経験がある方に、身元表示方法について聞いたところ、「首輪などはつけていない」(41.1%)が4割強と最も高く、次いで、「連絡先のない首輪をつけている」(23.8%)が2割強と高くなっています。また、「連絡先のある首輪・迷子札をつけている」(14.5%)、「マイクロチップを入れている」(11.3%)はそれぞれ1割台となっています。

図表5-8-2 身元表示方法/年齢



年齢で見ると、「首輪などはつけていない」は20代以下（59.3%）、80代以上（58.3%）で5割台と高くなっています。「マイクロチップを入れている」はおおむね年齢が低くなるにつれて増加する傾向にあります。

図表5-8-3 身元表示方法／居住地域・飼育場所

		n (回答者数)	首輪などはつけていない	連絡先のない首輪をつけている	連絡先のある首輪・迷子札をつけている	マイクロチップを入れている	その他	無回答
全体		248	41.1	23.8	14.5	11.3	11.7	1.6
居住地域	中央	42	40.5	26.2	14.3	9.5	11.9	4.8
	北部	22	27.3	27.3	18.2	27.3	9.1	0.0
	西部	42	35.7	31.0	14.3	11.9	7.1	4.8
	西南部	46	52.2	26.1	8.7	6.5	10.9	0.0
	東南部	46	34.8	19.6	17.4	8.7	19.6	0.0
	東部	50	48.0	16.0	16.0	12.0	10.0	0.0
飼育場所	屋内	184	39.7	21.7	14.1	15.2	13.6	1.1
	屋外	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	屋内と屋外(出入りを管理)	29	41.4	31.0	17.2	0.0	10.3	0.0
	屋内と屋外(出入り自由)	29	44.8	31.0	17.2	0.0	3.4	3.4

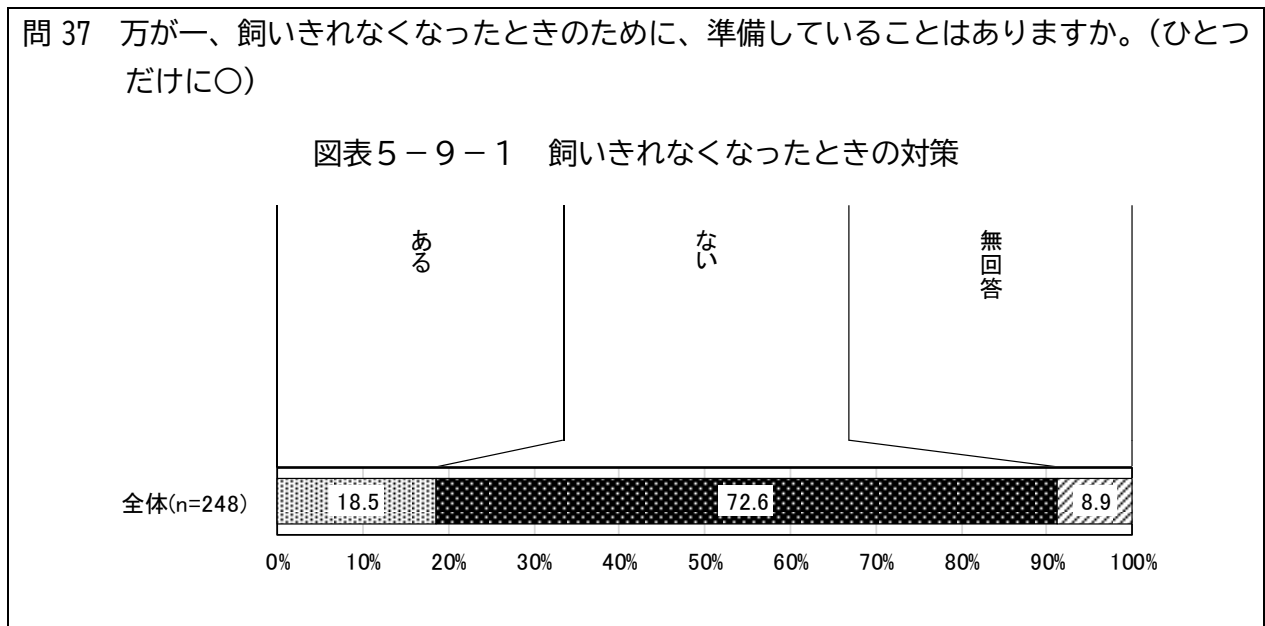
居住地域で見ると、「首輪などはつけていない」は西南部（52.2%）のみが5割台と高くなっています。一方で、北部（27.3%）のみが2割台と特に低くなっています。「マイクロチップを入れている」は北部（27.3%）のみが3割近くと高くなっています。

飼育場所で見ると、「首輪などはつけていない」は屋外（80.0%）が8割と特に高くなっています。

(9) 飼いきれなくなったときの対策

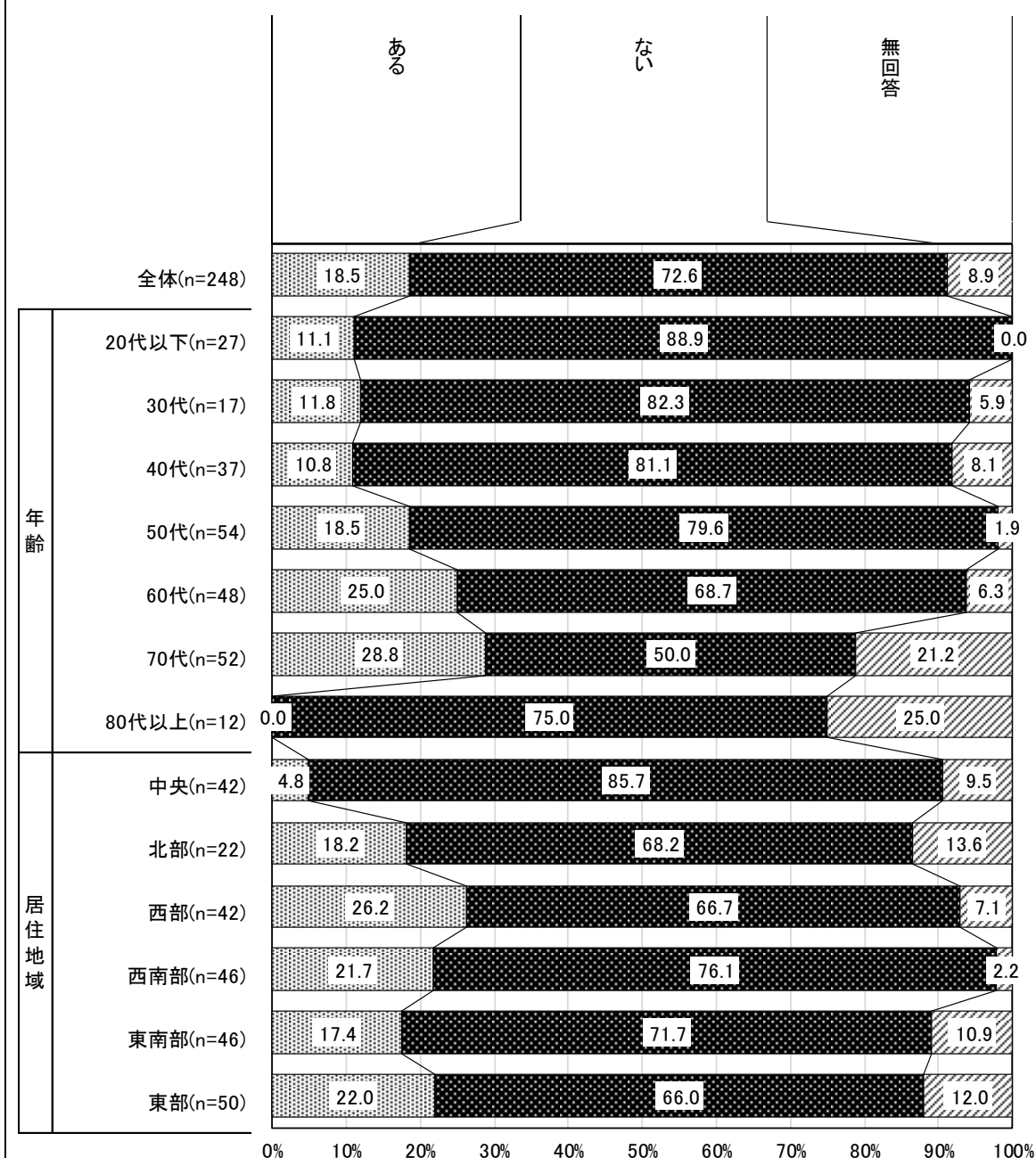
■ 「ない」が7割強を占める

問 37 万が一、飼いきれなくなったときのために、準備していることはありますか。(ひとつだけに○)



現在までに猫を飼った経験がある方に、飼いきれなくなったときの対策について聞いたところ、「ない」(72.6%)が7割強、「ある」(18.5%)が2割近くとなっています。

図表5-9-2 飼いきれなくなったときの対策／年齢・居住地域



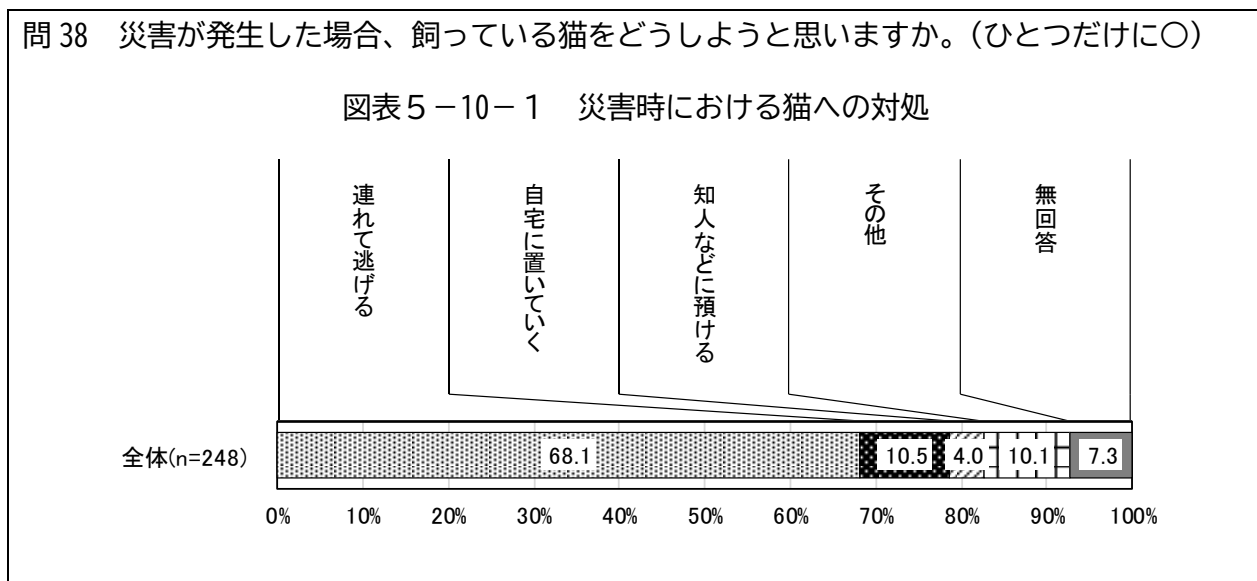
年齢で見ると、「ある」はおおむね年齢が高くなるにつれて増加し、70代（28.8%）で3割近くと最も高くなっていますが、80代以上（0.0%）では回答が見られません。

居住地域で見ると、「ない」は中央（85.7%）のみが8割台と特に高く、西南部（76.1%）、東南部（71.7%）が7割台と続いています。

(10) 災害時における猫への対処

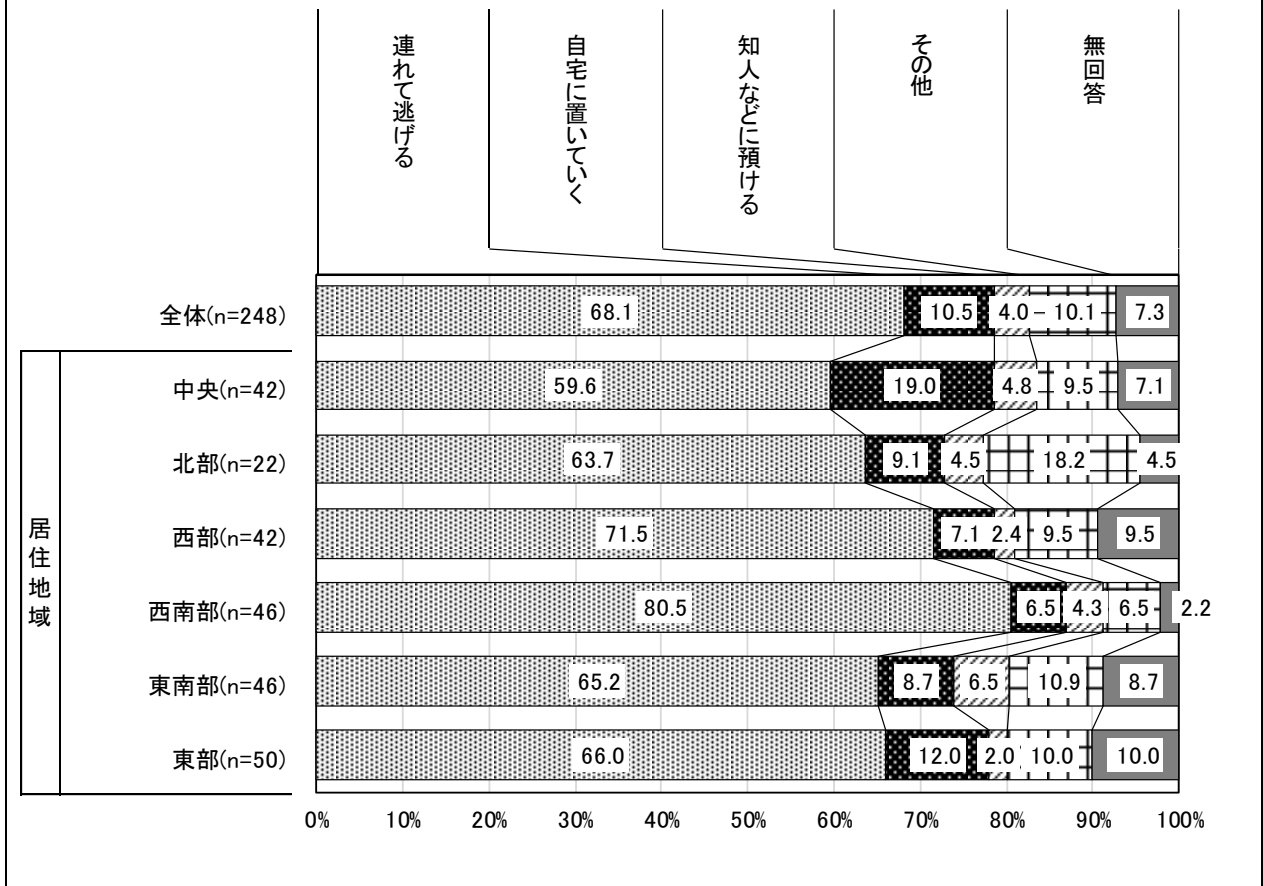
■「連れて逃げる」が7割近くを占める

問 38 災害が発生した場合、飼っている猫をどうしようと思いますか。(ひとつだけに○)



現在までに猫を飼った経験がある方に、災害時における猫への対処について聞いたところ、「連れて逃げる」(68.1%)が7割近くと最も高く、次いで、「自宅に置いていく」(10.5%)が約1割となっています。「知人などに預ける」(4.0%)はわずかに見られます。

図表5-10-2 災害時における猫への対処／居住地域



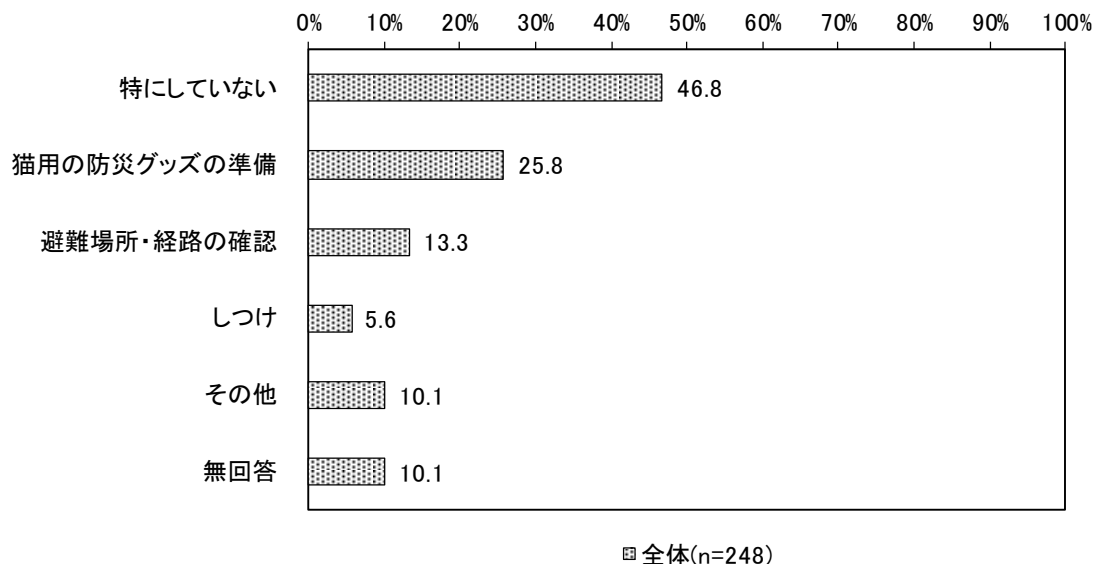
居住地域で見ると、「連れて逃げる」は西南部（80.5%）のみが8割台と特に高くなっています。一方で、「自宅に置いていく」は中央（19.0%）が最も高く2割弱、次いで東部（12.0%）も1割を超えています。

(11) 災害時に備えた準備内容

■「特にしていない」が5割近くと最も高い

問 39 災害時に備え、飼っている猫のためにどのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表5-11-1 災害時に備えた準備内容



現在までに猫を飼った経験がある方に、災害時に備えた準備内容について聞いたところ、「特にしていない」(46.8%)が5割近くと最も高く、次いで、「猫用の防災グッズの準備」(25.8%)が2割台半ば、「避難場所・経路の確認」(13.3%)が1割強となっています。

図表5-11-2 災害時に備えた準備内容／居住地域・災害時における猫への対処

		n (回答者数)	特に していない	猫 用の防 災グ ッズ の準 備	避 難場 所・ 経路 の確 認	し つ け	そ の 他	無 回 答
全体		248	46.8	25.8	13.3	5.6	10.1	10.1
居住地域	中央	42	52.4	16.7	14.3	4.8	9.5	11.9
	北部	22	40.9	22.7	9.1	4.5	18.2	4.5
	西部	42	50.0	23.8	16.7	4.8	14.3	9.5
	西南部	46	58.7	32.6	8.7	4.3	2.2	2.2
	東南部	46	43.5	28.3	13.0	8.7	10.9	10.9
	東部	50	34.0	28.0	16.0	6.0	10.0	18.0
災害時における 猫への対処	連れて逃げる	169	47.3	32.0	16.6	8.3	8.3	3.0
	自宅に置いていく	26	69.2	19.2	3.8	0.0	7.7	0.0
	知人などに預ける	10	60.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	その他	25	44.0	12.0	4.0	0.0	36.0	12.0

居住地域で見ると、「特にしていない」は最も高い西南部（58.7%）と最も低い東部（34.0%）で24.7ポイントの差が開いています。

災害時における猫への対処で見ると、「特にしていない」は自宅に置いていく（69.2%）が全体（46.8%）を22.4ポイント上回っています。

Ⅲ 調査票

飼い主のいない猫対策等に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力をお願い～

市民のみなさまには、日頃より市の動物愛護行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、人と猫との調和のとれたまちを目指して、飼い主のいない猫対策事業を実施しています。猫による被害の軽減と猫の繁殖を防ぐとともに、動物の愛護と適正な管理を啓発するため、平成23年度より「飼い主のいない猫（野良猫）の不妊去勢手術助成金」の制度を開始し、平成28年3月には地域猫活動により取り組みやすくなるように「地域猫活動ガイドライン」を作成いたしました。

この度、これまでの飼い主のいない猫対策事業の効果や課題などを把握し、今後の取組の改善等に活用するため、本調査を行うことといたしました。

今回の調査は、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為の抽出により、配布させていただいています。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用されたりすることは一切ありません。この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

【ご記入にあたってのお願い】

- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆をご使用ください。
- 設問には、令和3年10月1日現在の内容でご回答ください。
- 回答で、「その他」に○をつけられた場合は、（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入されましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和3年11月5日（金）までにご投函ください。

- このアンケートに関する問合せは、下記へお願いします。

八王子市保健所生活衛生課動物衛生担当

電話：042-645-5113

FAX：042-644-9100

E-mail：b460200@city.hachioji.tokyo.jp

ご記入者について

問1 あなたの年齢をお知らせください。(ひとつだけに○)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上

問2 あなたのお住まいはどちらですか。(ひとつだけに○)

- あ 1. 暁町 2. 旭町 3. 東町 4. 石川町 5. 泉町
6. 犬目町 7. 上野町 8. 打越町 9. 宇津木町 10. 宇津貫町
11. 梅坪町 12. 裏高尾町 13. 追分町 14. 大塚 15. 大船町
16. 大谷町 17. 大横町 18. 大和田町 19. 小門町 20. 尾崎町
21. 小津町
- か 22. 鹿島 23. 加住町 24. 片倉町 25. 叶谷町 26. 上巻分方町
27. 上恩方町 28. 上川町 29. 上柚木 30. 川町 31. 川口町
32. 北野町 33. 北野台 34. 絹ヶ丘 35. 清川町 36. 櫛田町
37. 久保山町 38. 越野 39. 小比企町 40. 小宮町 41. 子安町
- さ 42. 左入町 43. 散田町 44. 下恩方町 45. 下柚木 46. 城山手
47. 新町 48. 諏訪町 49. 千人町
- た 50. 台町 51. 平町 52. 大楽寺町 53. 高尾町 54. 高倉町
55. 高月町 56. 滝山町 57. 館町 58. 田町 59. 丹木町
60. 寺町 61. 寺田町 62. 天神町 63. 廿里町 64. 戸吹町
- な 65. 中町 66. 長沼町 67. 中野町 68. 中野上町 69. 中野山王
70. 長房町 71. 中山 72. 七国 73. 並木町 74. 櫛原町
75. 南陽台 76. 西浅川町 77. 西片倉 78. 西寺方町 79. 式分方町
- は 80. 狭間町 81. 八幡町 82. 初沢町 83. 東浅川町 84. 東中野
85. 兵衛 86. 日吉町 87. 平岡町 88. 富士見町 89. 別所
90. 堀之内 91. 本町 92. 本郷町
- ま 93. 松が谷 94. 松木 95. 丸山町 96. 三崎町 97. みつい台
98. 緑町 99. 南町 100. 南浅川町 101. 南大沢 102. 南新町
103. みなみ野 104. 宮下町 105. 美山町 106. 明神町 107. めじろ台
108. 元八王子町 109. 元本郷町 110. 元横山町
- や 111. 八木町 112. 谷野町 113. 山田町 114. 鑓水 115. 八日町
116. 横川町 117. 横山町 118. 四谷町 119. 万町

問2-2 あなたのお住まいは、何丁目ですか。（ひとつだけに○）

1. 一丁目
2. 二丁目
3. 三丁目
4. 四丁目
5. 五丁目
6. 六丁目
7. 七丁目
8. 丁目の区別がない町にお住まいの方

問3 世帯構成をお知らせください。（ひとつだけに○）

1. 単独世帯（一人暮らし）
2. 夫婦のみ世帯
3. 二世帯世帯
4. 三世帯世帯
5. その他（ ）

問4 現住所にお住まいの期間をお知らせください。（ひとつだけに○）

1. 1年未満
2. 1～4年
3. 5～9年
4. 10年以上

問5 お住まいの形態をお知らせください。（ひとつだけに○）

- | | | | |
|-----------------------------|-------------|---|-----|
| 1. 一戸建て（持ち家） | 2. 一戸建て（賃貸） | } | 問7△ |
| 3. 一戸建て（その他一社宅、寮、住み込み等） | | | |
| 4. 集合住宅（持ち家）【 階】 | | } | 問6△ |
| 5. 集合住宅（賃貸）【 階】 | | | |
| 6. 集合住宅（その他一社宅、寮、住み込み等）【 階】 | | | |

問6 問5で「4. 集合住宅（持ち家）」「5. 集合住宅（賃貸）」または「6. 集合住宅（その他一社宅、寮、住み込み等）」を選んだ方に質問です。お住まいのマンション・アパート・団地などでは、猫の飼育は許可されていますか。

（ひとつだけに○）

1. 許可されている
2. 許可されていない
3. わからない

問7 猫は好きですか。（ひとつだけに○）

1. 好き
2. 嫌い
3. どちらでもない
4. わからない

飼い主のいない猫について

問8 現在、あなたの家の周りで、飼い主のいない猫を見かけますか。

(ひとつだけに○)

1. よく見かける【__匹位】
2. 時々見かける【__匹位】
3. ほとんど見かけない
4. わからない(意識していない)

問9 飼い主のいない猫の数についてどう感じますか。

(ひとつだけに○)

1. 減っている
2. 変わらない
3. 増えている
4. わからない(意識していない)

問10 飼い主のいない猫を見かけたとき、どのように思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 心が和む
2. かわいいと思う
3. 触りたくなる
4. かわいそうだと思う
5. 問題だと思う
6. 近づきたくない
7. 迷惑だと思う
8. 何も思わない
9. その他()

問11 あなたの家の周りで、飼い主のいない猫が、子猫を産んだことがありますか。

(ひとつだけに○)

1. ある
2. ない
3. わからない

問12 近年(ここ5年以内で) 飼い主のいない猫で被害を受けたことはありますか。

(ひとつだけに○)

1. ある } 問13△
2. ない } 問14△
3. わからない }

問13 問12で「1. ある」を選んだ方に質問です。その内容を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 糞
2. 尿
3. 鳴き声
4. 悪臭
5. ゴミ荒らし
6. 汚す
7. 敷地への侵入
8. その他 ()

問14 飼い主のいない猫の被害を防止するための対策を講じていますか。

(ひとつだけに○)

- | | | |
|----------------|---|------|
| 1. 対策を講じている | } | 問15△ |
| 2. 対策は講じていない | | 問17△ |
| 3. 猫の被害は気にならない | } | |

問15 問14で「1. 対策を講じている」を選んだ方に質問です。どのような対策を

講じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 猫が入り込む隙間を金網やネットで塞ぐ
2. 猫が嫌う植物を配置する
3. 猫侵入防止具を設置する
4. 食酢、木酢液を薄めて散布又はそれらを含ませたスポンジをトレーなどに入れて設置する
5. コーヒーかす、米のとぎ汁、柑橘類の絞汁等をまく
6. 市販の忌避剤を利用する
7. 超音波発生装置を置く
8. その他 ()

問16 問14で「1. 対策を講じている」を選んだ方に質問です。対策により被害は

軽減されましたか。(ひとつだけに○)

1. 被害がなくなった
2. 軽減された
3. 変わらない
4. 被害がひどくなった
5. その他 ()

問25 飼い主のいない猫対策についての要望や、意見などがございましたらご記入ください。

動物愛護週間について

問26 「動物の愛護及び管理に関する法律」で、9月20日から9月26日までを動物愛護週間と定めていることを知っていますか。（ひとつだけに○）

1. 知っている 2. 知らなかった

問27 広報はちおうじ「動物愛護週間特集号」を読んだことはありますか。（ひとつだけに○）

1. 読んだことがある 2. 読んだことはない

同行避難について

問28 災害時にペットと一緒に避難することを同行避難と言います。同行避難の意味を知っていましたか。（ひとつだけに○）

※同行避難…被害の発生時に、飼い主がペットを同行し、安全な場所にペットと一緒に避難行動することです。避難所等において飼い主がペットを同室で飼養管理することを意味するものではありません。

1. 知っていた 2. 知らなかった

動物飼育について

問29 あなたは動物を飼っていますか。（ひとつだけに○）

1. 飼っている
2. 以前に飼っていた
3. 飼っていない

問 30 へ

質問は以上です。ありがとうございました。

問30 問29で「1. 飼っている」「2. 以前に飼っていた」を選んだ方に質問です。
飼っている（もしくは飼っていた）動物とその頭数を教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 猫【 〃 頭】 問31△

2. 犬【 〃 頭】

3. その他 _____ 【 〃 頭】

_____ 【 〃 頭】

_____ 【 〃 頭】

質問は以上です。ありがとうございました。

☆問30で「1. 猫」を選んだ方は以下にお進みください。

それ以外の方は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

以下は「現在までに猫を飼った経験がある方」のみがお答えください

問31 どのようにして、入手しましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 知人から貰った | 2. 拾った |
| 3. 行政から譲渡 | 4. ボランティア団体から譲渡 |
| 5. 居ついた | 6. ペットショップで購入 |
| 7. 自宅で繁殖 | 8. 情報誌・掲示板 |
| 9. その他（ | ） |

問32 飼育している場所はどこですか。（ひとつだけに○）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 屋内 | 2. 屋外 |
| 3. 屋内と屋外（出入りを管理） | 4. 屋内と屋外（出入り自由） |

問33 トイレは何処でさせていますか。（ひとつだけに○）

- | | | |
|-------|----------|----------|
| 1. 屋内 | 2. 屋内と屋外 | 3. しつけなし |
|-------|----------|----------|

問34 メス猫の飼育経験のある方にうかがいます。不妊手術はしましたか。

（ひとつだけに○）

- | | | | |
|---------|----------|----------|------------|
| 1. している | 2. していない | 3. わからない | 4. 飼育経験がない |
|---------|----------|----------|------------|

問35 オス猫の飼育経験のある方にうかがいます。去勢手術はしましたか。

(ひとつだけに○)

1. している 2. していない 3. わからない 4. 飼育経験がない

問36 猫の身元表示はどのようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 連絡先のある首輪・迷子札をつけている
2. 連絡先のない首輪をつけている
3. マイクロチップを入れている
4. 首輪などはつけていない
5. その他()

問37 万が一、飼いきれなくなったときのために、準備していることはありますか。

(ひとつだけに○) ※ある場合、よろしければ、内容も教えてください。

内容の例：譲渡先を決めている

1. ある→内容()
2. ない

問38 災害が発生した場合、飼っている猫をどうしようと思いますか。

(ひとつだけに○)

1. 連れて逃げる 2. 自宅に置いていく
3. 知人などに預ける 4. その他()

問39 災害時に備え、飼っている猫のためにどのような準備をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 猫用の防災グッズの準備 2. 避難場所・経路の確認
3. しつけ 4. 特にしていない
5. その他()

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入がお済みになりましたら、まことにお手数ですが、

同封した返信用封筒(切手不要)に入れて、令和3年11月5日(金)

までにご投函ください。

IV 自由意見一覧

1. 調査の結果

(1) 飼い主のいない猫を見かけたときどのように思うか

居住地区	年齢	内容
中央	20代	猫だなと思う
中央	20代	連れて帰るまわりの状況を確認してから
中央	30代	飼い主が見つければいいなと思う。
中央	30代	飼い主がいないか判断できない。
中央	40代	野良猫がゼロになり全ての猫が安全な場所で飼育されることを望む
中央	50代	「いない」と確信できない
中央	60代	ちゃんと生きていけるかなと思う
中央	70代	糞を庭にしないでほしい
中央	90代以上	アレルギー性気管支炎・喘息の発作の発症が心配になる。
西南部	20代	誰かがエサをあげている
西南部	40代	去勢や避妊手術をしているか気になる
西南部	40代	飼い主がいないか見た目では判断はできない。
西南部	40代	長生きしてほしい
西南部	50代	ノミやダニがついていないか気になる
西南部	60代	車にひかれなくて良いが…
西南部	70代	何とかしてあげたいと思う
東部	20代	ほしい
東部	30代	えさをあげている人を見て、憤りを感じる
東部	50代	野鳥と同じ感覚
東部	50代	無事に生き延びてほしいと思う
東部	50代	大丈夫かなと心配になる
東部	50代	飼い主の有無がわからない…。
東部	50代	がんばって生きろと思う。
東部	60代	ホゴレンラクスル
東部	60代	発情期の声が気になる
東部	60代	野良なのか迷い猫なのか考える。
東部	70代	喘息があるので、近づかない
西部	10代	飼いたくても飼ってやれない申し訳なさ
西部	40代	犬を飼っている為、ノミを移されたくない。大便の事が気になる。
西部	50代	心配になる
西部	50代	頑張っている
西部	50代	病気・事故イタズラが心配
西部	50代	無事に暮らしてほしいと思う

居住地区	年齢	内容
西部	60代	わからない
西部	60代	根本的な経緯を考える。捨てたのか、放置したのか、流れてきたのか、とかいろいろです。
西部	70代	特に気にしていない
西部	70代	増えてしまうのが心配
西部	70代	飼い猫か野良猫の区別がわからない
西部	70代	のらネコとはかぎらない
西部	80代	昔ひどかった
西部	-	フン
北部	40代	害虫、害獣を守っている様子です。
北部	40代	ケガや病気の子を見るとどうにかしてあげたいと思う。実際何もできない。
北部	60代	飼い主は居るのだろうか…と思う
東南部	10代	なにもしなくても、生きていくのだろうかと思う
東南部	20代	幸せ
東南部	20代	心配になる。
東南部	30代	住みつくと困ると思う
東南部	30代	平和だと思う
東南部	30代	正直遠目で飼い主の有無はわからない
東南部	40代	病気が心配
東南部	50代	心配になる、猫の健康状態が気になる
東南部	50代	保護できるのならば、どこかで保護して欲しい。
東南部	50代	糞尿は困る
東南部	50代	自然に生きられない今の社会が問題だと思う
東南部	50代	飼いたい
東南部	50代	気になる。食事とか環境のことが。
東南部	60代	線路脇にすてられていて、困った
東南部	80代	ほとんど見受けない

(2) 被害内容

居住地区	年齢	内容
中央	30代	猫アレルギーによる目のかゆみ、鼻水等
中央	30代	屋外のメダカ水槽を荒らされて60匹くらい消えた。
中央	50代	植物を荒らす、住む、子供を捨てる、死ぬ
中央	90代以上	家の屋根やテラスの上に登る。庭木等での爪研ぎ、毛・抜毛による慢性的アレルギー性気管支炎・喘息の症状の発症・悪化。生命にもかかわる発作。
西南部	40代	花壇を荒らす。屋根、家や車に登る。部屋に侵入する。嫌いと言われる周波数の機器を購入したり、進入禁止マットは敷いたり、嫌という香りを庭にまいたり、「エサをあげないで下さい」との張り紙を貼ったりしてます。
西南部	50代	そばに行ったらノミにさされてしばらく強いかゆみがあり皮膚科を受診した
西南部	50代	花壇を荒らす
西南部	70代	10年以上前車の下で亡くなっていた
西部	40代	プランターを荒された
西部	50代	ねこが車の下で死んでいた。
西部	60代	車へキズをつける。
西部	60代	車にひかれて死んだ。市役所へ連絡した。処理に来てくれた。
西部	70代	敷地内で子どもを産んだ、3匹
西部	70代	車の上に乗る
西部	70代	2階ベランダでの日向ぼっこ等
西部	80代	床下への侵入
北部	40代	外にいた金魚を食べられました。
北部	40代	嘔吐物、ねずみを取った後の残骸
北部	50代	配管の保護剤をこわされた。
北部	60代	ネズミ等の死がい置いていかれた。
北部	60代	金魚、メダカ
北部	70代	インコに襲いかかる
北部	80代	時折玄関の上り口に糞尿
東南部	40代	車にキズ
東南部	40代	ボルダリングの壁で爪をとぐ
東南部	70代	2階ベランダに時々来る。特に冬。
東南部	70代	カーポートの屋根へ
東南部	80代	芝の上に糞をする

(3) 被害防止策

居住地区	年齢	内容
中央	30代	水槽にフタをする。
中央	50代	臭いを消し、トイレ設置
中央	60代	花壇にフンをしないように網を置く
中央	70代	殺虫剤をゴミ袋にまく。
中央	70代	庭の土が露出しているところすべてに猫よけマットを敷き、糞尿を防ごうとしている。
中央	90代以上	追い払う
西南部	30代	庭を土からコンクリートにした。★庭にうんちをされて困っている
西南部	50代	水を入れたペットボトル
西南部	60代	光を反射し、周で動く板を設置
西南部	70代	外に置いているゴミ袋を二重にしている。
西南部	80代	石灰をまく、5年以上前
西部	40代	プランターなどは、100円均一で売っているプラの先のとがったものを敷いている
西部	40代	庭の雑草を生やさない対策
西部	50代	生ゴミにかぶせておく。バケツとか？
西部	50代	フンをされないように、常に土をしめらせておく。
西部	60代	その猫に手術をして、終生面倒を見ました。※10年前にしました
西部	70代	効果はわからないけど、ペットボトルに水
西部	70代	関係団体の協力を得て捕獲して「不妊去勢手術」をしてもらい「保護猫」としての新しい「飼い主への譲渡」をしている。自分の家でも3匹を飼っている。残念ながら残った猫は再度野に放っている。(手術をしていればこれからは野良猫が増えないとのアドバイスを受けたので。)
西部	70代	ネコ、カラス避けのスプレー使用
西部	70代	生ごみの袋を地面に置かず、ヘイにつるすようにした。
西部	80代	土の上に「ふん」をするので棒を立てておく
北部	40代	芝を短く切る様に常に手入れをしている
北部	80代	何年か前に八王子保健所より器具を借用し、設置していたら、のら猫がまたいで侵入していた。
東南部	30代	エサを与えない
東南部	60代	のら猫用トゲトゲマット
東南部	70代	敷地へ侵入して来た時大声で追いはらう。
東南部	70代	外に出さない
東南部	80代	車の隙間に入り汚す

(4) 被害防止策の効果

居住地区	年齢	内容
中央	40代	一時的に改善されるが、しばらくすると元に戻ってしまいます。
中央	50代	増えたり減ったり(季節性がある)
中央	50代	保護猫活動の方が、対策を講じてくれたと聞いた。
西南部	30代	コンクリートにかえたばかりなので、まだわからない。
西南部	50代	時々、車に引かれて死んでる
西南部	70代	初めは軽減されるが、その内なれて変わらなくなる
西部	70代	今までのところ被害にあっていない
西部	80代	時々侵入
東南部	80代	人がいない時なので

(5) 餌やりを見かけたときどのように思うか

居住地区	年齢	内容
中央	30代	猫が自力でエサをとれなくなってしまうのでは？と心配
中央	50代	自分の敷地内でやってほしい
中央	50代	毎日エサやりをして下さるボランティアさんには、ありがたいと思います。
中央	60代	ボランティアの方が関係しているので
中央	60代	嫌う人がいるので自分はしないが、心の中では感心している
中央	70代	複雑な気持ちになる。
中央	80代	仕方ないと思う
西南部	20代	以前は見かけたが、この頃は見ない。
西南部	70代	生き物だから慈悲は必要かな？とは思うがやはり良くないとも思う。
東部	30代	一匹なら良いのかもしれないが、群になると、増えすぎてもどうなのかとは思う。
東部	40代	質問1と2の両方
東部	50代	良くないと思いつつする。容認する。
東部	50代	時と場合による
東部	50代	去勢手術をして、えさやりをするのであれば良いと思うが、ただ餌だけをあげるのは反対。
東部	50代	皆の了解が得られるなら…と思う
東部	60代	猫は保健所で引き取ってくれないので、やむを得ない。
東部	60代	どういう思いで餌をあげているのか気になる。ボランティアなのか、飼えない思いからあげているのか。
東部	60代	周りに迷惑を掛けなければ良いと思う
東部	70代	1、2の間です
東部	80代	実行者の考え方だと思う
西部	40代	増えない様な対策(避妊など)を責任を持ってやっていけば良いと思ってい

居住地区	年齢	内容
		る。
西部	50代	被害にあわないよう餌場を作るのは仕方がない。
西部	50代	以前は良くないのでは…と思ったが、それによって猫が生きられると思えると、良いのではないかと思います。
西部	60代	とても複雑です
西部	60代	家で飼ってほしい。
西部	70代	エサをあげたいがあげてない
西部	70代	エサをやるだけではなく、その先のコトまで考えてあげないといけないと思う
北部	50代	無責任だと思う
北部	50代	良くない事なのかもしれないがあげたくなる気持ちはわかる
北部	50代	仕方がない
北部	60代	周辺の住人の
北部	60代	地域の同意と問(19)のようであれば
北部	80代	餌やりの人にこの猫を持って行って下さいとやりとりして言い争いになったので、以後知らん顔になっている。
東南部	30代	何ともいえない
東南部	40代	良くないことだと思っていたが、去勢などしていれば1代限りと思えば仕方ないと思う。
東南部	40代	良い事だと思うが、色々と難しい事があると思います。
東南部	50代	飼ってあげれば良いのになと思う。
東南部	60代	サイテイ
東南部	70代	同じ人が餌やりをしている。
東南部	70代	猫好きなのだと感じる。「餌やりを止めて」と言いたいが、ふれないでいる。
東南部	70代	責任を持って餌をあげてほしい。
東南部	80代	仕方ないと思う
東南部	80代	やめてほしい

(6) 地域猫活動に対する考え

居住地区	年齢	内容
中央	20代	私はしないが頑張ればいいなと思う
中央	20代	猫が嫌いな人への為の活動だと思う
中央	30代	そのような活動があり、適切に働きかけられているということをもっと周知すれば、⑨は減ると思う。
中央	30代	不妊去勢手術は、人の身勝手な気もする。
中央	40代	保護猫の施設が増えることを望む
中央	40代	寄付等で協力したい(表立った活動ではなく)
中央	40代	里親をSNSで呼びかける
中央	50代	悪質なエサやりによる増加とは区別して、野良ネコを飼っている状態に対しては、地域猫活動ではない方法で対応してほしいです。
中央	50代	問24の取組みの実施
中央	50代	私的に(独自に)活動している団体もあると聞いており、統一的・体系的に取り組むべきと思います。
中央	50代	共生のためならば素晴らしいと思う
中央	60代	2019.7月頃から、お耳V字カットの茶トラ、キジトラの2匹が来訪。キャットフードを与え、現在ほぼ庭ネコ状態、母娘らしい。犬派の私ですが(笑)この2匹は可愛い。
中央	60代	仕事をしているので、不可能です。
中央	70代	新しい猫がきているようで、効果はどうか?大声のケンカふん被害は続いている
中央	70代	無責任な飼い主が世話をしてもらえることを知り、飼い猫を安易に繁殖させたり、捨てることを助長する懸念がある。
中央	90代以上	一代限りの生命であっても、その間、毛・抜毛に因る慢性的アレルギー性気管支炎・喘息に極めて悪影響を被る。猫の生命・動物愛護より人間の健康・生命・衛生の方が大切に優先。
中央	90代以上	嫁がパートに出、自分の身体がよわり、やっと動いているので。
西南部	20代	猫は家の中で飼うものと考えている
西南部	20代	ぜん息があるので、参加できない。
西南部	40代	猫アレルギーがあるので迷惑に思う
西南部	50代	ペットショップ廃止、悪質なブリーダー摘発しか、かわいそうな捨て猫は減らないと思う。
西南部	50代	ネコ嫌いの方には大迷惑だと思う
西南部	60代	今後猫をかうつもりはないので
西南部	70代	猫にも命があるので、野良猫がかawaiiそうだ
西南部	70代	市の管理下で一括捕獲して飼育する。(飼育方法は要検討)
西南部	80代	トイレの場所が決まっているみたいで、何をしてもトイレをしにくる。多量の毛虫がわいた。

居住地区	年齢	内容
東部	50代	色々な考え方があるのでそれはそれで尊重します。しかし私は電線にとまる野鳥が落したフンなどが下の車にダメージを与えたとして、それは個人的問題として処理している。それと同じ位の認識です。猫による？何かのダメージがあったとしても。
東部	60代	人間にとっての住みやすさと猫にとっての(動物にとっての)幸せについて考えてしまう。
東部	70代	猫自体ほとんど見かけません。
東部	70代	5番に〇をしたいのですが、自分の健康でなければと思うとちっと！
東部	80代	昔は居たが今は見かけないので活動の必要性を全く感じない
西部	40代	わからない
西部	40代	かわいい、かわいいだけでやっている活動ではないため、もっと啓蒙されたいと思う。
西部	50代	動物愛護を行政の観点から行うのはよいと思う
西部	60代	時間はかかるが、絶対に野良猫は減ります。1人では限界があるので、協力者がいればなお良いです。
西部	70代	猫には何んの責任はない。人間の問題として考え行動すべきである。
西部	70代	？
西部	90代以上	見かけないので分からない
北部	40代	活動を知らない人を見ると迷惑に思う人がいると思うので地域の人の理解が必要だと思う
北部	40代	分からない
北部	40代	判断できない
北部	50代	一人一人に責任がないのでは？個人で持ち帰り生涯飼えばよいと思う。
北部	50代	去勢手術は良いと思うが、餌場やトイレは効果があるかわからない。
北部	60代	活動して下さる方を尊敬します
北部	60代	保護施設があればいいと思う。猫が自由に外にいと糞尿で汚したり、猫嫌いの人から虐待される可能性がある。
北部	80代	飼育していた猫を捨てたり、生まれた仔猫を捨てるのを防げないものか？
東南部	20代	アパートであり、2は不可能であるが、餌の提供などしたい。
東南部	50代	不妊手術のみでいいと思う。
東南部	50代	時間が無い
東南部	50代	自治会や学校、広く知らせて欲しい
東南部	50代	猫のために何かをしたいと思うが
東南部	50代	できることは協力したいと思う
東南部	70代	一代限りで見守る活動には協力したい
東南部	70代	餌をあげるから猫がふえる
東南部	70代	生まれてしまった猫に対する地域活動でノラ猫が居なくなることは、ありがたいことです。

居住地区	年齢	内容
東南部	80代	わからない
東南部	80代	友人がやっていたので大変だと思う。
東南部	80代	私は人並みに歩けないので。

(7) 飼い主のいない猫対策に関し、重点的に取り組んだほうが良いと思う対策

居住地区	年齢	内容
中央	30代	鳥のための「えさ」を庭先、玄関先に置いているものも、猫に関わると思うので、猫を対象にだけでなく、野生動物への考え方も、トラブル軽減になるのかなと思います。
中央	50代	被害者への補助金。トイレ設置のお礼、補助、土の回収、被害の聞き取り。悪質なえさやりへの罰則規定。
中央	80代	無責任に餌をやらない
中央	80代	なし
中央	90代以上	処分目的ではない捕獲により、地域猫をなくす
西南部	40代	ICチップうめ込みなどで飼い主を分かる様にする。
西南部	50代	ペットショップ廃止する→日本は遅れています。海外でもペットショップはありません。悪質なブリーダーも廃止すべき！
西南部	70代	問20-10のとおり
西南部	70代	別になし
東部	20代	自分が好んで猫を飼ったんですから外へ逃がす？のは違うと思います。猫も命です。処分という言葉も納得できません。猫を外へ逃がす人間に罪を下すものだとは私は思います。命を捨ててるものと一緒です。最低です。
東部	20代	殺せ！！
東部	30代	去勢手術
東部	50代	わからない
東部	50代	よくわからない
東部	80代	のら猫をほとんど見かけない
東部	80代	問題20の10の通り
西部	40代	地域の獣医ももっとチームとして強力しあえたら、社会、地域として動物愛護の認識もたかまり、教育としても豊かな社会になると思う。
西部	40代	野良ネコと家ネコの区別をする為、首輪義務と家から出さない義務を作ってほしい。
西部	50代	動物への理解。命を大切にする教育。自分の都合しか考えない人を広い視野で愛のある平和な世界へ導く教育。
西部	90代以上	あまり見かけないので分からない
北部	60代	販売の抑制
北部	70代	飼い主のいない猫の調査及び把握
東南部	30代	殺処分(積極的な)

居住地区	年齢	内容
東南部	30代	飼い主がどうしても飼えなくなった時の受け入れ。病院で入院。親の介護で引越し。老人ホームへの入所等。
東南部	50代	猫のためにお金を使う事に疑問を感じる。
東南部	80代	飼い主へ名札をつける事。
東南部	-	よくわからない。

(8) 飼い主のいない猫対策についての要望や意見

居住地区	年齢	内容
中央	20代	全て人間が悪いので、人間を正した方が対策になると思う。知人が、猫ではなく犬だが、悪質なブリーダーについて市に問い合わせをしたが、対応されずにそのままだったということがあったので、結局何をしても無理なら見なかったことにするしかなく、人間が悪いなと思う。
中央	20代	アレルギーがあるのに、敷地内に糞をされ、迷惑している。譲渡活動をもっと行い、地域猫をなくすようにしてほしい。
中央	20代	天寿を全うしてほしい。
中央	20代	もっと周知し、保護猫の譲渡等で、猫が幸せになれば良いなと思います。
中央	30代	3年前、この地域に引越してきた時、近くの公園の砂場には時々猫のフンがあり、そこにいたおじさんが「ここはふんが時々あるから気をつけて」と教えてくれましたが、近頃はフンは見かけません。地域猫活動のおかげか、公園の日頃の整備のおかげかわかりませんが、ありがたいです。私は猫は好きですが、子どももいるので、安心して暮らせるのはありがたいです。
中央	30代	以前、近隣の愛猫家の方から地域猫活動へ協力を求められることがあったが、断りづらかったため、直接対面して普及や協力活動をするのはやめてほしい。
中央	30代	具体的な対策が思い浮かびませんが、猫を飼っている人が、捨てることなく最期まで飼うこと、簡単に猫を飼うことをしない等の呼び掛けというか、何か市民に伝える方法があるといいのかなと思います。具体的ではなくすみません。
中央	30代	地域住民とボランティアとの間で、トラブルも多いようですので、専門の相談窓口を設置してはどうでしょうか。
中央	30代	ゴミをあらすことはやめてほしい。
中央	30代	基本的には飼い主を探したり、飼い主の責任を強くするべきで、地域猫の活動は無い方がいいと思う。苦手な人やアレルギーの人もいるだろうから、地域で世話をすることが素晴らしい、好ましいという風潮になるのはどうかと思う。
中央	30代	安易にペットを売のをやめたらどうでしょうか。動物を飼う時の審査を義務づけて厳しいものにするとか…。根本的なところから考えていかないと解決しません。命を簡単に考えている人間に動物を売ってはダメです。

居住地区	年齢	内容
中央	30代	猫のことだけでなく、犬の糞尿被害のことも考えて欲しいです。飼い主の問題でもあると思いますが、このようなアンケートで被害を受けていることを理解してもらいたいです。宜しくお願いいたします。
中央	30代	不妊去勢手術、費用一部ではなく、市には全額支給してもらえるといいと思う。ペットの病院や葬儀場、施設などに、もう不要になったキャットフードなどを募集するチラシや貼紙を置くのはどうでしょうか…ごはん代もなかなか(一時保護する時は)かかると思うので…。好き嫌いする猫も多く、家に余らせているペットフードがあるというお宅も多いのではないのでしょうか。
中央	30代	今まで野良猫について深く考えた事がなく、最近少なくなったなあ程度の認識でした。自治体がこのような取り組みをされている結果だと知り、大変びっくりしました。いつもありがとうございます。猫を飼う予定はありませんが、このような取り組みがあることに感謝し、知識として興味を持つとうと思いました。ありがとうございました。
中央	30代	保護猫の譲渡の条件が多くて、気軽に見に行く事ができない。特にコロナが流行して、予約制になり、ますます足を向けづらくなった。保護猫の活動は良い事だと思うが、スタッフに個人情報渡すのもためらわれる。それと、地域猫にするならもっと積極的に知らせないと、ただのノラ猫。
中央	30代	猫を、今も先代もどちらも野良猫の状態の時に拾って飼いました。八王子では不妊去勢ネコちゃん(耳カット)を見たことがなく、取りくみをしているのもこのアンケートではじめて知りました。市報のトップページや小・中学校の資料配布、八王子祭りのチラシなど見る確率の高い所に掲載して頂きたいです。
中央	40代	猫は好きだが、子どもが猫アレルギーなので、野良猫が増えるのは困る。増えないよう対策をしてほしい。
中央	40代	地域猫活動をしていらっしゃる方々には、頭が下がる思いです。猫の本来の生き方、幸せを考えると、飼い猫は飼い主が一生愛し続け絶対にすて猫にしないことと、飼い主がいない猫は、自然な形で伸び伸び生きられるように地域で見守ることの両方が必要と思います。
中央	40代	動物園のように、保護猫や犬、ペットと呼ばれ飼い主が飼育を放棄した動物だけの施設が増えればいい。動物園や猫カフェのように入場料を支払って維持費にする等すればいいと思う。
中央	40代	幼稚園、保育園、小学校、中学校で、ペットを飼うことについて、もっと教えるべきだと思う。
中央	40代	飼い主がいても、外飼いをしている家がほとんどで、その猫がトイレをして行くので、非常に困っています。「飼い主がいないよう」でも、実は飼われているケースが多いと思います。
中央	40代	猫のフン被害がひどくて困っています。近所に野良猫にえさやりをしている家があるらしいという話もききました。(それが地域猫活動なのかどうかはわかりません。)
中央	40代	動物を飼う前にアレルギー検査をする様に飼い主になる方に呼びかけて頂

居住地区	年齢	内容
		くとあとから飼う事が出来なくなる要因が少しは減るかなと思います。動物愛護の教育の徹底で虐待されている動物を減らす、又はこうした活動の理解を深める事も大事だと思います。
中央	40代	私の家の周辺には、殆んど猫をみなくなりましたが、飼い主のいない猫が虐待を受ける事がないよう、保護活動には力を入れて欲しいです。(保護活動されている団体等への支援なども)
中央	50代	ネットカフェなど保護猫に触れ合う場所があると良い。
中央	50代	敷地内5カ所を猫トイレにしています。フンと土まで捨てられず、地域猫活動をしたとしても、トイレ担当だと思いと協力する気になれません。フンは多い時で10匹分(1日)くらいあります。エサをあげている人は特定できていて、近所はみんな知っています。でも結局みんなその人のせいにして、かわいがっているようです。庭を猫が住みやすい環境にして、土を出してなくて猫を可愛がっているお宅もあります。猫よけにはお金も時間もかかります。私は2年前に引越してきましたが、猫に関しては30年以上この状態らしく、被害のあるお宅も諦めているようです。猫よけへの補助、超音波装置の貸し出し、被害者の会があると嬉しいです。地域猫活動をすすめるなら、フンの回収をしてほしいです。長文失礼しました。このようなアンケートに感謝します。
中央	50代	飼い主さんへは、もっと責任ある行動を取っていただくためにも更なる終生飼養啓発を行ってほしいです。
中央	50代	ノラ猫が居なくなる様に願います。
中央	50代	一時的に保護は、必要だと思いますが引き取り先が無ければ処分が妥当だと思います。又、小さい子供を守るためにも予防接種してない動物は処分して頂きたい。
中央	50代	飼い主のある・なしに関らず、猫も動物であるので殺処分だけは今後もしないで欲しい。
中央	50代	アレルギーで協力的になれないが、敷地侵入やゴミ荒らしがあるので活動が推進されるとよいと思っています。
中央	50代	以前、敷地内へ侵入され毎日、フン、尿をされその処理等の為、莫大な費用・労力・時間等を費やしています。動物愛護を声高らかに言う人や、餌やりの人は連れ帰って自分の自宅内(屋内)で飼い、人に迷惑をかけないでほしい。大変な被害をこうむっている。
中央	50代	譲渡活動を充実して頂けたらと思います。
中央	50代	多くの人に地域猫活動を理解してもらい、不幸な猫が減る事を望みます。
中央	50代	最近テレビで、名古屋で活動されている方を特集した番組を見ました。自分の生活を犠牲にしてまで、熱心に活動されている方でした。そういう活動されている方への支援や助成強化もあって良いと思います。
中央	50代	動物虐待と言われそうなので、何もしない。(できない)
中央	50代	処分をするのではなく、飼い主のいない猫対策でそのような猫にも生きてい

居住地区	年齢	内容
		く道があることは大切だと思います。時々近くでみかけて、かわいそうに思いますがエサを与えて又、家の側に来てしまうと近隣で問題になってもいけないので優しい目で“大丈夫”と見つめて(特にネコ好きではないですが)終っています。ネコもイヌも殺処分でなく生きる道を与えてあげることは大切な取り組みだと思います。
中央	60代	殺処分も必要だと思います。犬に対してはどのような対応か？ハクビシン対策が気になります。無責任な飼主に啓発の徹底。
中央	60代	当方の近辺では、時々飼い主のいない猫を見かけるが、悪さをする事なく迷惑は感じない。糞尿の問題、鳴き声などはむしろ飼い主がいる散歩している犬の方が近所で迷惑している。飼い主が処理をしない犬はかわいそうです。
中央	60代	飼い主のいない猫を猫が好きな人に譲渡する活動をもっと活発にしたほうが良いと思う。
中央	60代	飼い主の身勝手によって生まれた猫たちに責任はない。猫は行動が自由です。猫も、犬同様に届け制にすれば良いと思います。動物(生き物全体)を飼う以上、一生責任をもつ事です。私が飼っている犬(ダックスフンド)は17才です。私が家の宝物です。
中央	60代	飼い主(猫を家の中から出して飼育しているので迷惑)がいるがエサを家の外に置くのでカラスやネコが寄ってきて困る。飼い主のモラルがないが注意できない隣家のため気まずい関係に。
中央	60代	のら猫は駆除してほしい。
中央	60代	問24で選択をした項目について、積極的に取り組んでいただければ幸いです。
中央	60代	すべては人間(飼い主)の自覚と責任の欠如によるものです。であれば人が介助するのは当然です。市の財政の中で支援の継続をすべきと考えます。何より飼い主のマナー、飼う覚悟の教育・指導をすべきです。安易に動物を飼うな！です。
中央	60代	どんな病原菌をもっているかわからないのら猫は、市で捕獲して頂きたい！
中央	70代	ボランティアの方々の行動に頭が下がります。我が家の猫もボランティア団体から譲渡されたものです。
中央	70代	助成金が少ないような気がする。
中央	70代	無責任な飼主がいる限りどうしようもない。ある地域の町猫6~7匹は、ハクビシンに食べられて(おそわれて?)絶滅した。解決法にはならないと思うが、いなくなってほっとしたことは確かだ。
中央	70代	ノラちゃんを見かけると可愛そうですと考えるてしまいます。地域で協力しなんとかノラちゃんが皆んな幸せになる様に出来たら良いと思います。寒さや暑さをしのげる小屋も必要です。お願いします。
中央	70代	猫を発見したら、知らせる事は出来ると思う。その後は活動していらっしゃる方々に、まかせていただくのがよろしいかと思ひます。

居住地区	年齢	内容
中央	70代	最近はあまり見かけなくなったが、もし見かければ、何らかの行動はすると思う。
中央	70代	無責任にエサやりだけを行う人に、結果として猫が不幸になっていることを理解し、自重する様、啓発に加え、改善されないときには指導をして欲しい。合わせて、飼っている人へ家飼い(外へ出さない)の徹底の必要性の周知、啓発を更に強化してほしい。
中央	80代	何匹もの猫にエサをあげ、近所中に迷惑をかけている家がある。
中央	80代	見ていて楽しい。動物園の生物のように見えています。外を走り回っているのを何時間も見ていてあきない自分は猫と一緒に生活はいやです。
中央	80代	敷地にはいり草花植木などの所に穴をほり尿、ふん、して行く。悪臭がひどい。そのままにしておくとはいが飛んでくる。せっかく咲いた花などが壊れてしまう。保健所に電話したこともあります。どうかして下さい。
中央	90代以上	飼い主のいない猫にチップを入れて管理し、行動範囲調べてほしい。また、猫を飼っている人は、チップ入れて責任を持って育ててほしい。飼い主に税金を取る、不法に捨てることをさけるため罰則を設定。
中央	90代以上	人間の健康・生命・衛生が最優先であるため、捕獲により地域猫をなくす。
西南部	10代	トラックや車にひかれそうな猫を見かけることがあるので、何か対策を考えていただきたいです。
西南部	20代	エサやりを禁止してほしい。
西南部	20代	地域猫活動をしている人たちへの支援を手厚くしてほしいです。
西南部	20代	ネコだけ特別扱いはおかしいと思う。エキノコックスが怖いので殺処分も検討すべきだと思う。
西南部	20代	飼い主のいない猫を飼っても良いとする(引き受ける)事前登録のようなもの。
西南部	20代	マンションに住んでいるため猫を飼うことはできませんが、猫が飼い主なく地域で疎まれることは可哀想であり、気の毒に思います。そのような猫を捕獲・保護し、市として猫カフェを運営してその収益でさらなる保護活動につなげる等できたら良いと思います。
西南部	20代	私自身、猫が大好きなのに体質で飼えないので、外で見かけるとかわいいなと思う。ただ庭のある人など、花だんにうんちをされて臭くていやだという声をきいたりするので、その問題がクリアされればいいなと思っています。
西南部	20代	庭の掃除や草むしりをして、きれいにした後で、フンをされると本当に辛いですし、残念です。かわいいし、かわいそうとは思いますが、本当に困っていて、何とかして欲しいとも思っております。
西南部	20代	行政の保護猫活動を利用して猫を飼うという方法を多くの方に認知されて欲しいです。
西南部	20代	地域猫活動の周知や支援が「広報はちおうじ」で知れたらと思います。(毎月、定期的に)

居住地区	年齢	内容
西南部	20代	ネコカフェをつくってほしい。保護したネコで。
西南部	30代	地域トイレの設置とありますが、猫も、トイレの練習をしないと、その場でトイレをしないと思うのですが、練習もしているのでしょうか？猫は好きですが、うちにはまだ小さい子供がいます。庭で、土遊びをさせたくて、土の部分を残して家を建てました。しかし、その土の部分で、猫にうんちをされています。子供にとっても衛生上、良くないと思います。なので、コンクリートにかえました。また、ごみもあさられます。可燃ゴミの回収時間があまりにも遅い。朝出して、お昼～15:00に回収しにきます。他の区や市に住んでいましたが、ここまでひどいのは初めてです。せめて、回収時間を早くして、猫にあさられる対策はしてほしい。
西南部	40代	通報があつて捕らえても、ボランティア団体などに連絡することを第一として、殺処分は避けてほしい。
西南部	40代	多頭飼育崩壊への行政の素早い介入。保護団体(ボランティア)への支援。意味不明な看板の撤去。(無責任なエサやりはやめましようと言われたもの)TNRの周知、地域猫への理解を助長する内容に変更すべきです。無責任？TNRLしていたら無責任ではない。
西南部	40代	裏の家の老人が、ずっとのら猫にえさをあげ続けている。長年迷惑を被っているので、こういった人間に罰則を与えて欲しい。また地域猫という考えも良いと思うが、自治体で係を決めてえさやりなどは、あまり現代の考えにそぐわないと思う。(PTA活動などと同様な印象)
西南部	40代	夜間や、雨や雪などの悪天候の際など眠る場所としてどこを適切な場所と考えていますか？当方の玄関出入口前の道路にダンボールなどで中にポロ毛布などを入れたり、エサ用の皿を置いたりと非常に迷惑をかける隣人がいますので何とかして欲しいです。
西南部	40代	近所で餌やりをしているご家庭があり、毎年1頭づつ増えている様です。不妊去勢手術をして餌やりしてもらえばいいのですがされておりません。市で何か支援して欲しいものです。
西南部	40代	飼い主のいない猫を見かけたら通報することができる部署等があるようでしたら周知してほしいです。(それで何かその情報が役立つなら)
西南部	40代	幼稚園や公園の近場での活動は砂場がトイレになりかねないので場所を考慮して活動してほしい。(地域猫)そもそも地域猫活動でなく野良猫を保護して譲渡活動の方がフン被害が少なくなるので保護活動の方を推したい。
西南部	40代	人間の都合ばかり気にせず、一つの同じ命なのだから枠にあてはめすぎずに共存できることが一番良いと思う。去勢して数を増やさない様には、人間のエゴだと思うが仕方がないことだと思う。優しく見守っていける社会になって欲しい。
西南部	40代	飼い主のいない猫＝首輪をつけていない猫、ということでしょうか。
西南部	40代	V字カットをしていない猫を外で見かけたとき、目撃情報をお伝えできる連絡先を知りたいです。

居住地区	年齢	内容
西南部	50代	悪質なブリーダー廃止、ペットショップをなくす。ペットを飼う場合、飼い主の収入や環境などを調べるなどして、欲しい場合は保護施設などで見れるようにするなど、海外の方法にすればかわいそうな捨て動物たちが減ると思いますよ！
西南部	50代	飼い主のいない猫の病気感染などで、保護しても譲渡活動につながらない話を耳にします。病気の感染が抑えられるような対策があるといいのですが。
西南部	50代	地域ネコを1代かぎりで見守ったとしても病気や死んだ時の処理のアナウンスが十分でなければ無責任な施策となるため地域でとりくむのは反対。→譲渡活動を推進した方が健全
西南部	50代	飼い主のいない不妊去勢手術な猫を捕獲器で保護をと思って、捕獲器を借りたこともあるのですが、実際、捕獲後、手術をお願いできる病院と、そこへお願いするにはどうしたらよいかのアドバイスもあればと思います。飼い猫も手術には予約が必要です。捕獲後急な手術に対応してもらえるかも知ることができたらと思います。いつ捕獲器に入るかわからない子達なので。
西南部	50代	自宅ではないが、職場で利用している駐車場に4～5匹の猫が常時いる。この場合、車に被害が出ているが、管理会社などにも十分対応してもらえていない。こうしたケースの場合は、どこに相談したほうが適切なのでしょうか。
西南部	50代	地域で餌管理をすれば、猫の生活リズムが良くなり、イタズラも減ると思う。
西南部	50代	生活の中で接点を感じたことはありません。
西南部	50代	近所に2軒ほど1軒家で猫を飼っていますが、外に猫が出て道路で遊んでいるので、車で通る時は気を使います。
西南部	60代	飼い猫との区別が分かりにくい、飼い猫に首輪などあれば良いと思う。
西南部	60代	ご近所に気まぐれで猫にエサを与えている方がいます。そのため猫が集まってきます。そして我が家にはフンをしていきます。市でむやみにエサをあげないよう、周知して頂けたらと思います。そして地域猫活動をぜひ広めてほしいです。市で取り組んでいただけること、本当にうれしいです。
西南部	60代	人間だけの社会では得られない心のいやしをペットに求めているにもかかわらず、無責任な人々の行動で、被害にあっている地域猫、ですが地域のいやし猫と考える事は出来ないのでしょうか。
西南部	60代	主のいない猫などは、何とかしてやりたい。
西南部	70代	支援額の増大を願います。
西南部	70代	かわいそうな猫を少なくするには、不妊・去勢手術をすることが一番だと思います。
西南部	70代	ノラネコを見かけたことはありません。ただ、このようなアンケートが来るということは、ノラネコがたくさんいる地域がきっと八王子にはあるのでしょうか。不妊去勢手術が必要でしょう。しかし費用がそれなりにかかりますね。八王子の広報でそれに対する寄付を募れば、ネコ好きの人は千円～3千円くらいはその都度寄付するのではないかと思います。1頭分の4千円、7千円

居住地区	年齢	内容
		を各自出してとの申し出だと難しくなってしまうのでしょうか。1年に1回～2回広報に出したら良いのではないのでしょうか。
西南部	70代	問20の10その他が意見です。年齢的にも高齢なため、猫を終生飼養、飼えないので、野良ネコの里親にも協力できないのが残念です。以前は3匹飼っていて、3匹とも20年以上長生きした。
西南部	70代	以前、地域のノラ猫が増えすぎた為、好きな人も嫌いな人からも賛同してくれる住民から寄付をつのり、会員が捕獲器を設置し、100匹以上の猫を手術しました。(約100万の寄付が集まり)数年子猫を見かけなくなりましたが、この取り組みを知って、この地域に捨てにくる人もいた様です。地域猫としての活動が必要と感じます。
西南部	70代	不妊去勢手術費用を一部でなく全額助成してほしい。猫をすてて行く人がいるので対策を考えてほしい。はっきり言って、どのようにしたらいいのか困惑している。
西南部	70代	問20-10のとおり。捕獲して不妊等の処理をして飼育場で集中管理をして飼うのはどうですか？この場合、飼育場の場所や飼育者、経費など検討の要はあります。※猫好きの人に委託してはどうですか。(市営飼育場)
西南部	70代	要望や意見ではありませんが、数十年前に有志の方が町内会に呼びかけられ、具体的に実行され野良猫は以降ほとんど見かけません。感謝しています。
西南部	70代	飼い主のいない猫が、住民の生活に害を及ぼすのであれば、積極的に捕獲し、譲渡活動をもっと広く長期間行い、その後処分する事を周知し、根本原因となる「飼い主のない猫」が生まれにくい状況を作るべきである。
西南部	70代	我家では、2階ベランダに暖房のついた小屋を用意しており、冬や雨の時はいつも決まった猫が使っている。餌は近所の方が毎日与えており、ほぼ飼い猫の様にきれいである。いつまでもこのままでそっとしておきたいと思っている。
西南部	70代	ペットショップがなくなれば良いと思う。その為に、犠牲になっている子がいると思う。わざわざ猫を捨てにくる人もいる。冬は家のない子を見るとつらい。
西南部	70代	近所の主婦が公園で、飼い主のいない複数の猫達(多分7～9頭)にエサをやり、去勢、不妊手術をしているが、地域の住民に地域猫として承認してもらっていない。承認してもらう方法がわからないのではないかと。
西南部	80代	犬も猫も好きですが、高令のため飼育が難しくなりました。一部ではあっても公費を使って不妊去勢手術までされる施策には頭が下がります。今後も頑張って下さい。
西南部	80代	特にありません。猫は嫌いだから飼いません。
西南部	80代	家の廻りで猫に餌をあげている人を見かけますが、無責任だと思っています。
西南部	80代	現在毎日夕方に2～3名で3:30～4:30の間に飼い主のいない猫にエ

居住地区	年齢	内容
		サ、水やっている人が2～3名います。
西南部	90代以上	殺処分をゼロにしていきたい。
東部	10代	猫、犬等の動物を飼育する為には講習をして免許取得制度を設けるなど飼育する人間を指導してもらいたい。命を粗末にする人が許せない。飼い主のない猫達の居場所を設けてほしい。抹殺しないで、譲渡活動のPRをSNS等活用するなど最発信してもらいたい等々…。
東部	10代	ガリガリの猫がいたりするので何とかしてあげたい気持ちがあるが、どうしたらよいか分からないので市で保護などしてほしい。
東部	10代	今回のアンケート内容で、知らなかった事もあったので、広報等で詳しく知れる機会があると良いなと思いました。(特に地域猫や不妊去勢手術費用の助成について)
東部	10代	えさやりはいやがる人も周りに多くいます。保護するのは勝手ですが、好き勝手に公共の場でえさやりなどをするのはちがうと思います。
東部	20代	まずペットショップを無くすべきだと思います。お金で命を買う。では捨てられる命はどうなるのでしょうか？お金で命を買うのなら、飼い主のいない猫たちを飼うべきではないでしょうか？
東部	20代	本来ペットは自然界で生きるのが一番自然で幸せなことである。それを人間の身勝手な欲望のためにペットとして飼い始め、繁殖させてきた事実を認識すべきである。それでも飼いたいのなら、その事実を認識した上で最後まで責任を持って飼うべきである。それができないなら、この世の中が好転することはないだろう。
東部	20代	なるべく保護して、他の人に譲渡してほしい。殺処分だけはしてほしくない。
東部	20代	市で行なってほしい。のら猫は、キバをむきこわい！！
東部	20代	過酷な環境で生きている猫が少しでも減るように、適切な保護活動が多くの人に知ってもらえたらと思います。
東部	20代	保護犬を飼われている方が増えてますが、保護猫は浸透していないのでしょうか。猫カフェや老人ホームで飼ってもらおう等、人間にとっても猫にとっても良い環境になるといいと思います。
東部	30代	公園の砂場によく猫がフンをしてしまっている。仕方のない事ですが、子ども達が触れる場所なので、気になります。
東部	30代	人の家の敷地にえさをまく人を見かけます。猫の鳴き声や、花だんへのフンも気になります。
東部	30代	猫を優遇するというか、猫にばっか執着する人間の方がよほど問題があると思うので、終わりなき問題だと感じる。
東部	30代	時折、歩道の植え込みなどにダンボールやビニール傘などをういた猫の家やテントのような物が設置されているのを見かけます。また、猫の餌皿や水飲みの容器が置かれている事もあります。もしそれらが地域猫活動の一環として行われているのならば、その旨をわかる様に表示しておいて頂きたい

居住地区	年齢	内容
		と思います。
東部	40代	飼い主のいない猫さんにも、寄ってくる子と逃げてしまう子がいるので、逃げてしまう子を無理矢理とつかまえてどうにかするというのが難しいところですね。寄って来たり、(すごく)弱ってて逃げないなら、それが縁で助けたり、正式に家で飼ったりしたいのに…と思っています。
東部	40代	地域猫活動について全く知らなかったので、今後は自分も八王子市民として活動について少し知りたいと思いました。
東部	40代	捕獲が一番良いと思う。
東部	50代	庭の軒下で猫が出産した事があり、対応に困った。猫好きの人が飼うと言ってくれたので準備しているうちに猫達はいなくなっていた。あのままノラ猫になったかと思うと不安。(3年ほど前のこと)こんな時、どこに連絡を入れるのが適切か、周知してほしい。年に1度ではなく。
東部	50代	そもそも論が違うので…多分、こんな考え方の人もあまりいないかもしれませんが、野外をフィールドに生きている生物を全て人間の都合で管理しきれものではない。(タヌキや野鳥、モグラ等に対して何かこういった取り組みをしているのだろうか?)とりも直さず野猫が増えて困るのは、元を正せば人間の問題です。終生手ばなさないこと、と管理出来ない数まで増やさないこと!! それを守って頂けるように根気強く言い続ける事が肝要かと。それはずっとやってますよねごめんなさい。私の考えは以上です。飼い主のいない猫っていったいどうとらえれば良いのか…彼らは野生の生物ではないのか?
東部	50代	駆除しないような対策を考えてほしい。
東部	50代	犬が毎日深夜や早朝にずっと鳴いているので虐待しているのではと思うことがあります。対応策などあるのでしょうか。
東部	50代	個人がたちあげている団体でしようと会をしているところもありますが地域、市をあげてすれば猫による非害や、かわいそうなノラねこも少なくなると思います。
東部	50代	飼育が不可能となってしまった方々が相談できる窓口があればよいかと…。(既にあるのかもしれませんが…)
東部	50代	人間も猫も、同じ命です。選んで産まれてくる事は出来ません。少しでも温かい飼い主が見つかって、その日のごはんを食われて安心して眠れる場所に辿り着いて欲しいです。
東部	50代	①賃貸住宅の多い地区では、殆どペット禁止。猫の飼育緩和の市制としての働きかけをして欲しい。②個人ボランティア運営のネコ擁護施設への支援。③市運営で市民参加型の擁護施設の運営と展開。
東部	50代	他の地域ですが、母はネコが大好きで3匹飼っていましたが、亡くなってしまい、年齢的に譲渡を受ける事が出来ずに、元気がありませんでした。責任を持って飼う事も重要ですが、元気なお年寄りもいるので、考えて頂きたいです。

居住地区	年齢	内容
東部	50代	飼い主のいない猫は野生動物ではなく、人間により作られた、いわゆる野良ネコであり、愛護動物なのだということを周知啓発してほしい。また、行政がせっかく間に入ってくれているのだから、海外のようなアニマルポリスのような虐待防止の組織の育成も望みたい。
東部	60代	※猫に限らず動物を飼ったら最後まで責任をもってめんどうをみてほしい。
東部	60代	猫にも幸せに暮らしてほしい。
東部	60代	時々、駅前で活動団体が里親募集をしている。こうした活動にも支援(支援しているかどうかわからないが)が必要だと思う。販売業者による購入者への飼育指導。マイクロチップ埋込。購入者の登録制度と登録料の徴収。(イギリスでは犬の飼育に導入していると聞きました)大変ですが、がんばって下さい!動物の生命も大切に。
東部	60代	飼い主のいない猫とは純粋な野良猫も含まれるのか?外飼いの猫は、飼い主のマナー次第であり、捨て猫に関してはペットショップでの購入のハードルを上げるのが良いと思う。(捨て猫の全てがペットショップで購入された猫なのか分かりませんが…)
東部	60代	飼い猫かどうか区別がつかないので、対応に困っている人もいるのでは?明確にわかる方法を考えるのが、先決ではないでしょうか?
東部	60代	特に猫を虐待している異常者向けに、厳しい対処する内容をテレビ、ラジオ等で、放映してほしい。定期的にやるべきだと思います。
東部	60代	ふだん考えないのでわからない。
東部	60代	人間のせいで飼い主のいない猫ちゃんがいるのだから、どの猫ちゃんも幸せになってほしいので、譲渡活動などで多くの猫ちゃんに暖かい家族の一員になってほしいと思います。
東部	60代	猫に罪はないと思いますが、家族に猫アレルギーがあるので、人通りの多い所や近くでは餌やりをしてほしくないです。
東部	60代	人間と違って動物は自ら何もできない弱者です。同じ生物として社会で上手に共存していかないといけないと思います。一度飼ったら、最後まで責任を持つのは当然のことですが、何らかの理由で飼い主がいない猫にも、人として支援しないといけないと思います。
東部	70代	飼主のいない猫を出さないためには、放し飼いを禁止、罰の条例を定めるべき。猫も犬のように外へ出て自然な暮らしが必要。その際、必ず首輪をつけ、迷子や事故にならないようにすべき。猫は大切な家族の一員。飼主にはライセンスを義務付けるべし。
東部	70代	最近この地域では猫をみかけたことはないです。飼い主のいない猫に餌やりをする方はとても愛情深くやさしい方でしょうから猫を飼っていただくのが一番だと思います。そういった覚悟をもつべきと考えますが…。
東部	70代	動物を大切にすることは、人間を大切にすることにつながります。私共夫婦は今はペットを飼っていませんが、かつて飼っていた犬やネコは大切な思い出の一幕です。

居住地区	年齢	内容
東部	70代	不妊手術も必要だが、詳しくは知らないが、猫エイズ対策も必要と思う。
東部	70代	処分せよ！
東部	70代	地域猫活動により減少するようお願いしたい。
東部	70代	家なき猫は、保護してあげなければいけないと思います。公営の施設を建て、予算を算入と寄付をつのり、命を守るべきだと思います。
東部	80代	猫を一度でも飼ったならば、最後まで責任を持ってほしい。一度たくさんの猫を飼っていて放置されたことがあり、団地でたくさんの野良猫が増えたことがあった。
東部	80代	わが家の近辺では、あまりのら猫を見かけません。ゴミ收拾が各戸別になってから、居なくなったようです。近隣で猫を飼っている家は、みな屋内飼育で迷惑はこうむっていません。
東部	80代	猫は犬同様かわいい。のら犬はこわいが猫は襲って来ないので小数なら猫はいてもいい。それよりも駅等のハト害の方が気になる。
東部	80代	禁止されている地区でも、守っていない居住者が多い(団地内で…)。公園を日々利用させて頂いているが、猫の住居を作っている方もいる。各施策をPRし、一般者への教育も必要と思う(大変残念な事ではあります…)。
東部	80代	現住所に40年以上住んでいます。以前は、当団地にも野良猫がいっぱいいて、二人の主婦が毎日お世話していました。そのうち、お一人がお亡くなりになり、もう一人の方も高令になられ、お世話をする人がいなくなり、最近では全く猫の姿みません。この度のアンケートで当時になつかしく思い出しました。
東部	80代	飼い主のいない猫を排除して欲しい。
東部	-	愛猫家は放し飼いなど無素忍の人が多と思う。飼主にも罰を与えるべきと思う。
西部	40代	最後まで飼えないなら、安易に猫を飼ってほしくないです。時々殺されたりするニュースを見ると、本当に悲しくなります。飼ったら最期まで看取るまで責任を持ってほしい。亡くなった後は本当にさみしいので、保護したくなりますが我慢しています。
西部	40代	ほんとに困るので、むやみにペットショップで売ること自体が問題だと思います。飼えなくなって手放すなら、最初から買う時にもっと誓約を設けるべきです。ペットと言わず家族と言うなら、戸籍管理するとか。
西部	40代	犬の飼い主のマナーが悪いのも目立ちます。猫対策を通して、世界のように、動物愛護の意識・知識が日本でたかまることを期待します。学校教育としてもあってもいいと思う。テレビなどの情報は、世界からみたら恥ずかしいこと、虐待ととらえられることも多いため。
西部	40代	公園で餌付けをしている人がいる。増える一方だし避妊させようとする気配もない。公園の砂場がネコのトイレとなっていて、臭いがキツイ時がある。神社もなにもなくて腹立たしい。

居住地区	年齢	内容
西部	40代	一匹でも多くの猫に飼い主が見つかって欲しい。一度飼ったら、最期まで必ず寄り添ってほしい。
西部	40代	とても心ある活動だと感じます。
西部	50代	できるだけ保護をし、ボランティア団体を通して譲渡するシステムが確立するとういなと思います。人懐こい子が虐待を受けてしまうのが、本当に悲しい辛いので。
西部	50代	八王子がモデルケースとなるような取り組みを行い、無責任なブリーダーや飼い主を無くし、失われる命が減りますようにと願う。
西部	50代	人間社会にとって著しい害がなければ野良猫はそれとして認めてもいいのでは。ただし、飼い猫を捨てる行為には厳しい対処してほしい。エサやりもやめさせる様にした方がいいでしょう。なぜかこの付近のノラは丸々太っています。
西部	50代	地域猫活動の地域を増やす。犬と同様に飼い始めたら、市に届けを出す。
西部	50代	相談窓口のわかりやすさ。(わかりづらい)不妊去勢手術費用の増額。譲渡前に預かってくださる方への補助。
西部	50代	飼いたい場合はもらえるのでしょうか？
西部	50代	現在、自宅周辺で飼い主のいない猫を見かけないが、もしいた場合、どうすれば良いかわからない。
西部	50代	まずは人々の心の教育が必要だと思います。猫だけでなくカラスやいのしし、熊も全て地域の自然な生き物であり自然をこわして彼らを追いやっている人間のごうまんな生き方を是正する教育が必要と感じます。自然破壊をしている私たちはその責任を負うべきであり、それを動物が迷惑だと言う狭い視野の思考を是正するの必要を感じます。
西部	60代	このアンケートで初めて八王子の猫対策を知りました。市民として誇らしい気持ちになりました。
西部	60代	他地域で保護活動をしている知人がいたのですが八王子でもやっていた事は承知していませんでした。猫は、好きで昔は実家でも飼っていたし、のら猫をそのまま飼った事もあります。飼猫でもフラフラ外へ出しているお家もあつたりするのでその方が問題！！ただ増えない様に去勢手術は必要だと思う。
西部	60代	飼い主は責任をもって最後まで飼育してほしい。
西部	60代	近所では飼い主がエサを与えた後に、外に出す家が何軒かあります。前には、我家の物置の下に子猫が4匹もいた事があり、猫の被害は数えきれません。飼い主がいるかいないか解りませんが、ペットを飼う資格が無い人が多いです。動物愛護は理解できますが、動物飼育問題とは別の問題だと思います。今の世の中、ペットブームで大多数の方がペットを飼育されています。しかし、飼育者のモラルの低さに痛感されます。猫のはなし飼いはもちろん、犬の糞の始末をせずそのままにする人間も多いです。毎日、川の堤防を散歩しておりますが、犬の糞があちらこちらにあるのを見かけます。動

居住地区	年齢	内容
		物も大事ですが、被害を受けている人間のことを軽くみていませんか？ペットは家族の一員とも言いますが、家族ならペットの行為には責任をもって、ルールを守って欲しいです。猫対策の費用はペットの飼育者から「ペット税」のような型でも徴収すべきだと感じます。飼育する者に環境を汚す(糞や尿のあとも含める)ことにハンデを負うべきだと思います。外国では罰金制度のところもあります。
西部	60代	私は今回初めてこのような猫対策がある事を知りました。とても心が痛い思いを通感しました。
西部	60代	昨年8月、庭に子猫が4～5匹いました。おとなりさんに言われ、友人の猫好きに相談した所、他からも話しがあ、ワナをしかけることになっているからと、我が家のガレージに置きました。子猫がかかり、ボランティアの方の家まで運びました。その後、親猫がかかり、ボランティアの方に連絡すると、動物病院に連れて行くように言われました。友人と、私の車に乗せて行き手術を受けました。次の日、迎へに行き、つかまえた所でいがすように言われたので、その通りにしました。代金は友人が立替ました。補助金ではたりず、8000円自己負担になりました(私は3000円にしてもらった)。なぜ、猫苦手な私が、こんなお金を出さないといけないのですか？人間にもナンバーがついているのだから、ペットにもつけたらいいのでは？私はペットをすてたことはありません。誰がすてたのですか？誰が家からかわいい(?)猫を出しているの？
西部	60代	共存共栄かと思ひます。昔のネコはねずみを啜えて、御主人に誇らしげに持って来たものです。今は人の心を癒す為にペットとして所有しているが、立場が変ると、平気で手放す人も多いのではと思ひます。要は、自分が良ければいい、あくまでもペットとして飼っている様に思えてなりません。コレ、人間だったらジェノサイドじゃ無いでしょうか。
西部	60代	広報などで里親の呼びかけ。
西部	60代	地域猫活動は絶対に必要であり、必ず、結果がでます。それを阻むのは、無知な人間です。猫は飼いやすい、老人がさみしいからという理由で面倒を見る→増やしてしまう→多頭飼い崩壊の図式です。子供から老人まで動物を飼う事の道徳教育が必要だと思ひます。野良猫を増やすのは無知で、無責任な人間の成した結果です。だから、誰かが後始末するんです。「癒し」と「責任」は紙一重です。
西部	60代	責任を持って飼ってほしい。むやみにエサをやらないで。
西部	60代	猫の問題は「飼い主のいない猫」対策だけでは解決しないと思ひます。わが家では他家の飼い猫が庭をトイレに使用しに来るので困っています。猫を飼う人が「責任をもって飼育する」という意識を高めていくような取組みが重要と思ひます。
西部	70代	飼い主のいない猫も一生懸命生きてるけど、本来長生きはしないので、生きているうちはかわいがってエサをあげてます。自分の食事を節約しても猫にあ

居住地区	年齢	内容
		げるのは惜しくはありません。私のまわりの猫は全部去勢してます。
西部	70代	不妊去勢手術をもっと進めて下さい。
西部	70代	2012年春まで、庭をネットで囲って外猫を保護していましたが脱出を防ぎきれず家に入れました。その間、手術の助成も受け大変お世話になりました。地域猫活動が成立するには向こう3軒両隣に同じ考えを持つ方がいないと不可能です。人間が、猫のみでなく動物たちが自然に生きる条件を奪っているのです、好き嫌いだけでなく「共に生きる」という思いを持ち合いたいものです。
西部	70代	①捕獲することを協力してくれる団体を「市」は支援をし、市民に知らせるべき。②「不妊去勢手術」の費用支援が少なすぎる。これまで10頭自前の費用で行なったが負担が大きすぎる。③野良猫の寿命は4～5年と聞いている。ならば集中的に活動を展開したら野良猫は5年で居なくなる。
西部	70代	市の助成金制度が出来る前自費100%で15匹ぐらいの猫の手術をしたことがあります。そしてエサやりもしていました。手術をした後は猫同志仲良くなり、おだやかになって、ケンカもなくなり、近所でのイタズラもなくなり、自然にいなくなっていきました。結局、手術をしなければ、ダメだと思います。なので助成金は少ないと思います。自費が多くなればわかっている手術させるのは大変なことです。
西部	70代	市として駆除する取り組みをしてほしい。
西部	70代	農業ですが、畑にフンをされて大変こまっています。なんとか出来ませんか？
西部	80代	猫についてはアンケート以外の要望等はありませんが、犬について飼主のマナーが良くなく、糞尿の被害見られ、飼主に対しての指導の徹底をしてほしい。
西部	80代	50年以上住んでいるがのらネコをみたことがない！！
西部	80代	不妊去勢手術費用の件ですが、以前ご近域と相談を持ちかけましたが、一頭につき3万円かかると、2・3軒で問題を処理することはできませんでした。又保健所からゲージを用意できないと。それいらい行動をあきらめました。市、保健所、自治会町内会でのけんとうです。
西部	80代	近所の家で大切に家で飼っている猫をみかけましたが高価な猫らしく表には出しません。2軒となりにはやはり家の中での猫らしくたまに表に出て来ますがおとなしいです。他にはみかけません。
西部	80代	保存してある広報を読み直し。9月15日の特集号を見て、市政に携わる方々の努力を知りました。当方としても生き物の細かい動きに注意を払っていきたいと考えています。
西部	-	フン、尿の悪臭に困っています。対策をお願い致します。
北部	30代	広報に、もっと譲渡会等の情報があると、猫を飼いたいと思っている人(犬も)一時的に猫を預かる人とがもっとつながっていくのではないのでしょうか。
北部	40代	地域猫活動で本当に飼い主のいない猫がいなくなれば本当に助かる。飼い猫を外で飼っている家が近隣にあり迷惑をかけられているため、飼い主の

居住地区	年齢	内容
		マナーが向上すると良い。(エサが外に出されている時もあり、そういったエサに飼い主のいない猫が寄ってくる、糞尿被害がどの猫なのか分からないなどのトラブル)
北部	40代	猫は何も悪くありません。人間と共存出来ると良いです。お役に立てることがあれば、喜んで協力します。
北部	40代	猫ではありませんが、野生動物のタヌキにエサをあたえている人がいるので、迷惑だと思います。野生動物が住宅近くまでくるとにより、いろいろな病気が気になっています。
北部	40代	まずは、一匹飼った時から責任を持って育てる人にしか飼育させない。
北部	40代	猫はかわいいし好きだが、食べ物にあたえる(野良猫)という事は、結局排泄物はするので、その辺にフンされたりするので、すごく難しい問題だと思います。(餌をあげる事により、たまり場にもなってしまう。)
北部	50代	飼い主がいるのかいないのか、判断が難しいですが、飼い主がいても野外で放し飼い状態は許し難い。保護と譲渡に力を注ぐべきでは？
北部	50代	外飼いしている猫を室内で飼うように指導してほしい、今回の趣旨とは違うことですが、ノーリードで散歩している小型犬が多い事も問題にとり上げてほしい。再三注意しているが聞いてもらえず困っている。
北部	50代	問20の“地域ぐるみで取り組む”がいいとは思いますが、地域の人々の交流自体がない。どこのお宅が猫や犬を飼っているかも分からない。地域猫活動はご近所がある程度交流があり、情報交換もあって、共通の認識があった上でないと、活動が難しいのではないのでしょうか。
北部	50代	今すんでいるところはペット禁止なのでねこはかえませんが、私は動物好きなので、ねこかいたいです。次はペット可の所に引っ越しねこをかいます。じょうとかいはどうせいかップルにはじょうとが不可です。何ででしょうか？生がいキチントかうのに不可？とは、どうせいをさべつしてと思います。結婚していてもリコンする人もいるのに同せいは不可とは、本当に気分悪いです。以前私はねこを2匹かっており、オスメス両ともひにんしゅづつしましたし外には一切だしません。たばこすってる人も不可とか？じょうけんが多く、これではすくえる命もすくえませんよね。次ねこをむかえる時は、すてられたねことかほしいですが私達は同せいかップル&たばこすいますし、ゆずってはもらえないでしょう。すてねこみつけたらひろってかいたいです。ねこ大好きだし大切な命なので、ちいきねこ活動を知って参加してみたいです。
北部	50代	問15の対策についての助成はないのですか。飼い主のいない猫の糞の被害に、とても困っています。
北部	50代	譲渡活動などの展開を活発にすると効果が期待できるのでないでしょうか？コロナ禍で猫を飼うことがいやとなっていることもあります。心配なのは、身体や心に病を持っている猫の譲渡はむずかしいのではないかと思います…
北部	60代	以前、家の前のアパートの住人が、転居の際猫を置いて行きました。住人

居住地区	年齢	内容
		がエサを持って来て、後をよろしくと言われてびっくりしましたが(猫が一番びっくりしたと思います)外猫から家猫にして飼いました。しかし最後の最後は元飼い主をさがし、フラフラになり鳴いていたので切なかったです。そういう猫を2匹みとりましたが、最近ほとんど見かけません。
北部	60代	餌を与えない方が良いのではないかな。
北部	60代	近所で多くの猫を室内で飼っている人が自宅に餌場を作って与えている。この為周辺の庭や畑に糞(フン)をほぼ毎日数ヶ所で見つける。餌場を作ることを禁止(罰則)させてほしい。
北部	60代	以前、他市で借家住まいをしていた時に、目の前の大家の店の裏(うちの前)で野良猫が子を産んだ。大家はえさをあげていたが、うちの玄関前でトイレをするようになり、そのニオイに困り果てた。「不妊去勢手術をしたいが、なかなか捕まえられないので、餌をやって慣らさない」とならないと大家は言っていた。まず、トイレを人の家でしないようにさせないと理解してもらえないと思う。地域猫活動は、外でするので、猫がよその家に迷惑をかけているのはわからない。
北部	70代	地域猫がいて花壇にふん尿するので困っています。対策を教えてください。
北部	70代	盛りの付いた猫同志が外で鳴いているのがうるさく感じます。
北部	70代	問24に、処分を目的として猫を捕獲することはできない、のならば放置したままの状態はまずいと考えます。不妊去勢手術なりをして、一代で終らせる必要があると考えます。20年程前に比べると猫の姿を見る機会も減りました。
北部	70代	◎飼い主の猫は必ず不妊手術を行う。◎子猫をすてない。
北部	70代	地域の人達の理解がとても重要だと思います。一匹でも多くの猫が幸せになってほしいと思います。
北部	80代	飼い主のモラル向上。捨てないこと。
北部	80代	都の集合住宅に住んでいますが猫をかっている家があります。どの様にすれば良いですか。かつてはいけな事になっておりますが。
北部	80代	近所で月に1~2回見かけます。学校帰りの子供達が見ていますが、20万円位するそうです。
東南部	10代	飼い主がいても、放し飼いの猫がいる。これは飼い主への啓発をした方が良く感じることもある。
東南部	20代	近年ペットブームなので、元栓をしめる為にも、飼い主の終生飼育を更に徹底すべき。また、地域猫の避妊去勢を今以上にすすめるとともに、ペットとして飼われている猫も、いつどこで外に出てしまうかわからないので、避妊去勢をすすめるといいと思う。メリットをもっと様々な人に知ってもらわなければならない。
東南部	20代	ペット可のアパートやマンションをもっと増やしていただきたいなと思いました。
東南部	20代	地域猫とわかりやすいようにカラーやマークのある首輪をつけることはどう

居住地区	年齢	内容
		か。
東南部	20代	殺処分はどんな状況であれ、しないでほしい。
東南部	20代	里親を捜してあげたい。※最近、猫が減りましたが、以前、猫が、冬になるとお迎えの車の下に入りこむので、引かれそうでヒヤヒヤしていました。
東南部	30代	猫活動が市内でされている事を知らなかった。もっと知る機会があれば色々な人に周知され、活動を支援・協力する人が増えるのではないかと感じました。
東南部	30代	野良猫の去勢対策は必要・重要なことと思います。許される範囲で、支援の拡充を検討して下さい。
東南部	30代	世間的に猫が可愛いもので、守るべきものとして認識されていて、嫌い派は少数派であります。が、飼えないならば殺処分されるようにして欲しいです。
東南部	30代	猫だけではなく命の重み等の道徳を、飼い主や子供に教えていく事が大事に思います。老人ホームや保育園、寺等で、犬・猫を見守り、互いに共存できる環境作りがあっても良いと思います。また、引きこもりや精神疾患等の方に選択肢として、飼い主のいない猫や犬を見守る、必要とされる役目を市や医師等と連携したら面白いと思います。
東南部	30代	しっかりとケアして、八王子市のホームページなどを使い飼い主を探すなどできないでしょうか。
東南部	30代	人との共存を目指して、不幸な猫(犬なども)をなくしたい。
東南部	30代	地域猫の活動範囲と、そこを縄張りしている子の名前を知りたい。気にかけて見る事ができるし、苦手な人は、家に対策することもできると思う。名前と注意点があれば知りたい。
東南部	40代	トイレのにおいと感染症が心配です。最近V字カットの事を知り安心し、見守るかたちになっている。飼い犬のねこトイレの食糞が心配なだけです。ハクビシンの方が困っています。
東南部	40代	フンや尿、物を傷つけられるなど良いことはありません。エサやりしている家庭に責任を取ってほしいくらいです。捕獲機で捕獲してほしいです。近隣皆迷惑しています。
東南部	40代	自分で飼うことはできないが、猫が好き、かわいいと思っている人は多いと思います。そういう人が、公園でら猫にエサをあげ、それを楽しみに生活している…。そんな状況をなくすには、どうしたらよいのでしょうか。私は猫は嫌いですが犬が好きで、でも家族の理由で飼うことができないので、そんな人の気持ちがよくわかります。
東南部	40代	犬を飼っております。犬に関しての殺処分については心を痛めておりました。猫については正直興味はありませんでしたが、犬と同様殺処分されない世の中の実現には賛同致します。こういった取組がなされていることに安心しました。
東南部	40代	飼い主のいない猫にエサをあげる人、また、他人の土地でエサをぼらまく人がいます。「かわいい」からとか、「かわいそうだ」からという理由でトラブルに

居住地区	年齢	内容
		なる事があるので、猫対策を行っていると言って、素晴らしい活動だと思えます。
東南部	40代	地域猫活動という活動を色々な所で啓発した方がよいと思えます。(動物に関係するところだけでなく、町の掲示板やお店など)。また、ペットを飼う人が増えていると聞きました。ペットを飼う際に、医療保険のようなもの中加入させて、その際保険料を徴収して、人間と同じ様にケガや病気の際にお医者さんへかかる時にある程度の補助金制度があるとむやみに動物の生命を粗末にしないのではと思えました。動物病院は診療代がとてまかかります。国や都、あるいは市で動物のための医療保険制度をつくれれば、少しは心無い行為が減るのではと考えました。人間以外の動物の生活も大切にしたいです。
東南部	50代	ちょっと違うんですが、飼いたいののに飼わなくなった理由に年のせいもある。車利用できなくなると、重い猫砂など買って帰るのもめんどろ。ネットから注文しお届けをしてもらう事はできるが、大人の紙おむつを毎月届けてくれるように、同様のサービスはできないかなと。
東南部	50代	エサやりの現場を見ました。その猫はエサのおじさんだけになついていた。中途半端にエサをあげるのはかわいそう。私は庭で出産した猫の子供5匹は動物病院に連れて行き、お金を払い、里親をみつけてもらいました。
東南部	50代	個人で野良ネコのTNRをしている。少しでも野良ネコが少なくなることを切に思っている。我が家の中にも保護ネコを11匹飼っている。完全室内飼いが必要だと思っている。
東南部	50代	ドイツの動物保護施設「ティアハイム」のような施設を望みます。個人で保護猫活動をしている友人がいますが、やはり限界があります。大きな受け皿が必要だと考えます。
東南部	50代	ホームセンターなどのお店を利用して、譲渡会をやった方がよいと思えます。
東南部	50代	糞尿対策は、自費でやっている。これこそ助成すべき。
東南部	50代	安心して、安全に暮せる環境を整えてほしい。
東南部	60代	保護猫を診てくれる動物病院の情報がほしいです。(以前一通りの検査費用はとられたけれどこれ以上は対応できないと断われたことがありました)
東南部	60代	ボランティアに頼りすぎではないか？ボランティアへの行政の支援が求められる。
東南部	60代	飼い主はいるが、夜になると家の外に出している。夜間に飼い主がいる猫が民家の庭に入り、民家の庭がトイレ場になっている。糞尿被害が30年つづいている。ある駅周辺は飼い主のいる猫の放し飼いと飼い主が餌場を自宅の敷地内に作っている。飼い主へのマナーの啓発を強くお願いしたいです。
東南部	60代	60代になり、動物を飼うことが不可能になってきました。地域猫活動のボラ

居住地区	年齢	内容
		ンティアができたらと思いました。
東南部	70代	さかりのついた猫が夕方から夜にかけて鳴きわめき、大変迷惑している。同じ人が魚のあらやキャットフードを裏庭であげている。糞尿はよその家の庭、種をまいたばかりの畑、ガレージの奥にして臭くてたまらない。家庭菜園をあらされて困っている。対策をするより野ら猫に餌をあげないように警告すべきだ。
東南部	70代	猫ではなく犬だと思われませんが、週に1度位で芝生(敷地内)にフンをされて困っている。
東南部	70代	無駄吠えする犬の対策をお願いしたい。犬猫を飼う人への課税を検討して下さい。行政にこれだけ手間を費用を掛けているのです。
東南部	70代	・猫を飼う人のマナーと責任をしっかりと考えられるよう、犬猫店で、アドバイスを欲しい。・自分の経済、状況、環境、年齢を考えて、動物を飼わなくてはいけないと考えている。(老々介護になってしまう)
東南部	70代	餌やりをよく見かけます(マンション住いの方)。愛情を持っているのでしょうか! …でも、戸建て住いの私は、車の下や軒下に居る時、急に走り出してびっくりしたり、尿に迷惑してます。自分は動物愛護に欠けているのかと責める気分が暗くなる時もあります。
東南部	70代	猫や犬が人間の都合で捨てられ、ペットショップで売れ残ったものが殺処分されている事に、大変ショックを受けました。もっと保護した猫を飼い主が探すシステムを大きく広げ、またペットショップの売り方にも問題があると思います。これ以上猫達が(犬も)悲しい思いをしないように、言葉を持たない動物達の為に。
東南部	70代	譲渡活動の周知啓発を、広く広報誌に毎月けいさいしてほしい。
東南部	70代	難しい問題だと思います。
東南部	70代	家の近くで猫をあまり見かけません。
東南部	80代	かわいい猫に名前が有るのに何んでもこの猫かわからない?最近のテレビに出て来る猫の全てにどこの猫かわからぬ?名札位つけてあげる気になりませんか?名札がついていると、かわいがり様も違って来るのでは?
東南部	80代	猫はかき根があっても飛越えて来て土を掘って糞をするので困る。
東南部	80代	真の答えにはなりません一言。私の近所に住んでおりました方が、7年前に亡くなったあと、飼っていた6匹の猫が残されました。最初は可愛想と思いいエサを与えていましたが、続きませんので止めました。そのあとどうなったのかずーと気になっています。
東南部	80代	猫を愛するならマナーを守っていただきたく思います。
東南部	90代以上	飼い主のいない猫は市で全部生取って、かってもらいたい。

(9) 飼育経験がある動物の詳細

居住地区	年齢	動物	頭数
中央	20代	カメ	3
中央	20代	ハムスター	
中央	20代	インコ	
中央	30代	ハムスター	2
中央	30代	かめ	1
中央	30代	りす	1
中央	30代	魚	10
中央	30代	ハムスター	2
中央	30代	うさぎ	1
中央	30代	うさぎ	1
中央	30代	鳥	5
中央	30代	ハリネズミ	1
中央	30代	文鳥	1
中央	30代	インコ	3
中央	30代	カメ	1
中央	30代	ニワトリ	1
中央	30代	めだか	200
中央	30代	ハムスター	1
中央	40代	カメ	1
中央	40代	インコ	1
中央	40代	ハムスター	1
中央	40代	オカメインコ	1
中央	40代	鯉	2
中央	40代	金魚	1
中央	50代	鳥	沢山
中央	50代	うさぎ	2
中央	50代	うさぎ	1
中央	50代	鳥	2
中央	50代	アヒル	3
中央	50代	インコ	沢山
中央	60代	メダカ	60
中央	60代	ハムスター	4
中央	60代	ハムスター	1
中央	70代	めだか	2
中央	70代	チンチラ	1
中央	70代	うさぎ	1

居住地区	年齢	動物	頭数
中央	70代	小鳥	4
中央	70代	ハムスター	4
中央	90代以上	セキセイインコ	2
中央	90代以上	スズムシ	無数
西南部	10代	インコ	1
西南部	20代	ハムスター	2
西南部	20代	うさぎ	1
西南部	20代	アリ	30
西南部	20代	ざりがに	
西南部	20代	ハムスタ	2
西南部	20代	くわがた	
西南部	20代	カブトムシ	
西南部	30代	ハムスター	2
西南部	30代	ウーパールーパー	1
西南部	30代	セキセイインコ	1
西南部	30代	ウサギ	1
西南部	30代	メダカ	1
西南部	40代	ハムスター	2
西南部	40代	鳥	1
西南部	40代	ハムスター	1
西南部	40代	うさぎ	1
西南部	40代	ハムスター	1
西南部	40代	フェレット	1
西南部	40代	モルモット	1
西南部	40代	モルモット	2
西南部	40代	インコ	1
西南部	50代	ウサギ	1
西南部	50代	ハムスター	4
西南部	50代	ハムスタ	2
西南部	50代	インコ	2
西南部	50代	ハムスター	2
西南部	50代	インコ	2
西南部	50代	熱帯魚	10
西南部	60代	うさぎ	1
西南部	60代	亀	1
西南部	60代	モルモット	2
西南部	60代	ハムスター	1
西南部	60代	インコ	1

居住地区	年齢	動物	頭数
西南部	70代	トカゲ	7
西南部	70代	インコ	10
東部	10代	モルモット	1
東部	20代	フェレット	1
東部	20代	鳥	3
東部	20代	ハムスター	2
東部	20代	レオパ	1
東部	20代	金魚	
東部	30代	インコ	2
東部	30代	カメ	1
東部	30代	ハムスター	1
東部	40代	インコ	1
東部	40代	ハムスター	1
東部	40代	インコ	2
東部	40代	うさぎ	1
東部	40代	セキセイインコ	1
東部	40代	リクガメ	1
東部	50代	デグー	1
東部	50代	ハリネズミ	1
東部	50代	ハムスター	5
東部	50代	うさぎ	2
東部	50代	うさぎ	1
東部	50代	うさぎ	2
東部	50代	インコ	1
東部	50代	ハムスター	8
東部	60代	ハムスター	1
東部	60代	小鳥	4
東部	60代	文鳥	2
東部	60代	鳥	4
東部	60代	カメ	1
東部	70代	デグー	1
東部	80代	インコ	
東部	80代	うさぎ	1
西部	-	トリ	2
西部	10代	鳥	1
西部	40代	インコ	1
西部	40代	鳥	8
西部	40代	セキセイインコ	1

居住地区	年齢	動物	頭数
西部	40代	ハムスター	1
西部	40代	うさぎ	1
西部	40代	金魚	
西部	50代	うさぎ	1
西部	50代	カメ	1
西部	50代	カメ	3
西部	50代	うさぎ	2
西部	50代	マウス	2
西部	60代	ハト	100
西部	60代	オカメインコ	1
西部	60代	ニワトリ	2
西部	60代	小鳥	5
西部	60代	亀	1
西部	60代	コイ、金魚	20
西部	60代	インコ、スズメ	1
西部	70代	うさぎ	2
西部	70代	インコ	3
西部	70代	ハムスター	9
北部	30代	フェレット	1
北部	40代	うさぎ	1
北部	40代	うさぎ	2
北部	50代	とり	1
北部	50代	フェレット	1
北部	50代	うさぎ	1
北部	50代	ハムスター	1
北部	60代	ニワトリ	20
北部	60代	ウサギ	6
北部	60代	文鳥	10
北部	60代	カナリア	10
北部	60代	ハムスター	20
北部	70代	うさぎ	1
東南部	20代	文鳥	3
東南部	20代	ハムスター	2
東南部	20代	金魚	2
東南部	30代	ハムスター	1
東南部	30代	魚	
東南部	30代	うさぎ	1
東南部	30代	ハムスター	3

居住地区	年齢	動物	頭数
東南部	30代	とり	1
東南部	30代	ハムスター	1
東南部	30代	ハムスター	4
東南部	30代	ハムスター	1
東南部	30代	文鳥	2
東南部	30代	どじょう	1
東南部	40代	チョウの幼虫	複数
東南部	40代	ウサギ	6
東南部	40代	インコ	2
東南部	40代	金魚	2
東南部	40代	うさぎ	1
東南部	50代	インコ	2
東南部	50代	モモンガ	1
東南部	60代	ハムスター	1
東南部	60代	亀	1
東南部	60代	どじょう	2

(10) 入手方法

居住地区	年齢	内容
中央	20代	知人が保護したのをゆずってもらった
中央	30代	祖母が飼っている猫だったが、祖母が入院することになり引き取った。
中央	50代	子どもの頃なので忘れた
中央	50代	動物病院で譲ってもらった。
中央	60代	飼い主のいない猫が自宅敷地内で出産し⑤
中央	60代	野良猫母とはぐれてしまった。生後40日くらいの子猫でした。
中央	70代	子供が拾ってきた
西南部	20代	知人が拾った猫を譲り受けた。
西南部	40代	保護
西南部	50代	敷地内に飼い主不明の子猫がいた為保護した
西南部	70代	ブリーダーから買った
西南部	70代	65年前
東部	50代	仕事先にて病院にて治療後飼育
東部	50代	庭に良く来ていたメス猫が子どもを連れてきたので、親はお隣さんが、子供は自家が保護した。
東部	50代	家人が入手、方法不明
東部	50代	全て保護猫です
東部	60代	行きつけのラーメン店のご主人がすてられていた子猫を段ボールに入れ、

居住地区	年齢	内容
		保護していたのを、家に連れてきた。
東部	70代	ブリーダーから
東部	70代	ブリーダーから(オス)
西部	20代	ブリーダーさんから買った
西部	50代	近所で飼われていた猫だが、その子どもが飽きて外に放置したのを、たまたまうちに遊びに来た時に呼んだら、ダッシュで猫が妹に媚びうった。家のみんなが喜んで迎えました。
西部	50代	保護ねこカフェ
西部	50代	ブリーダーさんから
西部	60代	ペットショップで買った
西部	60代	個人でボラをしている人より引き取る。ブログ経由です。
西部	70代	捕獲して自宅で飼っている
西部	70代	車で轢いて怪我させたので気の毒だったから、亡くなって、動物寺で供養
北部	70代	娘が拾って来た
東南部	40代	ペットショップからの譲渡
東南部	50代	ブリーダーから直接購入
東南部	80代	子どもがもらってきた

(11) 身元表示方法

居住地区	年齢	内容
中央	50代	外に出さなかった
中央	60代	家から出たことがない
中央	60代	していない
中央	60代	屋内飼育のため、何もしていなかった。
西南部	40代	マイクロチップを入れる予定
西南部	50代	首輪をつけていたが、皮膚炎をおこしたため現在は外している
西南部	50代	何もし
西南部	60代	昔の事なので今はありません。
西南部	70代	マイクロチップを入れようと思っている
東部	50代	屋外に出さない
東部	50代	外には出さなかった
東部	50代	家から出しません
東部	70代	外に出た事はない。死まで責任を持って飼育しました。15年間とても幸福でした。粉骨にして頂き、埋葬致しました。
東部	70代	60年以上昔の事です。何もしていません。
西部	50代	外に出るときは常に一緒にいる
西部	60代	外に出さない

西部	80代	外に出ない
北部	40代	外に出したことがなかった。
北部	60代	現在飼育していない
東南部	20代	性格と柄と行動
東南部	30代	首輪をつけたいが、ものすごく嫌がるため結局つけられていない。
東南部	50代	屋内なので何もなかった
東南部	50代	何もしたことがない。40年前だから。
東南部	60代	外に出さない
東南部	70代	室内で飼育なので、何もしていません。
東南部	80代	小学生以前なのでわからない
東南部	80代	私が嫁いってから短期間で死んだ

(12) 飼いきれなくなったときの対策

居住地区	年齢	内容
中央	60代	他で住む親族への依頼
中央	70代	子供に頼んであります
西南部	20代	親戚をたよる
西南部	40代	譲渡先を決めている
西南部	50代	譲渡先を決めている
西南部	50代	譲渡先を決めている(子供)
西南部	50代	ねこ好きな友を通して引き取ってもらおうとか！
西南部	70代	子ども
西南部	70代	息子一家にお願いしている
西南部	70代	妹家族や息子の家族が引き継ぎ世話してくれる
西南部	70代	譲渡先を決めている(長女)
西南部	70代	猫も10才以上なので、最後まで頑張るつもりです。
東部	50代	実家、兄弟への譲渡
東部	50代	飼った時に手術をする。
東部	50代	譲渡先(子供)に引渡す
東部	60代	譲渡先を決めていた
東部	60代	譲渡先を決めていた。
東部	60代	譲渡先を決めている
東部	60代	娘が面倒みることになっている。
東部	70代	友人に譲渡する予定。今は3頭は天国です。お寺に眠っています。
東部	70代	譲渡先を決めている。
西部	10代	娘がひきとる
西部	40代	譲渡先を決めている
西部	50代	娘へ譲渡

居住地区	年齢	内容
西部	60代	親族にお願いしている。
西部	70代	飼いきれなくなる前に飼うのを止める。寿命を考えて。
西部	70代	子ども・友人に依頼
西部	70代	家族の決まりとして最後まで飼いきることを決めている。
西部	70代	妹が飼ってくれることになっていた。
西部	70代	譲渡先を決めている
西部	70代	子供がめんどろみることになっている。
北部	40代	実家で飼ってもらう
北部	50代	娘・息子にあずける。
北部	60代	すべて亡くなるまで飼いつけたが、万が一の時は引き取ってくれる友人を数名頼んでいた。
北部	70代	譲渡先を決めている。
東南部	20代	身内に引き取っていただく。
東南部	30代	姉妹に譲渡
東南部	30代	譲渡先が決っている。
東南部	40代	友人
東南部	50代	探す
東南部	60代	娘夫婦に譲る。
東南部	60代	娘に譲渡する
東南部	60代	譲渡先を決めている

(13) 災害時における猫への対処

居住地区	年齢	内容
中央	20代	家族の誰かと共に自宅待機
中央	30代	避難所に動物を連れていっていいのかわからないし、猫は場所が変わることが強いストレスになることもあるので、なるべく避難所に行かずに済まないかと思う。どうしたらいいか悩んでいる。
中央	50代	猫と一緒に待機。逃げられない。
中央	60代	今後飼う事はない
西南部	40代	いればつれて行く、いなければ家に入れる様にしておく。
西南部	60代	共に自宅にいる
東部	50代	自宅が倒壊とかしていなければ自宅で一緒に過ごすことを選ぶと思う。猫は知らない環境には連れて行けないから。
東部	60代	その当時は災害等ほとんどなかったので考えていなかった
東部	60代	家が倒壊していない場合は自宅で避難生活を行う。在宅避難ができない場合は、避難所はペット不可の為車中避難するつもりです。
東部	80代	考えたことがない。
西部	10代	重くもってけなかったと思う。

居住地区	年齢	内容
西部	40代	現在は飼っていない(死亡)
西部	50代	避難場所が遠いので、避難はせずに一緒に自宅に残ります。
西部	60代	実際自分が逃げるだけが精一杯だと思うのでずっと飼っていない。
北部	40代	外に出す。
北部	60代	わからない
北部	60代	問(36)と同じ
北部	70代	まず自分
東南部	30代	自宅に置いていくが、毎日様子を見に帰る
東南部	40代	一緒に自宅にいるしかないと思っている。
東南部	50代	現在は飼っていないので、考えたことはない。
東南部	80代	現在いない

(14) 災害時に備えた準備内容

居住地区	年齢	内容
中央	50代	折りたたみキャリーバッグを2コ買った。エサを買い置きしている。
中央	60代	現在は数十年は飼ってないので
中央	60代	常にえさやトイレを多めに用意
西南部	60代	問38-4なのでエサやトイレなど常に多めに在庫している
東部	20代	ネコのごハンやトイレ、水などは多めにストックしてある。
東部	50代	キャリーBOX、ハーネス
東部	50代	キャリーバッグの頭数分
西部	10代	今は飼ってない。
西部	40代	ご飯を用意しました。
西部	40代	現在は飼っていない(死亡)
西部	40代	ごはん、トイレ砂をストックする
西部	50代	予備のご飯・ゲージ
西部	60代	今は飼うつもりがないので何の準備もなし
北部	40代	猫2匹のペットキャリー準備
北部	40代	今は飼っていないのでなし。亡くなりました。
北部	60代	問(36)と同じ
北部	70代	エサ、砂を多目にストック
東南部	40代	頭数分のキャリー
東南部	40代	必需品のストック
東南部	50代	ご飯、猫砂など多めにストック(おやつ、水)
東南部	50代	ネコがいた時、特に何もしていなかった。でも、3.11の災害のあったとき、考えなきゃな、と思ったが、何もせず。2015年に老すいでネコも死に、その後は飼ってないです。

飼い主のいない猫対策等に関する
アンケート調査《 報 告 書 》

発 行	八王子市保健所生活衛生課 令和4年1月 所在地：〒192-0083 東京都八王子市旭町13-18 TEL：042-645-5111
-----	---